翼の王国

ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER

TSUBASA GLOBAL WINGS

with you 70 years

2
ANA グループ機内誌
The Inflight Magazine of ANA Group
February 2023
No.644

シドニー／バイロンベイ
ナチュラルでスローなライフスタイル

広島「瀬戸内アイランド」
サスティナブルな暮らしに浸る――

翼の流儀　A New Ambitioius Story
武漢「新型コロナ」緊急プロジェクトの舞台裏

TSUBASA GLOBAL WINGS
click here!　点击这里！

ご自由にお持ち帰りください。

正真正銘、
カカオの香味。
meiji
THE Chocolate
New
ひとくちサイズ
4つの産地とつなぐ 4つのおいしさ
12 pieces
ひとくちサイズ
VENEZUELA
cacao 70%
ベネズエラ
ナッティな香りのカカオ
BRAZIL
cacao 70%
ブラジル
フルーティな香りのカカオ
PERU
cacao 70%
ペルー
フローラルな香りのカカオ
DOMINICAN REP.
cacao 70%
ドミニカ共和国
スパイシーな香りのカカオ
明治 ザ・チョコレートブランドサイトはこちら ▶ https://www.meiji.co.jp/products/brand/the-chocolate/

写真：原ヒデトシ（宮城）

2

2023
February
表紙：バイロンベイ／オーストラリア（写真：高砂淳二）

C O N T E N T S

翼の王国

特集 シドニー／バイロンベイ
ナチュラルでスローなライフスタイル
014

特集 広島「瀬戸内アイランド」
サスティナブルな暮らしに浸る 案内人／鬼崎翔大
032

翼の流儀 A New Ambitious Story
064 武漢「新型コロナ」緊急プロジェクトの舞台裏

手考足思の旅～手仕事を訪ねて
068 豊岡杞柳細工・柳行李：兵庫 案内人／加藤ジャンプ

004 ごあいさつ
006 旅の記憶 パキスタン／篠山紀信
008 松丸亮吾の謎解きde世界一周
011 社員が見つけた! Local Premium通信／国内編
013 社員が見つけた! Local Premium通信／海外編
028 花空遊愉 トルコキキョウ／赤井勝
030 快適な空だけの旅 高松空港／パラダイス山元
048 私の“二枚看板” 青森・東京／尾上菊之助
050 ニッポン47妖怪さんぽ 宮城：たんたんころりん／森井ユカ
054 旅で解放する～サザンの街・茅ヶ崎／竹下雄真
056 旅で潤う～桜島と蒸気サウナ／笹野美紀恵
058 おべんとうの時間 熊本・杖立温泉／阿部了・阿部直美
063 進化した桂浜公園は高知の〝外せない〟新名所
072 ライト、フライト／大宮エリー
076 創造の目的地 北島麻里子／米原康正
079 郵便飛行
080 今月のANAカレンダー
082 ANAグループからのお知らせ
092 ANA STORE@SKY 商品ラインナップ
100 SKY CHANNEL
102 ANAグループ航路図

写真：高砂淳二（バイロンベイ）

旅情報や取材の裏側も!
WEB「翼の王国」はこちらから

デジタル媒体では各ページのQRコードをタップすると
WEBサイトへ飛べます。
※毎月1日以降にQRコードからリンク先への遷移が可能になります。

翼の王国 No.644 2023年2月1日 発行：ANA X『翼の王国』編集部 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1 発行人：全日本空輸株式会社 制作：株式会社 光文社
編集統括：田邉浩司 編集人：小松伸司 編集長代理：二村勉史 スーパーバイザー：山下マヌー
編集：中野桜子、山下美咲、仲本剛、小嶋美樹、加藤ゆかり、服部広子、森坂瞬、藤沢緑彩、古川聡彦
デザイン：カメガイデザインオフィス／松澤順一郎、石川直美 スタジオギブ／山岡茂、山本雅一、野崎二郎、近藤礼彦
編集協力：株式会社キャストネット／川元賢司、所裕子 印刷：共同印刷マーケティングソリューションズ株式会社
【記事に関するお問い合わせ】株式会社 光文社 tel 03-5395-8150 【広告に関するお問い合わせ】ANA X株式会社 ライフサービス事業推進部 ml_notice_anamedia@ana-x.co.jp

©All Nippon Airways／Kobunsha2023 本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。本誌に記載されている価格はすべて税込み価格です。

全日本空輸株式会社
代表取締役社長
井上慎一

公共交通機関としての使命

撮影：篠山紀信

　2020年1月頃、当時はまだ得体の知れない病原体として捉えられていた「新型コロナウイルス」の感染が瞬く間に拡大しました。一夜にして急遽都市閉鎖となった中国・武漢へ、日本政府の要請を受けたANAは、5機のチャーター便を1月末から2月にかけて運航しました。これにより湖北省に在留し帰国を希望する全ての日本人とそのご家族828名がご帰国されました。

　あれから早3年。未だコロナ禍が終息する見通しはなく、「with CORONA」が日常生活に定着してきた感があります。航空業界にとっては好ましくない状況が続いていますが、この状況下だからこその大きな学びもありました。

　武漢のチャーター運航では、多くの社員が自らのウイルス感染への不安よりも、日本国の航空会社として、日本人とその関係者に一日も早くご帰国いただくという強い使命感をもって従事してくれました。ロックダウンの交通規制の中、心配する家族の反対を押し切って武漢天河国際空港に出勤した現地スタッフ、当該便に乗務したクルー、運航許可を取るために日中の当局と調整した社員、空港や機内での感染防止対策の準備に奔走した社員など、一人ひとりが自らの役割を全力で果たし、「チームANA」として同じミッションに向かって連携したからこそ、成し遂げられた救援劇だったと感じています（P64「翼の流儀」の記事をお読みください）。

　武漢だけではありません。世界中の邦人の帰国が困難となる中、インドネシアをはじめとした臨時便の運航や定期便を維持することで、世界各国からのお客様の帰国需要にお応えすることができました。あらためて航空会社という交通インフラとしての存在意義と社会的使命を強く感じさせられた出来事でした。

　「社会に必要とされる企業」について考え、学んだことがもう一つあります。それは「旅」の重要性です。

　コロナ禍では外出制限などによるストレスからうつ病や自殺が増加し、心の健康に対する意識が高まりました。従来、「旅」は「余暇」の過ごし方の一つとして捉えられる傾向にありました。言葉通り、「余って暇な時間にすること」で、どちらかというと「時間が許せば楽しめばよいアクティビティ」と位置付けられていたように感じます。しかし今、人は日常と離れた場所を訪れ、地元の人々と触れ合い、郷土食を楽しみ、そして思いがけない新たな「知」と出会うことの素晴らしさに改めて気づいたのではないでしょうか。心の健康を保ち、人生をまた一つ豊かなものとするために、「より積極的に

機体除雪作業の様子

旅をする機会をつくる」ことが必要だと感じる方が増えてきているようです。つまり「旅」が、人々の暮らしにとって新たな役割を持つ時代になったのです。

昨年10月以降、空港に溢れるお客様の笑顔を見ると、「皆さまの心が元気になっている」と、「旅」の効用の大きさを実感しています。これからの時代はお客様の移動を支えるとともに、こうした「旅」の大切さをお伝えしていくことも、「ｗｉｔｈ ＣＯＲＯＮＡ」時代の私たちの社会への責務ではないかと思います。

ＡＮＡでは現在、一日約８５０便を運航しています。日々、一便一便を安全・快適に運航し続けることが、言わずもがな、私たちの最も重要な使命です。特に冬季の運航は雪や風の影響を受けやすく、通常期以上に集中力ときめ細かな気配りが必要です。目的地の天候はどう変化しそうか、飛行の安全に影響を与えるような雪や氷が機体についていないか、お客様は快適に過ごされているかなど、時間と忍耐との勝負が繰り広げられます。

便が遅延、欠航となると、次の到着地以降の運航便のスケジュール調整が必要となります。各空港ではお客様をお待たせしない、わかりやすい案内を行うなど、まさに冬季の運航はチームワークがものを言う、プロとしての腕の見せ所でもあります。

一人ひとりのお客様が目的地にスムーズに到着でき、次のご予定に向かえるよう、「プロとしてのパフォーマンス」と「チームスピリット」で、安全・安心な運航のバトンをつないでいきたい。

ＡＮＡはこれからも「安全運航は経営の基盤であり社会への責務である」ことを肝に銘じ、皆さまからのご期待にお応えする社会的使命を果たしてまいります。

第5回

TOKYO ＼5,986km

旅の記憶

SHINOYAMA/KISHIN
篠山紀信

パキスタン
ラワルピンジ(1976)

「シルクロード 5 パキスタン・アフガニスタン・イラン」

→目次に戻る

バザールもバスの車内も、喧騒と原色が溢れている。人と人とが肌をこすり合わせるほどに混雑し、売り子は声を張り上げ、バスの内壁には隙間なく色とりどりの装飾が施されている。

ラワルピンジ――。私がこの、パキスタンの旧い都を訪れたのは、日本がシルクロード・ブームに沸いていたころのことだ。

当時、アジア大陸の国々を巡る際、私は街々のバザールに必ず足を運んだ。当初こそ、あまりの人の多さと騒音、そして異国人である私を射るように見つめる、多くの彫りの深い目に圧倒されるばかりだった。それが、だんだんと旅慣れてくると、いつしか人の波、原色の洪水を心地よくすら感じられるようになった自分がいた。やがて私は、旅とは、自身の体全体をその場にさらして得られる体感こそが、もっとも重要なのだと気付かされた。

そして、ラワルピンジ。ひとたび街を離れると、そこには岩と砂の大地、色の少ない世界が広がっていた。少し埃っぽいその世界は、しかし、不思議なほど澄んだ威厳を湛えていた。

謎解き de 世界一周 5

松丸亮吾&
謎解きクリエイター集団
RIDDLER（リドラ）が
ナビゲート

第5回の旅行先はオーストラリア！
豊かな生態系で知られるオーストラリアだけど、なんとこの大陸に暮らす生き物たちのほとんどが、ここにしかいない固有種なんだ。カンガルーやコアラといった有袋類が有名だけど、実はオーストラリアに暮らす爬虫類（はちゅうるい）や魚類、昆虫も、固有種の割合は90%近くを占めているんだって。絶滅危惧種も多くて、政府はその保護に力を入れているよ。
さて、ここではそんなオーストラリアをテーマにした問題を2問出題しよう。謎解きの旅に出発だ！

NAZOTOKI 1問目

オーストラリアの有名な観光スポットウルルには、あるニックネームがついているよ。謎を解いて当てよう！

難易度 ★☆☆☆☆

ヒント　ウルルが完成するように写真を並べてみよう。

→目次に戻る

NAZOTOKI

2問目

シドニー・オペラハウスのデザインはある果物から発想されたものだと言われているよ。その果物はなんだろう？

難易度 ★★★★★

ヒント
問題文の指示に従うと、6文字の言葉になるはず。
次に、その言葉が示す場所を見てみよう。

松丸くんのアドバイス

今回の2問目みたいに、最初に導かれた言葉が答えじゃない場合もあるよ。そんなときはもう一度問題を見たり、導いた言葉の意味を考えたりしてみよう。

Ryogo Matsumaru

謎解きクリエイター

松丸亮吾

自身が代表を務める謎解きクリエイター集団「RIDDLER」（リドラ）での活動をベースに、メディア、ゲーム、イベントなど多方面で活躍する謎解きブームの仕掛け人。最高の「ひらめき体験」を生み出し、考えることを誰もが好きになれる世界をつくるため、活動中。書籍『東大ナゾトレ』シリーズは累計180万部を突破。

✈ 解答は81ページに掲載しています

日本近代化の第一歩を踏み出したまち、横須賀。

猿島の詳しい情報はこちら

猿島（日本遺産構成文化財）

千代ヶ崎砲台跡（日本遺産構成文化財）

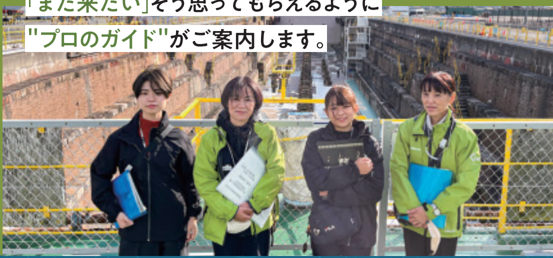
浦賀ドック

YOKOSUKA Route Museum

よこすかルートミュージアムとは、横須賀に点在する開国から近代につながる歴史、文化の見どころや自然豊かなスポットを「サテライト」と呼び、それらを「ルート」でつなぐことで市内全体を大きな「ミュージアム」としてとらえた横須賀の新しい楽しみ方です。

詳しくはこちら ▸▸▸

「また来たい」そう思ってもらえるように "プロのガイド"がご案内します。



羽田から都心から便利に、お得に横須賀へ

- ■【 羽田空港 】から【 京急線 京急蒲田 】乗り換えで【 横須賀中央駅 】へ約50分
- ■【 東京駅 】から【 JR横須賀線 JR横須賀駅 】へ約75分
- ■【 品川駅 】から【 京急線 横須賀中央駅 】へ 約43分（おトクな「よこすか満喫きっぷ」もあります）

鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 〜日本近代化の躍動を体感できるまち〜

詳しくはこちら

日本遺産 JAPAN HERITAGE

国内編

社員が見つけた！ Local Premium 通信 vol.4

絶品フードに美食レストラン、隠れた絶景から伝統を受け継ぐ逸品まで……。世界各国・日本各地に在住するANAグループ社員が、地元の“ちょっと特別”な口コミ情報をお届けします。

海の中道海浜公園の一面に広がる花畑！

福岡・福岡

福岡県福岡市にある「海の中道海浜公園」は約350ヘクタールの広大な敷地に、動物と触れ合える広場やサイクリングコース、デイキャンプ場などが入った大人も子供も楽しめる公園です。なかでも特におすすめは、四季折々のお花畑。4月に見頃を迎えるネモフィラ畑は、見渡す限り青い花が広がる圧巻の景色となります。飛行ルートによっては、公園内から福岡空港に到着する飛行機を見ることもできますよ。

坂本 彩夏／さかもと あやか　福岡空港でグランドスタッフとして勤務。主に各エリアのコントローラーやコンシェルジュ業務を担当する。趣味は散歩で、季節を感じながらのんびり過ごす時間が好き。

東京駅にいるはずのウサギが佐賀の温泉地に!?

佐賀・武雄

東京駅・丸の内駅舎のドーム天井にある十二支のレリーフには干支が８つ復元されていますが、残りの４つ（子・卯・午・酉）は佐賀県武雄市にある「武雄温泉」楼門の天井にいることをご存じでしょうか。設計を手掛けた佐賀県出身の建築家・辰野金吾氏の遊び心が、東京駅のシンボルと出身地の佐賀を、時を越え結んでいるのです。楼門の先にある温泉を楽しみに、ウサギ年の今年、ぜひ足を運んでみてください。

渋谷 美和／しぶや みわ　客室乗務員。現在は佐賀県に出向中。佐賀県の若者の「道を弘げる」事業「弘道館2」の企画も担当。 休日は温泉巡りなど、佐賀の魅力発見・体験を楽しんでいる。

四季折々の花が添えられた贅沢なランチプレート

秋田・仙北

秋田県仙北市にある『ガーデンカフェ＆デリカテッセン kimoto』のランチプレートがお気に入りです。地元の新鮮な野菜や山菜がふんだんに使用された料理の数々は、美味しいだけでなく、隣接したローズガーデンの花々が添えられるなど見た目にも華やか。香りや食感など五感すべてで楽しむことができます。ケータリングやギフト配送、お弁当や総菜もおすすめです。

工藤 月花／くどう つきか　客室乗務員としてフライトをしながら、2022年4月から地元・秋田県で兼業を開始。「秋田テレビ」に出向し、秋田の魅力を発信している。趣味は愛犬との散歩と温泉巡り。

創造の翼。

新国立劇場とANAは、若き芸術家を支援しています。

25th ANNIVERSARY NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

新国立劇場の演劇研修所では

次世代の演劇を担う俳優を育成しています。

朗読劇『ひめゆり』の上演にあたって、

研修生たちは作品の舞台となった沖縄を訪れました。

その地の歴史、人々の想い。

次世代へと継ぐべきものを心に刻み、舞台に臨みました。

ひめゆり平和祈念資料館前にて
(演劇研修所第16期生 沖縄研修)

朗読劇『ひめゆり』Reading Performance “**Himeyuri**”

NNT ドラマ・スタジオ

演劇研修所

新国立劇場は、全日本空輸株式会社による「若手俳優育成のための国内研修事業支援」により公演に先立つ現地研修を実現しています。

NEW NATIONAL THEATRE TOKYO 新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-1-1
TEL 03-5351-3011

→目次に戻る

社員が見つけた!

Local Premium 通信

vol.4

海外編

マカプウトレイルの絶景で心も体もリフレッシュ

ホノルル

マカプウトレイルは、ハワイ・ホノルルの「カイウィ州立風光海岸線」という公園にある人気のトレイルコース。トレイルといっても、舗装された道を歩くハイキングコースとなっているので安心です。ハワイの絶景を楽しめるだけでなく、心地よい海風が心の疲れを取り払ってくれるような気がして爽快ですよ。1～3月には沖にクジラの姿も。旅行者はまだまだ少ない穴場の観光地です。

今泉 尚久／いまいずみ よしひさ　ホノルルのダニエル・K・イノウエ国際空港にてグランドスタッフと運航支援を担当。趣味は旅行で1～2泊の弾丸でヨーロッパやアジアを旅することも。

台湾のローカル朝ご飯を地元の人気店で味わって!

台中

台湾中部に位置する台中にある『長江早點』は毎日行列ができる地元の人気店。ここでの朝食がおすすめです。代表的なメニューは「燒餅（シャオビン）」という丸いパンと「油條（ヨウティアオ）」という揚げパン。これらを豆乳と一緒に食べると、より甘みが増して絶品ですよ。毎日、生地から手作りされている肉まんも人気で、一口食べれば肉汁があふれます。

張 純玉／ちょう じゅんぎょく　台北支店でセールスマーケティングを担当。趣味は写真を撮ることや美味しい物の食べ歩き。

景色もグルメも堪能できる老舗デパート

フランクフルト

ドイツのフランクフルトは、世界屈指の国際金融都市でありながら中世の街並みも残る美しい街。なかでも私のおすすめは、ドイツの有名デパートのフランクフルト店である『GALERIA Frankfurt an der Hauptwache』の最上階です。フランクフルトの美しい街並みを堪能できる穴場の展望スポットとしてだけでなく、レストランやカフェも入っているので、景色とグルメの両方を楽しむことのできる一押しの場所です。

升谷 遥香／ますたに はるか　客室乗務員。フランクフルト路線を担当し、月に2度ほど渡独。ステイ先ではその土地ならではのカフェ巡りや散策、ランニングにいそしむ。兼業で地域創生事業にも携わっている。

オーストラリア東海岸のナチュラルでスローなライフスタイル

写真：高砂淳二　コーディネーション：ジェイ・エイ・リンクス
取材＆文：山下マヌー　編集：山下美咲

←「オーストラリア東海岸のナチュラルでスローなライフスタイル」は web「翼の王国」でもお楽しみいただけます

Down to East

ORDER
HERE

Down to Eastern Australia

世界が羨む価値観、「スロー」を掲げて生きる人々

オーストラリアでよく聞く言葉、「No worries」。直訳すれば「心配ない」という意味になるのだが、オーストラリアの人々がこれを使うときの感覚はちょっと違う。「大丈夫だから」とか「うまくいくよ」とか、そんなニュアンスに近い。「心配だからどうしよう」と慌てる＝ファストではなく、「なんとかなる」とゆっくり＝スローに考える。それはまた彼らの生き方、スローライフにも通じている。

スローライフとは、自身のスタイルや趣味を優先して日々を過ごすこと。それはなにも田舎でのんびり過ごそうというのではなく、南半球最大の都市シドニーに暮らす多くの人々も実践しているスタイルだ。自らの国を「Lucky country」とも呼び、そこでスローライフを満喫する。そんな彼らを世界の人々の多くが羨ましいと感じているのは、〝最も暮らしやすい国ランキング〟の類に毎年のようにランクインしていることからも裏付けられている。オーストラリアの人々が実践しているスローライフとは、果たしてどのような人生なのか？ 彼らが人生において大切にしているものを教えてもらいながら、人生を「らしく」生きるための持続可能なヒントを見つけに、オーストラリア東海岸の都市であるシドニーと、大陸最東端の街バイロンベイへ向かう。

オーストラリア最大の都市シドニーからバイロンベイまで、約750キロ。国内線に乗り換えて移動、もしくは途中の街に立ち寄りながら海岸線をドライブで行くのも楽しい。

Down to Eastern Australia

自らの人生を表現するキーワードを探して

大切なのは、自分がピースフルであること

約500万人が暮らすオーストラリア最大の都市、シドニー。その東部のボンダイビーチはこの国のサーフカルチャー発祥の地であり、1906年に世界最古のライフセービングクラブが発足した場所でもある。毎年1万人近くと、救う命の数にも驚くが、それは多くの人々がビーチと関わり暮らしていることの裏返しだ。ここでライフセーバーとして活動するリカさんに、都市生活者のスローライフについて尋ねてみた。

「朝早く起きて、ビーチを散歩したり泳いだり、サーフィンしたり。都会のシドニーでもスローライフを楽しむことは可能です。訪れれば、レストランやバーが早い時間に閉まることに気づくはず。多くの人が、日の出とともに起きるために早く寝てしまうんです。会社勤めの人が多いシドニーでスローライフを送ることが可能な最大の理由は、上司もスローライフを楽しんでいるから。朝に波乗りをして少しくらい遅刻しても誰も気にしない。『Should be allright』=なんとかなる、という考え方が社会全体に浸透しています。とくに私の場合、スローライフの前にピースフルであることを心がけています。仕事でも街の中でも常にピースフルでいれば、気持ちも行動もスローになっていくんです。

私はこれまで52カ国を訪れましたが、オーストラリアの人々とほかの国の人たちとは考え方が違うし、ここに暮らせていることはラッキーだと思います。バリエーション豊かな自然があって、嫌なことがあってもすぐにマインドをリセットすることができるしね」

自然を守ってこそのスローライフ

オーストラリアには世界で最も多くの世界自然遺産が存在する。それは人と自然との共存が保たれているということ。自然との共存から生まれるスローライフとは？　シドニー近郊に位置するブルーマウンテンズ国立公園のチームレンジャー、ヴァネッサさんに聞いた。

「この国は人口密度が低く、居住地域のすぐそばにユニークな自然が存在しています。だから必然的に自然を意識するようになりますし、上手に自然と付き合えなければ生きていけないと理解するんです。自然を守ることと、スローライフは同じです。森の中に身を置き過ごすうち、あらゆる生き物たちが共存していることがわかってくる。でもそれは、観光客を受け入れないということではありません。人々が来てくれることで地元がうるおい、そのお金でできる保護活動もたくさんあるのですから」

写真手前右、石造りの建物が並ぶ通りが、古きよき面影を残すロックスエリア。すぐ後ろに建ち並ぶ近代的な高層ビルとのコントラストが、シドニーの都市開発の特徴を物語っている。

ロックスエリアにあるオーストラリア最古のホテル。「心がけているのは、昔と極力変わらぬサービスの提供。建物の外観はほぼ変わらず、自家製ビールの醸造方法も昔のままのオーガニック製法を徹底しています。歴史を超えたスローな気分を味わいに来てください」と、オーナーのヘイデンさん。

The Lord Nelson Brewery Hotel

19 Kent St, The Rocks, NSW
www.lordnelsonbrewery.com

豪州独自の「グリーンスター認証」の基準を満たすグリーンビルディング。光や熱効率への工夫が随所に施され、図書館を吹き抜けの半地下にすることで自然光を呼び込むと同時に、冷暖房の効率化を図る。

ヘルスコンシャスな人が多く暮らす都会には、ベジタリアン系のカフェやレストランが点在。味付けは和風だったりメキシカンだったり、チャイニーズだったり。オーストラリアらしくマルチカルチャーが凝縮されている。

歴史と開発が共存する最先端でスローな都市

スローライフを実践するための場所は自然の中だけではない。都市でもその生き方を貫くことは可能だ。オーストラリア近代史の始まりとされるのが、最初の入植地であるシドニーのロックスエリア。経済を最優先するならばとっくにここは取り壊され、再開発の中に取り込まれていたに違いない。しかし開発の波はこの手前まで。自然を守ろうとするこの国の人々は、都市をも守っている。とはいえ、その発展のためには人を呼び込む必要があり、現在シドニー中心部では大規模開発プロジェクトの「グリーンスクエア」が進行中。豪州最大の雨水活用施設や太陽光発電、ライトレール（軽量軌道交通）や自転車専用道を備えた〝環境先進地区〟を目指しているという。新しい価値観と古い伝統とカルチャーは、競い合うのではなく各々を尊敬し合っているかのように共存。ほかにない景観を作り出していく。

自然が近いということは、それだけ動物たちとの距離も近いということ。道で傷ついた動物を発見したら保護するというルールもある。自然やそこで暮らす野生の生き物との共存。その実践もまたスローライフ。

Life with ...
My Own Style

スローライフが定着するバイロンベイ。
そのコミュニティマーケットで、人々の
人生のモットーについて尋ねてみた。

太陽と海とコミュニティ。すべてに感謝と愛を

「メルボルン出身です。ここはコミュニティがユニーク。クリエイティブな人が多く、刺激されます。スローライフを実践できているのは、仕事よりも自分のやりたい活動を大切にしているから。週に3日ほど仕事をしたらほかの日は好きなことを。そのために大事なのは、愛。すべてに愛をもって接するようにしています」

（セラミックアーティスト、ルーさん）

この街だからこそ叶うシンプルでイージーな生き方

「ここで生まれて世界中に移り住み、6年前に戻ってきました。隣の大きな街とはまったく違います。バイロンベイのキャッチフレーズである『Cheer up, Slow down, Chill out（元気を出して、ゆっくり行こう、くつろいで）』がすべて。『Should be allright』もオージーの合言葉。大丈夫。なんとかなるんですよ。とくにこの街ではね」

（マーケットスタッフ、クリスティーナさん）

“好き”の気持ちに従っただけ。楽しいことがすべて

「ビーチの魅力に惹かれて移り住み、30年近く。スローに生きているかどうかなんて考えたことはありません。ここの環境が好きで暮らし始めた。たまたま手先が器用だったので、好きだった服作りを始めたらうまくいって……そんな生き方。楽しさがすべてに勝る。それをスローというなら、そうなのかもしれませんね」

（アパレルデザイナー、スーザンさん）

Byron Community Market
Dening Park, Lawson St, Byron Bay NSW
https://byroncentre.com.au/markets/community-market　※開催日程はHPに記載

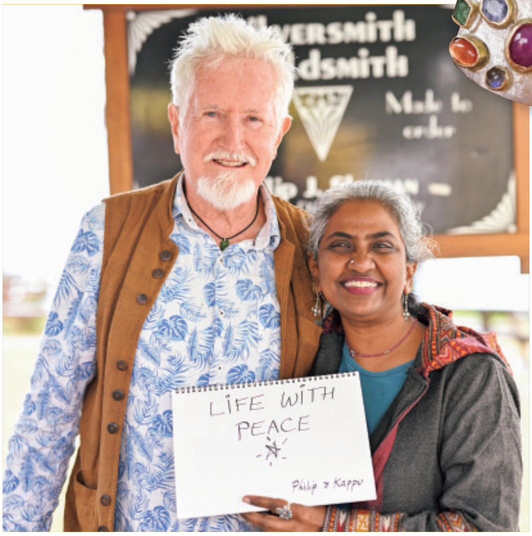
サーフカルチャーと クリエイティブなムードに惹かれて

「オーストラリアを調べているうちにバイロンベイのことを知り、パリから移住。アートやクリエイティビティを発揮できる点はパリと共通しているけれど、サーフカルチャーはこちらだけです。ホテルなどから不要になったタオルを引き取りアップサイクルして服を作っていますが、このアイデアもバイロンベイにいたからこそ生まれたもの」
（アパレルデザイナー、リリーさん）

互いに認め合う文化を確立。 誰が何をしようと自由

「いろんな場所を旅してきたけれど、世界でいちばん好きな街だよ。裸足で歩いてもどんな格好をしていても自由で、みんなが認め合っている。住み始めた頃と比べれば変わってきたのも事実だけど、このマーケットにはバイロンベイらしい雰囲気が漂っていると思う。小さなコミュニティを大切にしているし、スローライフを好む人が変わらずやってきます」
（ATMマネジメントワーカー、ジェイドさん）

Down to Eastern Australia



すべてにピース、みんながピース。 それがバイロンベイ

「アデレードやブリスベンで暮らしたあと、サーフィンが好きでここに来て12年。1977年からジュエリーを作っていますが、この街では次々とやってくるアーティストたちが互いに刺激し合い、アイデアを共有することで相乗効果が生まれていると思います。何より、ピースフルなのがいい。それがここの最大の魅力かな」
（ジュエリーアーティスト、フィリップさん＆カップさん）

Life with ... Discovery

“ 狭いエリアでありながら
多様性があってなんでもできる。
それがバイロンベイ ”

自然と一体になれることがアーティストにとって大切

「バイロンベイ」という名前から海だけの街と思われがちだが、そうではない。この地のアーティストの多くが住むのが、ヒンターランドと呼ばれるマウンテンサイドのエリア。そこに住むことが与えてくれる刺激について聞くため、森の中に暮らし、庭や家の自然をテーマに作品を描き続けるアーティスト、ティファニーさんを訪ねた。

「都会の環境に疲れ、家族でメルボルンからやってきたのが2004年です。サーフカルチャーやファーム、ヒッピーライフ、ホリデーを過ごす場所と、それぞれの側面がある魅力的な場所としてバイロンベイが知られ始めた頃でした。ここに暮らしている人の多くが、外から来ている人。みんながそれぞれのカルチャーを背負って来ているので、溶け込むには正直時間がかかりました。ただ、知り合う人みんなが面白くてユニークで。そういう出会いを求め、ここに人が集まってくるのだと思うようになりました。バイロンベイは自然と一体になれる場所なので、インスパイアされることも多いんです。それはアーティストにとってすごく大切なこと。当初はこの辺りの湿地帯の絵が多かったのですが、森の中に移り住んでからは自然の中のすべてのものがつながっているような作風に変わりました。私はアーティストであると同時に、ガーデナー（庭師）でもあるのですが、その楽しさや、自然との触れ合いに感じ始めている興味もアートに影響していると思います」

ティファニーさんのバイロンベイラブにあふれた作品は、こちらのサイトから閲覧＆購入が可能。www.tiffanykingstonart.com

Life with… Freedom

ローカルで作り消費する 最高のサスティナビリティ

バイロンベイのアイコン的農園である「ザ ファーム」。ここでは数百種の野菜の栽培とヤギや牛、豚など数百頭、鶏1400羽の飼育を行い、レストランで提供する料理の素材のほぼ全部を賄って(まかな)いる。足りないものは地元の農家から仕入れ、100%ローカルのものを使って、フードマイレージの削減やローカルコネクションに貢献。もちろん環境保全への取り組みも積極的だ。プラスチックを極力使わず、ワインもボトルではなく樽から直接サーブする。そうすることで、年間2万本近くものボトルの節約につながるそうだ。また定期的にワークショップを行い、子どもたちへの食の啓発活動を実施。食べものがどのように育てられ生産されているかをダイレクトに体験することで、食べることがより楽しくなるのだという。この単純な喜びから、〝もっと知りたい〟という好奇心や欲求を生み出している。

The Farm Byron Bay
11 Ewingsdale Rd,
Ewingsdale NSW
https://thefarm.com.au

ここでもビジーなことはある。だけど、その質はまったく違う

バイロンベイに自然の中のワイルドな宿泊施設がまだなかった頃、オーナーのジェームスさんが〝ないなら自分で作ろう〟と建てたのがこちらのホテル。「木が生い茂って荒れ果てた土地を整備するのは、大変だったけど楽しかったよ。実はここもそれなりに忙しいんだ。だけど〝忙しい〟の質が違う。都会では人が多く移動したり仕事したりだけど、バイロンベイではおいしいものを食べたり自然の中でコーヒーを飲んだり、庭をケアしたりとか、そういう忙しさ。都会とはまったく違う〝スローライフのための忙しさ〟だね」

Blackbird
210 Frasers Rd, Mullumbimby Creek, NSW
www.blackbirdbyron.com.au

Folk Byron Bay
399 Ewingsdale Rd,
Byron Bay NSW
https://folkbyronbay.com

目指していた自由がここで見つかった

友人に誘われてこの街に来たのがきっかけで、こちらのカフェのオーナーになったというショーンさん。彼のスローライフのキーワードは「自由」だという。「ずっと目指していた自由を、バイロンベイで掴むことができた」と話してくれた。

さて、自身を顧みた時、スローライフを送るためのキーワードは容易に見つかるだろうか？　もし見つかっていないとしたら、新たな旅に出かけて大勢の人と出会い、それぞれの生き方に触れてみるのも悪くないと思うのだが、どうだろう。

花空遊愉

花と出会う、花と遊ぶ。

vol.4

今月の花 **トルコキキョウ**

原産国 アメリカ

装花・文 赤井 勝

→目次に戻る

今月の花は、じつにユニークな存在です。なぜなら「トルコキキョウ」を名乗りながら、原産地はトルコではありませんし、キキョウの仲間でもないのです。30年代に日本に持ち込まれた際、蕾(つぼみ)の形がトルコ人のターバンに似ていることから、その名を冠したと言われています。また、一重咲きの原種の花容が似ていたことから、日本人に馴染(なじ)み深いキキョウの名が付けられたとされています。

第二次大戦の戦禍を受け、この花の種は国外ではほぼ絶えてしまいます。いっぽう、日本では60年代に生産量が急増。その陰にあったのが、高い技術を持つ我が国の育種家たちの、懸命な品種改良でした。いまや、流通するほとんどの品種が日本産です。

私は、この花の在りかたこそ、私たちの国の真骨頂だと思います。その昔、大陸から渡来した麺料理が、いまや外国人旅行者がこぞって求める数多(あまた)な種類のラーメンという日本の国民食に進化したように。海外のフローリストたちが、日本で生まれ変わったこの花の美しさと多様性に目を丸くする、そんな光景を私は幾度も目にしてきたのです。

最近、少し元気のない技術大国へのエール——。そんな思いも込めて、私はこの装花を贈ります。

赤井 勝／あかい まさる
65年、大阪生まれ。花を通じ心を伝える自らを「花人」と称し、自身の飾る花を「装花」と呼ぶ。08年、北海道洞爺湖サミット会場を花で飾り、09年、ローマ法王ベネディクト16世にブーケを献上。13年、伊勢神宮式年遷宮では献花奉納し、17年、フランスのルーブル王宮内パリ装飾美術館で開催の「JAPAN PRESENTATION in PARIS」でも桜の装花を担当。

パラダイス山元の

快適な空だけの旅 Vol.5

当日即決搭乗のすすめ

イラストレーション／ソリマチアキラ

自宅から「今日は北か南か？」「乗りたい気分の路線はどこか？」と、電車に揺られながら、頭の中に候補地を思い浮かべつつ空港に到着。出発案内の電光掲示板を眺め、そこで初めて行き先を確定させる〝のりひこさん〟（飛行機にたくさん乗るのが趣味な人）がいる。富裕層ではなく〝浮遊層〟と自称、アクティブに搭乗を楽しまれている方たちだ。

行き先ではなくプレミアムクラスに空席がある便、バスラウンジからの出発便で搭乗口通過後、飛行機まで空港内をバスで移動、タラップ車で搭乗できる便など、その日そのときの気分で乗りたい便を選択。携帯のANAウェブサイトから予約→決済→オンラインチェックインと一気に進み、そのまま保安検査通過、搭乗口へ移動するスピーディーな流れは、一度経験するとクセになる。

飛行機に乗るために、何日も

→目次に戻る

前から予約して、ガイドブックで見どころを調べたり、どんな服装で、鞄はどれを持っていこうかとワクワクしたり、前日ソワソワして眠れなくなるといった不安など皆無の〝当日即決搭乗〟は、思い立ったら今からでも簡単にできてしまうのだ。

空港に着いてから行き先を決めるなんて、やっぱりどうかしていると断じたくなる気持ちもわからない訳ではない。しかし、一度この〝荒行（あらぎょう）〟を経験すると、個人差はあるものの、飛行機がバスやタクシー、電車と同等に身近で気軽な乗りものと再認識することとなる。

到着地周辺の天候が悪く、着陸できない場合は出発空港に引き返す〝条件つきフライト〟ばかりを好んで選択する強者（つわもの）もいる。世の中、なるべくなら揺れない乗りものに乗りたいという人ばかりではない。「揺れましても飛行の安全性には全く問題ありません」という操縦室からのアナウンスに安堵して、離陸直後から揺れっぱなしの飛行機が大好物な私のような人もいるのだ。

12歳以上25歳以下のANAマイレージクラブ会員が利用できる「スマートU25」や、65歳以上の同会員が利用できる「スマートシニア空割」など、搭乗当日おトクに搭乗できる運賃が用意されている。搭乗日、便によっては制限があるものの、空席があれば、当日午前0時より予約が可能。出発空港で、プレミアムクラスに空席がある場合、追加料金でアップグレードが可能。これを使わない手はない。25歳以下のヤングと、65歳以上のシニアに思わず嫉妬！

機内誌『翼の王国』の最新号を、いち早く手にしたいという理由くらいつけて、月初めの早朝、空港へ向かってみてはどうだろう。もちろん行き先は、空港へ着いてから決めるので、ぜんぜん遅くない。

〜つづく

パラダイス山元の 空 港 巡 礼

【高松空港】TAK

うどん県としても有名な香川県の高松空港には、うどん王国ならではの〝うどんのダシ汁が出る蛇口〟が２箇所もある※。温かいのと、冷たいのが用意されている。手打ちうどんを振る舞う飲食店は２軒。空港から出なくとも、２軒はしごして味わうのもアリだ。ANA FESTAには、小豆島のオリーブ油を使った加工品や、売上げ 1位の「銘菓 観音寺」をはじめ、「焼きドーナツ」「讃岐おんまい」、そら豆を使ったさぬきの郷土料理「しょうゆ豆」が人気。滑走路を挟んで反対側には、子どもが一日中楽しめる「さぬきこどもの国」がある。祝日は送迎サービスも。退役した YS-11の展示、迫力ある離着陸風景を直近で撮影することができる、大人でも楽しめるスポットだ。ターミナルビル２階の〝束になったうどんの形をしたベンチ〟が、コシが強い座り心地で、パラダイス山元の推し。

※うどんダシの提供は9:00 〜 なくなり次第終了。お一人様１杯まで。無料。新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2022年12月現在休止中。

パラダイス山元：プロ搭乗客。ANAミリオンマイラー。無類のうどん好き。一泊二日で香川県内の讃岐うどんを 16杯食べ歩いたことも。著書に『パラダイス山元の飛行機の乗り方』『なぜデキる男とモテる女は飛行機に乗るのか？』（ダイヤモンド・ビッグ社刊）など、全編機内で執筆したエッセイや啓発本が人気。twitter : @mambon

広島でサステイナブルな暮らしに浸る

世界を魅了する密かな楽園 瀬戸内アイランド

瀬戸田は、広島県尾道市の最南端、瀬戸内海に浮かぶ生口島の町。島内はレモンの花の甘い香りに包まれ、穏やかな海に囲まれたのどかな場所。瀬戸内ならではの海や気候によって、安全で平和なアイランドとして海外からも注目を集め始めており、2019年の米国「The New York Times」では「52 Places to Go in 2019」で瀬戸内アイランドが日本で唯一選出されたほど。日本一の国産レモンの生産地としても有名で、全国各地のスーパーやレストラン、料理人から重宝され、通称「レモンの島」と呼ばれるほど生活にレモンが根付いている。
近年この島に移り住み、島づくりに尽力しているシェフ、鬼崎翔大の目に映る瀬戸田の魅力を見せてもらった。

案内人／鬼崎翔大　撮影／尾原深水　編集／中野桜子

「瀬戸内アイランド」は
web「翼の王国」でも
お楽しみいただけます

港の“泊まれるレストラン”

SOIL

ここはサイクリストたちの楽園ともいえる
〝しまなみ海道〟近くの島。
ぶらりと休憩ができたり、
一晩疲れを癒したり、
おもいおもいの心地よさを
提供できる場を作りたい。

僕がソイルを通して瀬戸田でできること

よく、「なんで東京の第一線にいてこっちに来たの?」と言われることがあります。たしかにシェフとして海外や東京で色々な経験をして、まだまだ東京でやりたいとも思いました。でも、生産者との距離が近いところへ行きたいと思ったし、地方がこれから強くなるべきだと思った。1年前にアメリカのフードホールの立ち上げから帰国したタイミングで、食材との距離が近い場所に行こうとしていて、そんなとき呼ばれたのが瀬戸田でした。生産者さんの「この食材でこういうことできないかな?」という声は東京にいては聞こえなかったんです。食材との距離が近いということは地方の強み。食材たちを日々どう落とし込むかに向き合うことは、料理人としての使命を感じますね。ソイルは、生産者が都会と繋がり活躍できる場所になれれば嬉しいです。都会と島を繋ぐ町づくりをしたいです。

薪料理

空間的な贅沢さを追求した新しいホステル

僕は料理人であり、観光大使をやりながら地域活性プロデューサーの役割もやらせてもらっています。これまでレストランに尽力してきたんですが、宿泊施設やカフェ、交流の場を提供するサービスを統括して、色々なことに気づかされました。朝食からランチ、ディナーと営業する大変さはありますが、老若男女、世界各国から旅をしに来る人との一期一会の出逢いがあり、やりがいのほうが上回ります。

ソイルは全面ガラス張りのレストランで、客室にも海が見える大きな窓を備えています。逆にいえばそれ以外はシンプルで素朴な素材でできていて、余計な装飾がない。それが最高の贅沢だと感じさせてくれるのが瀬戸田ならでは。朝日と夕日を目一杯浴びることができ、都会では味わえない時の流れを感じながら人々とのおしゃべりを楽しんだり、島食材のおいしさを味わえる。ここに来て、島の人の優しさや、食材のおいしさ、様々な〝豊かさ〟を感じることができたので、それをお客様にもシェアできれば嬉しいです。多島美の美しさというものを肌で感じると、言葉にならないほど感動するはず。

休憩時間に畑や海に行き、新しいコミュニティができる。そうするとさらにアイディアが生まれ、ものづくり、改革ができる。ゆくゆくは全国にソイルを増やし、料理人やスタッフが店舗間を移動しながら四季を感じ出逢いや食材に触れることができる環境づくりをしていくことが、今後の展望です。（鬼崎さん）

ドアを開けるとあっと驚く絶景独り占めの部屋！　朝・夕刻と、目の前に広がる海と太陽の表情を楽しめる。リーズナブルに宿泊したい人はドミトリータイプの客室がおすすめ。

SOIL SETODA
広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田254-2　TEL 0845-25-6511
ディナーのみのご予約も可。※営業時間や定休日は、SNSにて随時更新しておりますのでご確認ください。
Instagram @minatoya_setoda

案内人 **鬼崎翔大**

おにざき・しょうだい
1986年生まれ、熊本県出身。熊本桃花源にて四川料理を学び、世界を転々としながら様々な飲食媒体の立ち上げに関わる。帰国後、六本木虎峰、西麻布浮雲を経て渡米。現在は広島の生口島に移住しMINATOYA（ソイル内レストラン）のシェフとして腕をふるう。
Instagram @zakioni

朝はカフェ、昼はランチメニュー、そしてディナーは島食材をふんだんに使用した薪料理。鬼崎シェフの原点である中国料理の技法を用いた、ここでしか食べられないコース仕立てとなっている。この日の料理は右から、島野菜の薪グリル、島ダコの麻婆豆腐、地魚の薪焼き、鶏の薪焼き、その他。その日にとれた魚・野菜や仕留めたての肉料理が楽しめる。器は惠谷氏に特注で作ってもらっているこだわりのもの。

島中を包む、
レモンの花の甘い香り……。
瀬戸田の気候が生んだ、
香りが自慢の国産レモンのめぐみ。

れもんだにのうえん
広島県尾道市瀬戸田町垂水 1739-2
TEL 0845-27-3201
https://remondaninouen.jimdofree.com

農薬・肥料不使用、廃棄を出さない自然と共存するレモン農園

鬼崎シェフと親交が深い農園のひとつ、「れもんだにのうえん」は、40年の歴史がある農園。ここの自然栽培は、農薬・肥料不使用。「本来畑にないものは入れない」、これが農園を営む生産者の永井英夫さんのポリシーだといいます。これぞ本当の自然栽培。「木が元気だったら、虫や動物を寄せ付けないエチレンという物質が分泌されるので、農薬不使用でも元気なレモンが育つんです。人間と一緒ですね、体が丈夫なら病気を寄せ付けない。なるべく木の持つ力で、自然のおいしさを引き出せるように世話をしています」と言う永井さん。この島で600あまりのレモン農家がある中、農薬・肥料不使用の自然栽培はほんの一握り。

もうひとつ気をつけているのは、鮮度。「注文が入ってから収穫をしています。ロスが出ないうえ、鮮度が違う。もぎたてのレモンは香りが段違いですよ」と言う永井さん。鬼

崎シェフも、「レモンは鮮度と香り。皮まで安心して調理できるのが、何より嬉しい」と太鼓判。レモンチェッロや皮を使った料理には、鮮度が良くてワックス不使用のレモンが欠かせません。レモンは酸度が高いので腐敗が遅いからこそ、とれたてで流通されていないことも多いといいます。でも、鮮度の高いレモンを一度食べたらその香りの違いは一目瞭然。無駄に作らない、無駄にとらないことは、今後注目されるべきだといえるのではないでしょうか。

a

b

c

e

f

d

世界を魅了する密かな楽園
瀬戸内アイランド

自然栽培のレモンや、レモンを使った商品・ドリンクが買える「レモンラボ」。しおまち商店街そばに位置する。**a** レモンは1～4月が旬。10～12月までは早摘みのグリーンレモン。香りは高いが、苦味がある。1月以降の遅摘みは生で皮ごと楽しめる。**b** USHIOチョコラトルとコラボしたレモンピール入りチョコレート。**c** レモンラボで飲むことができる、搾りたてレモンスカッシュ。**d** レモンラボで作っているホットレモネード。**e** レモンラボオリジナルの甘夏のマーマレード。**f** レモンの葉を楽しむ、レモンリーフティー。

Remon.Lab
柑橘の直接販売、シェアキッチンの運営、柑橘商品の企画を行っている。
広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田 284-3
HP remon-lab.co.jp
Instagram @remon.lab
オンラインショップ
https://www.tabechoku.com/producers/23795

れもんだにのうえんの永井英夫さん（左）。鬼崎シェフもここのレモンのファン。いっしょに収穫を楽しんだり、ソイルでの料理にも欠かせない。

世界を船旅してきたサムさん一家が、定住した島。風向きで楽しむ気ままなヨット旅で、アイランドホッピングへ。

瀬戸内海でヨットで遊べるサービスを運営している鬼崎さんの仲間を訪ねました。サムさんのヨットは手作り。「父は海を熟知しています。ニュージーランド人、母は日本人で、僕の両親は船で旅する冒険家でした。3兄弟は常に両親と旅をして育ち、実家は〝船〟。これまで定住することがなかったサムさん一家が、5年ほど前からここに住んでいるという。「色々なところを見てきたけど、これほど安全で美しい場所はない。島の人の優しさにも感動して、今はここを気に入っています」と言うサムさん。

波の穏やかな瀬戸内海だからこそ、ゆらりゆらりと気ままなヨット旅ができるそう。その日の風向きに任せて、行き先は変わります。いくつもの無人島や住人のほぼいない島々に降り立つことができるのも、ヨットならでは。普通の船では桟橋のない島には船体を寄せにくく、気軽に降り立つことはできないからです。ここでは、子どもも大人も、貴重な無人島ツアーを楽しむことができます。また、サンセット、海水浴など季節によって楽しみ方は多様。好きな食べ物や飲み物を持って景色を楽しむもよし。海との距離が近づくはず。

使わなくなった ヨットの帆で デザインしたバッグ

サムさんの取り組みのひとつ、リユースグッズ作り。ひとつひとつが違ったバッグは、なんと使わなくなったセイル（ヨットの帆）をリメイクしたもの。これは、シーズンオフの冬のあいだの仕事だそう。「セイルで何か作れないかと。風や潮、水に強い生地なので、セイルとしては古くなっても、まだまだ頑丈。海に持っていくのはもちろん、マイバッグが主流の今、普段使いしてもらえたら嬉しいです」。

無人島でのゴミ拾いで ポジティブの連鎖を

無人島に着くと、おもむろにゴミを拾うサムさん。一緒にいた全員も自ずとゴミ拾いを始めます。「ここは無人島のビーチがたくさんあって、どこもすごく美しい。それなのにゴミがたくさん落ちていて、勿体(もったい)ないと思ったのがきっかけ。日本は、プラスチックを大量に使う文化があるでしょ。文化を変えるのは難しいけれど、拾った人は、これは誰かのだったんだな、と〝人間のものだ〟って、気づけると思うんです。それで次に買うときに一人一人少しずつ気持ちが変わると思って。誰が捨てた？ 誰が回収する？ というややこしい話でなく、僕の船でしか無人島に行けない、ということで使命感を感じたんだよね。お客さんはもちろん、学生や、次の世代に伝えたい。そしてこれが船に乗るきっかけになり、海や外遊びが好きな若者が増えれば。将来は、ゴミ専用の収集船みたいなものを作りたい。ゴミ拾いって、日本だと面倒くさい、汚い、というネガティブなイメージだと思うんですが、やればもっとよくなる、楽しくなるというポジティブ思考を作ることができれば嬉しいです。その気持ちよさは、お金では買えない。ゴミが全くないさらに美しい景色は、日本の島の価値を上げると思うんです」。

ヨットに揺られ、日常を忘れてしまうひととき。会話したり歌ったり、好きな時間を過ごせる。

島旅ヨット
手作りヨットで
楽しいツアーを提案します。
TEL 080-9530-2800
Instagram
@shimatabiyachts

弟のトーマスさんは漁師。毎週たくさんの魚を釣り上げ、市場に卸す。冬は鯛が大漁！

Azumi外観。明治時代初期1876年に建てられた「堀内邸」を受け継ぎ、修繕、復元した。

サスティナブルであり、最大にラグジュアリーにステイする

Azumi

修繕の際に努めたのは、木、石、土といった主要な材料をなるべく排除せず残すこと。廊下と直接触れている中庭は、館内のいたるところから眺められ、素晴らしい。

館内に飾られた陶器の器の中には、昔の堀内邸で使用されたものをそのまま残しているものも。

客室はヒノキの香りに包まれ、仕切りの少ない開放的な造り。伝統的な旅館のくつろぎと現代的な備えをシンプルに共存させている。

時を超えて誕生、今なお瀬戸田で愛される堀内家の建築

瀬戸田で賑わう商店街「しおまち商店街」にそびえる宿、「Azumi Setoda」。その存在感と重みのある建築は、それもそのはず、明治時代の初期に当たる1876年に建てられた「堀内邸」を受け継ぎ、修繕し、誕生したものです。堀内家は、かつて瀬戸田で製塩業や海運業を主に営み栄えていた豪商でした。堀内家が事業を始めたのは17世紀の初頭だと言われ、それから約2世紀という長きにわたって活躍していたといいます。

堀内邸は当時、品質、造形において世界的に見ても非常に高い水準だったといいます。建設から約140年が経過しても壊れず建ち続け、細部まで復元が可能だったという点に、技術力の高さが表れています。

数寄屋（すきや）造りは、質素で簡潔、かつ自然の素材をそのまま使っているのが特徴。改修に伴っても、木、石、土といった主要な材料を〝生き物〟として扱い、なるべく排除せずに残しており、その建築は圧巻。様々な角度から中庭を眺めくつろぐことができる造りになっています。客室はシンプルで温かみのある造り、開放感のある仕切りのない部屋は清潔感に溢れています。サスティナブルでありながらラグジュアリーに包まれる感覚というのはいかに贅沢で貴重なことか……一度は身を置いてほしい場所。宿そのものが素晴らしい遺産でできている、と言っても過言ではありません。

また、「Azumi Setoda」がある通りの向かいには、思想を同じくする「yubune」という宿泊も可能な公衆浴場があり、温浴はこちらで満喫することができます。

Azumi Setoda
広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田 269
TEL 0845-23-7911
https://azumi.co/setoda/
Instagram
@azumi.setoda

Azumi の向かいに建つ銭湯宿 yubune。リーズナブルに宿泊と温泉を楽しむことができる。内湯（ジャグジーあり）、サウナ、水風呂を揃え、客室は国産ヒノキ材や畳を使用した心地よい空間。

yubune
Azumi 向かいの銭湯宿。
広島県尾道市 瀬戸田町瀬戸田 269
TEL 0845-23-7911
7:00 ～ 22:00
（日帰り入浴の場合は 10:00 ～ 20:00）
大人：900 円（土日祝 1,200 円）
yubune、Azumi の宿泊者は無料
https://yubune.co
Instagram@yubune.setoda

50km圏内で収穫できる、地の食材にとことんこだわったフレンチ。味わったことのない野菜の味わいに圧巻。

（右）人参の一皿。3 種類の人参を使って、数種類の調理法を用いている。数種類の技法を用いるのはフレンチの伝統的な「デクリネゾン」という手法で、例えば人参を、ピューレ、パウダー、ボイル、といろいろな調理法で堪能できる。（左上）前菜 3 種。エビや刺身もすべて地の食材。（左中）タコはシグネチャーメニュー。三原のワイナリー瀬戸内醸造所で作られた“タコのための赤ワイン”をぜひ合わせてほしい。（左下）豚肉とごぼうのグリル。Azumi のダイニングは外来のかたの予約も可能（3 日前まで）。

本来捨ててしまう部分まで野菜のポテンシャルを引き出す

Azumi Setoda のダイニングでは、旧堀内家のダイニングテーブルにて、瀬戸内の食材を使ったフレンチが振る舞われます。統括する秋田シェフは、東京のレストラン時代にも一つ星を獲得する腕前で、季節の野菜を余すところなく調理する「サスティナブルなフレンチ」が得意。

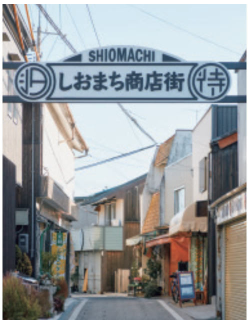
秋田シェフの野菜料理はメインになる満足度の高いもの。もちろん瀬戸内が誇る魚介のお料理もたっぷりと堪能できます。「コンセプトは、半径50㎞圏内でとれた食材を使用すること。野菜と、そしてタコや鯛など瀬戸内でとれる鮮魚をメインに、その時々の食材で構成しています。畑に野菜の成長を見に通いながら、仕入れされる日まで、どう調理するか考えを温める。とても楽しいですね。東京を離れるときに、やりたかったことのひとつです」。秋田シェフ自身も自家菜園で、野菜を育てていると言います。このコースを体験したら、〝一皿一皿への愛がすごい〟これに尽きるのではないでしょうか。堀内家で使用されていたお皿に盛りつけられたフレンチは、その味わいの奥行きを表現してくれます。

秋田絢也（あきた・けんや）
福岡のフレンチレストランや京都ホテルオークラでの勤務を経て、2007 年渡仏。ロワールの星付きレストランを皮切りに、サボア地方の 2 つ星レストラン「レ テラス」や 1 つ星レストラン「オー フラブール」などで部門シェフ、スーシェフとして働く。2 つ星「ドメーヌオード ロワール」を経て、2015 年にアヌシーの 2 つ星、2019 年にミシュラン 3 つ星に輝いた「クロデサンス」で約 4 年に渡りスーシェフを務める。2020 年開業の「Nœud.TOKYO（ヌートウキョウ）」では、『ミシュランガイド東京 2022』で 1 つ星・グリーンスターの初獲得に導く。2022 年 7 月、Azumi Setoda のヘッドシェフに就任。

しおまち商店街と〝塩つぼ〟のはなし

今回訪れた〝しおまち商店街〟は、瀬戸田で賑わう、懐かしさを感じさせる商店街。現在は塩が作られる様子は見受けられませんが、その昔は盛んで、堀内家も製塩業で栄えたといわれています。また、生口島への海の玄関口である瀬戸田港を望む立地でもあることから、ここは文字通り〝塩〟の町であり、〝潮〟を待つという意味をも内包して、〝しおまち商店街〟と言われているそう。

そんなしおまち商店街の入り口に位置するAzumi／yubune／SOILに、堀内家にちなんだ〝塩〟を入れるための〝塩つぼ〟が売られています。陶芸家の惠谷幸史氏による作品で、この地の素材を用いており、塩を入れたときの使用感は抜群。考え抜かれた構造は、瀬戸田への贈り物ともいえる作品です。



レトロな商店街は地元の人、観光の人で賑やか。瀬戸田の港の入り口から続く商店街。

この塩つぼは、生口島（瀬戸田）の隣の高根島の土を陶土に混ぜて作られており、底や蓋に輝く美しいグリーンやブルーは、砂浜に落ちている〝シーグラス〟を再利用しています。シーグラスを混ぜ込み焼くことで、土と溶け合った様は実に美しく、個々の違いも良いアクセントに。また、同じく砂浜に落ちている牡蠣殻を添えて焼くと、オレンジ色に発色するというのも不思議！　白い釉薬は柑橘の木の灰と藁灰を使っており、まさに瀬戸田のエッセンスで構成された焼き物。焼き物の構造上、塩が湿気から守られ、大中小のサイズ感はそれぞれの用途にフィットするように作られています。出会えたときは運命を感じる、個々の表情に溢れた作品。

シーグラスは、海に流されたビンなどのガラスの破片が流されては打ち寄せられ、角が丸くなって砂浜に落ちているもの。どんな色になるかお楽しみ。塩つぼは、yubuneの売店に売られている。

惠谷幸史／えや・ゆきふみ
1977年生まれ。大学卒業後2年間備前焼を学ぶ。26歳から30歳まで備前焼窯元で働いたのち、尾道の向島で独立。向島東製陶所にて、器を製作・販売する。Instagram @m_h_seitousho

サスティナブルのその先へ。〝オーバービューコーヒー〟が地球にできること。

未来の気候変動を抑え、おいしいコーヒーを追求する

SOILの隣の蔵には、コーヒーの焙煎所があります。毎週火曜日、黙々と焙煎機に向き合うのはOverview Coffee Japan代表の増田啓輔さん。ここにある立派な焙煎機に任せておけばおいしいコーヒーが出来上がるようにも思えますが、誰にでもできるものではなさそう。「気候や豆のコンディションによって、香りや感覚を研ぎ澄まし、人の手で行います。そして、このマシンと使っているソフトウェアのおかげで焙煎時の豆の温度を測れたり、ログを残すことができ安定的な焙煎が可能。数種類の豆を焙煎し、全国に出荷しています。また他の焙煎機に比べると、75～80％もガスの使用率がカットされるので、環境負荷が少ないのもメリットです。」。そもそも、環境にやさしいとされる〝オーバービューコーヒー〟とは何なのか、日本ではまだ聞き慣れない人も多いのではないでしょうか。

「まず、オーバービューコーヒーは、〝リジェネラティブ・オーガニック〟農法のコーヒー豆を推奨しています。〝リジェネラティブ・オーガニック〟とは、化学合成物質、遺伝子組み換え作物などを使わないオーガニック農法に加え、気候変動と戦うために土の健康を高めることを目標とする農法。土を耕さず雑草や植物などの有機物で土の表面を覆うことで、人間の生み出した二酸化炭素を貯留し、気候変動を抑制します。世界ではコーヒー以外にも、畜産、海上養殖、農家など色々なところでこの農法が推奨されている。リジェネラティブ（再生）ですから、サスティナブルのさらに先を見つめたい、それが、オーバービューコーヒーが地球にできるミッションだと考えます」。

SOILのワークショップとして、コーヒーの淹れ方やテイスティングも体験できる。

焙煎したてのコーヒーは香りの格が違います。現在は6種の豆を販売している。

Overview Coffee
overviewcoffee.jp
Instagram：@overviewcoffeejapan
Overview Coffeeの国内初となる焙煎所。
広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田254-2
SOIL SETODA KURA内

焙煎前と焙煎後の豆。コーヒー豆はリジェネラティブ・オーガニック農法のもの。

海辺の畑でぶどうが育つのも、大三島の穏やかな気候ならでは。

栽培、収穫、醸造、瓶詰もすべて行う海辺のワイナリー

瀬戸田からしまなみ海道に車を少し走らせると、そこはもう愛媛県今治市に属する、大三島。瀬戸内海で5番目に大きな島で、温暖な気候に恵まれ、みかんを中心とした農業が盛ん。

キラキラと輝く海がどこまでも続く海道沿いに、一軒のワイナリーが佇み（ただず）ます。海に面していながらぶどうの栽培、というのはあまり聞き慣れないものですが、それを叶えるのが、瀬戸内海の気候。「大三島みんなのワイナリー」は、もともと農家さんの高齢化で荒れてしまったみかん畑を2015年からぶどう用に改良しようという建築家の伊東豊雄さんのプロジェクトで始まりました。耕作放棄地はワイナリーのぶどう畑としてよみがえり、研究を重ねながらおいしいワインの醸造にまで成功しました。島を愛する人々に支えられているワイナリーです。種類も、マスカットベリーA、シャルドネ、キャンベルアーリー、メルローなど万別。ワイナリー醸造責任者の川田佑輔さんは、ここのワイン作りに尽力するため、島に移住してきたといいます。「島の中ですべて作る、というのがこのワイナリーの魅力です。海が見える畑で育ったワインは果実味やミネラルのバランスも抜群。病気に悩まされる年もありましたが、特に今年はおいしい年。日本のワインのおいしさを味わってもらえると思います」。甘くてジューシーなぶどうのジュースや、島ならではのみかんのお酒も人気。瀬戸田のレストランで飲んだワインのおいしさに訪ねてくる人も少なくないのではないでしょうか。

大三島みんなのワイナリー（醸造所）
愛媛県今治市大三島町宗方 5208-1
見学：要問合せ
大三島みんなの家（ワイン販売所）
営業時間　10 時～16 時（月曜定休）
愛媛県今治市大三島町宮浦 5562
TEL 0897-72-9377
オンラインストア
https://ohmishimawine.raku-uru.jp

バランスのとれた意見からは、何も生まれない。それがもたらすものは、現状維持でしかないからだ。人の気持ちを動かし、いつの間にか周囲を巻き込み、新しいムーブメントをつくるのは、バランスのことなんか一切考えないような、たったひとりのこだわりだ。「自分だけの好き」をつらぬいた、独りよがりにも似た熱い想いだ。それをひと言でいうならば、きっと「偏愛」だろう。

その、たぎるほどの偏愛エネルギーを一堂に集めて、東京に新たな光を当てる、そしてかつてない風を吹かせるプロジェクト。それが「偏愛東京プロジェクト」。グルメ、ファッション、イベント、カルチャー、パワースポット、名所旧跡、地形など。東京にまつわるさまざまなこだわりや愛を持つ人々の「実名情報」を、この国にとどまらず、世界中へと日々発信します。

真の愛ある人が1万人集まれば、何かが起こる。何かが始まる。東京という都市が、世界一おもしろい文化の発信源にだってきっとなっていく。そう信じる私たちのプロジェクトにご期待ください。そしてふるってご協力ください。

2023年。偏愛東京が、偏愛投稿を募集します。

偏愛東京

偏愛東京®

株式会社 レッツエンジョイ東京

東京が世界一の観光都市であり続けるために。

偏愛、求ム。

私の
“二枚看板”
其ノ五

絵：矢野元晴

尾上菊之助

おのえ・きくのすけ◎77年8月1日、東京生まれ。父は七代目尾上菊五郎、長男は七代目尾上丑之助。84年、歌舞伎座『絵本牛若丸』で六代目尾上丑之助を襲名し初舞台。96年、歌舞伎座『弁天娘女男白浪』の弁天小僧菊之助ほかで五代目尾上菊之助を襲名。来月4日、初日を迎える『新作歌舞伎 ファイナルファンタジーX』（IHIステージアラウンド東京）では主演はもちろん、企画、演出も手がけている。

シュウチャク シゴクニ サブラヘバ

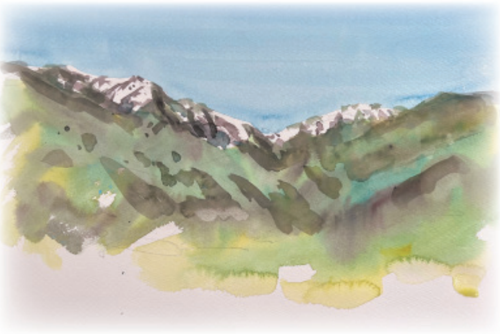
公演で日本全国、さらには海外も回る歌舞伎俳優たち。彼らの舌を魅了した「祝着至極」のメニューを毎月２皿ずつ、紹介します。第五回はドラマや映画でも活躍中のこの人。

数年前、テレビ番組の取材で訪問して以来、私はすっかり白神山地に魅了されておりまして。休みが取れるたび、青森に飛んでは、緑濃いブナの原生林に癒されております。マタギをされている方や、ガイドさんともご縁ができて、山の深部にまで案内していただいたり、渓流釣りを教わったり。白神山地の自然に触れることが、いまの私のいちばんのリフレッシュ方法なんです。

そして今回、まずご紹介したいのが、その白神山地のガイドさんにお連れいただいた弘前城前にあるお店「可否屋（かうひいや）葡瑠満（ぶるまん）」。雰囲気のいい、コーヒーのとっても美味しいお店なんですが、こちらで私

お店の詳しい情報は
web［翼の王国］でも
←こちらから

→目次に戻る



が必ずいただくのが、アップルパイ。マスターが毎日、自ら店のオーブンで焼いていて。余計なものは一切入っていない、地元産のりんごの甘さとパイ生地の香ばしさを堪能できる逸品です。この至極のアップルパイと、1杯ずつペーパードリップで入れてくださるマスターこだわりのコーヒー。もし彼の地を旅する機会がありましたら、ぜひ味わっていただきたい最高のコラボレーションです。

もう一店は、東京にいくつかお店がある四川料理の名店「中國菜 老四川 飄香（ピャオシャン）」。私はこちらの井桁（良樹）オーナーシェフと懇意にさせていただいておりまして。そのご縁もあって、もう長いこと通い続けております。井桁シェフの生み出す四川料理はすべて素晴らしいんですが、私のイチオシはズバリ、よだれ鶏。よだれが出るどころか、一切れ、口に含んだら顎が外れてしまうんじゃなかろうかと心配になるぐらい、美味なんです。あ〜、いますぐ食べに行きたいぐらいです。

可否屋 葡瑠満

青森県弘前市
下白銀町 17-39
tel：0172-35-9928

間もなく公演が始まる『新作歌舞伎　ファイナルファンタジーX』は、私自身も大ファンの人気ゲームを題材とした新作で、大作となる予定です。こういった長いお芝居では、私たち演者も途中で高タンパクな食材を摂るなど、エネルギー補給が必須。そこでもし、飄香のよだれ鶏をいただけたなら、きっとパワー全開の芝居になるでしょうね（笑）。そして無事、千穐楽（せんしゅうらく）を迎えて休みが取れたなら……。私はすぐ、白神山地と葡瑠満に、飛んでいくことと思います。

「こちらの四川料理、何から何まで本当に素晴らしいんです！」

老四川 飄香小院（六本木ヒルズ店）

東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー
ウェストウォーク 5F
tel：050-3177-4848

ニッポン47妖怪さんぽ

取材・文・造形
森井ユカ
撮影 原ヒデトシ
編集 中野桜子

5

宮城

たんたんころりん

仙台駅東側の二十人町（にじゅうにんまち）に伝わるとされる柿の妖怪。晩秋、柿の実を収穫せずに放置しておくと僧や入道に化け、柿を方々に投げながら町を練り歩いたり、甘い香りの排泄物を撒いて回るという。

豊年満作

ニッポン全国津々浦々、6000あまり存在するという伝承から都道府県ごとに一匹の妖怪を選び、独自の解釈で造形しました。妖怪に誘われるがまま旅にでかける空飛ぶ百鬼夜行に、ようこそ。

With
47 Japanese
folk monsters

変幻自在、神出鬼没 柿の妖怪はどこにいる？

クリエイターの創造力を刺激してやまない、いくつもの姿を持つ妖怪が日本にはたくさん存在する。有名どころでは河童（かっぱ）や天狗（てんぐ）が代表格だが、コロナ禍で一世を風靡（ふうび）した熊本県のアマビエも記憶に新しい。仙台発祥とされる柿の妖怪「たんたんころりん」も、水木しげる氏をはじめ漫画家やイラストレーターなど、描き手により姿が大胆に変わっている。「柿を枝に放置し続けるとたんたんころりんがやってきて、町中に柿の実を投げ散らかす」という。残さずありがたく収

森井ユカ：立体造形家／キャラクターデザイナー　ポケモンカードゲームのイラストレーション、小麦粘土セット『ねん Do！』のディレクションなどを担当。著書多数。

（上）仙台から南下すること約50km、丸森町に柿の里があった。『いなか道の駅 やしまや』では、丁寧に剥かれた柿がずらりと干された光景は壮観この上ない。縦に吊るすのではなく横に連ねれば、実がどこにも触れず美しい形のまま仕上がるそうだ。11月には干し柿ワークショップが数回開かれる。また干し柿の販売は毎年1月上旬頃から。

（下）『いなか道の駅 やしまや』店主の八島哲郎氏に周辺を案内していただく。何度となく水害に見舞われた地域であるが、人は住み続け木々もたくましく実を付ける。撮影時、柿の季節は終盤。春からはタケノコの収穫に沸く。

穫しろという教訓から生まれた妖怪であろう。僧に見えるという伝承もあることから、人らしい姿で描かれることも多い。筆者は柿の実そのものからたくさんの手が伸びている風体で造形したが、これは絵本作家・沼野正子氏の解釈に近い。

　不思議なことに仙台のあちこちで尋ねても、この妖怪を知っていたという人はまずいなかった。地元の友人知人はおろか、飲食店や図書館、観光案内所にも。庭の柿の木が激減した現代では、描こうという者にのみ降りてきて、人の中に住みつくことはなくなったのだろうか。

柿を探して東奔西走 妖怪追ってどこまでも

　意外にもその知名度はかなり低いと言わざるを得ない、柿の妖怪たんたんころりん。柿を収穫しないで放置すると、妖怪となって柿の実を投げながら町を練り歩く。いつ頃からの伝承なのかは謎だが、発祥の地は仙台駅東側の二十人町とされている。ところが現在ここに柿の木はない。驚くほど広い車道の両側にはいくつかの寺や学校があり、そこそこ樹木も生えているのだが、残念ながら肝心の柿の木を見つけることはできなかった。

　仙台出身で山旅文筆家の大内征氏に聞くと、昔は飢饉に備え頼れる存在だった柿の木も、近年は簡単に実が手に入るようになったことや、落ちた実を片付ける作業などの煩わしさから、仙台の中心部に残したり、新たに植えたりするということはなくなったのでは……とのこと。妖怪たんたんころりんが出現しようにもできない現状に落胆したが、ならば気を取り直し柿の実を使う料理店を探すことにした。

　柿を贅沢に使ったブルスケッタ（左頁中央）があるというイタリアンの『arco』を二十人町の大通りからすぐ、仙台駅東側に見つけた。パスタは全て手打ちで、とても小さなラビオリ「トルテッリーニ」の滋味深いスープには感動した。そしてもう一軒、駅の西側に訪ねた柿料理のお店もイタリアン。イタリアでは日本から伝わった柿が「kaki」とそのまま呼ばれ、素材として使われているそうだ。東京・目黒の名店『トラットリア・チャオロ』が新たに仙台に出店した姉妹店、ラザニアが名物の『オステリア・カンタービレDaチャオロ』ではシェフがイタリア修業時代に作っていた2品をいただいた（左頁上下）。宮城の食材がふんだんに使われ、2月頃からは県産の魚介を使ったアクアパッツァが楽しめる。どちらの店でも日本の柿の個性が余すことなく生かされ、濃厚で奥深い味わいが楽しめた。ということはここにもたんたんころりんの出てくる幕はなさそうだ。

　どうしても柿の木を見たくなり、仙台からレンタカーを調達して南部の丸森町（前頁）へ向かう。都市部を出てやや険しい山道を走ればポツリポツリと柿の木が見え始め、心からホッとする。茶色い柿の木の幹と目の覚めるようなオレンジ色の柿の実は、改めて日本の原風景に相応しいものだと実感した。ここで作られているとろける舌触りの干し柿は、1月上旬から出回り始めている。

　仙台での柿探しから、丸森町へ足を延ばすことによって宮城県の広さを実感できた旅。今回も妖怪に感謝せねば。

枝に残る丸森町の柿の実。たんたんころりんに出てきてほしいような、ほしくないような。

（上）『オステリア・カンタービレ Da チャオロ』のオードブルは、柿をレモン、塩、エクストラバージンオリーブオイルでマリネし、生ハムで巻いたもの。甘くとろける柿に塩味ある生ハムはこれ以上ないほど相性がよい。
（中）この厚み！　迫力あるブルスケッタは『arco』で。焼き目のついた柿の下からはペコリーノチーズが顔を出す。ステーキを食べるように頬張れる、大満足の一品。柿の時季が終わればその季節に合った果物が登場する。
（下）香り高いマルサラ酒（シチリア島の酒精強化ワイン）風味の柿のソテーに、マスカルポーネのアイスを添えた『オステリア・カンタービレ Da チャオロ』のデザート。温かい柿とアイスの取り合わせはお店でないと味わえない、至福のひととき。

「ニッポン47妖怪さんぽ」は
web［翼の王国］でも
お楽しみいただけます。

出典：『決定版 日本妖怪大全 妖怪・あの世・神様』水木しげる（講談社文庫）／『東北怪談全集』山田野理夫（荒蝦夷）
『こどものとも年少版 タンタンコロリン』沼野正子（福音館書店）／『東西の食文化ー日本のまんなかの村から考えるー』
大石貞男（農山漁村文化協会）

Deportare Trip
vol. 5
旅で解放する

〝サザンの街〟茅ヶ崎を堪能するウェルネス・エコシステム

案内人 **竹下雄真**

写真：福田ヨシツグ　取材・文：竹下雄真　編集：服部広子

湘南・茅ヶ崎といえば、サザンオールスターズを思い浮かべる方が多いのではないだろうか。ボーカルの桑田佳祐さんの出身地として知られ、『勝手にシンドバッド』や『HOTEL PACIFIC』などのヒット曲に茅ヶ崎の地名や名所が登場する。

今回ご紹介するのは、そんな茅ヶ崎でサザンに匹敵するほど⁉ 地元の人々に親しまれる水泳教室だ。

創業は1967年。現在の「株式会社林水泳教室」の前身となるクラブは、会長の林正則さんの母親が、海沿いの街で生活する地域の子供たちに泳ぎを教えるために作られた。

茅ヶ崎で生まれ育った僕自身、幼少のころに水泳を習い、その30年後、僕の子供たちも教室の生徒になった。

そして現在は、親子共々同社のスポーツクラブで汗を流し、僕の両親はクラブ内の整骨院にしばしばお世話になっている。すなわち、親の世代から子や孫へ、と林水泳教室は茅ヶ崎の人々の健康を支えているのだ。

この日は、教室に通う子供たちやその家族が参加するサトイモ掘り体験。畑は、農業の担い手の不足が原因で耕作放棄地となった農地で、同社の社員たちが土を耕し、苗を植え、作物を育てている。

最初は慣れない手つきで土をいじっていた子供たちも、ゴロゴロと掘り起こされた芋を手にして大はしゃぎ。「ムカデがいる！」「カエルを捕まえた！」と、歓喜

PROFILE
竹下雄真
1979年、神奈川県茅ヶ崎市出身。会員制パーソナルトレーニングジム「デポルターレクラブ」代表。トップアスリートをはじめ多くの著名人の肉体改造に携わり、ウェルネス以上、メディカル未満の領域で、クライアントの進化に日々努める。著書に『ビジネスアスリートが実践する最強のリカバリー術』（光文社）ほか多数。

→目次に戻る

の声が飛び交う。

また、子供と久しぶりの土いじりを楽しむ親たちの中には、僕と同じように、少年少女時代、林水泳教室に通った人たちも少なくない。

サトイモや大根など収穫された野菜は、水泳教室や関連施設で販売するほか、近隣の飲食店などに卸している。

「茅ヶ崎の魅力は、何よりも海と山の両方の自然に恵まれているところ。空気が澄んでいる日は、遠くに富士山も見えます。弊社は、十数年ほど前から農業を通して食の分野にも力を入れてきました。今回のような行事を通して、子供たちの食育や健康づくりに繋げていきたいと思います。このあたりはもともと土が肥えているので、いい野菜が採れるんですよ」

と、同社のサステナブル担当の小林岳人さん。地域に根付く企業として、地元の農文化を守り、次世代に繋がる食と健康をサポートする。

この全てが循環している〝ウェルネス・エコシステム〟は今後、地域の活性化とウェルネス分野の発展にとって素晴らしいモデルになるだろう。

機内で Let's Try!

健康習慣を5%上げよう habit 5%

1日1分エクササイズ スクワット

今回ご紹介するのは1日1分のエクササイズで効果が出るスクワット。胸の前で手を組み、足を肩幅に開いたら、重心をかかとに預けます。ゆっくりと膝の曲げ伸ばしを繰り返すときは、姿勢を保ったまま太ももが床と平行になるように心がけましょう。QRコードからWEBサイトにアクセスするとトレーナーの解説動画にリンクできます。

Deportare Trip
vol. 5
旅で潤う

〝絶景〟桜島と蒸気サウナでホルモンバランスを整える

案内人 **笹野美紀恵**

写真：福田ヨシツグ　取材・文：笹野美紀恵　編集：服部広子

鹿児島のシンボルとして知られる桜島。今も噴煙を上げ続ける活火山を見ながら湯浴み(ゆあ)を楽しむ。それが今回の旅の一番のお目当てでした。訪れたのは、鹿児島市の中心部にあり、標高108メートルの高台・城山に建つ「SHIROYAMA HOTEL kagoshima」。地下1千メートルから湧き出る天然温泉に入りながら、錦江湾に浮かんだ桜島と市街地を一望できる展望露天温泉が人気のホテルです。

静岡県に生まれ、富士山を見ながら育った私にとって、初めて見る桜島は色鮮やかではないものの、その力強く、雄大な姿に圧倒されました。火山灰を見たのもこれが人生初！

「展望露天温泉 さつま乃湯」の泉質は、炭酸水素塩泉。温泉成分が肌の汚れを落としやすくするため、つるつるのお肌になります。程よくとろみのある水は良質で、とても清らか。

スチームサウナは、室内に充満した蒸気によって、全身が〝蒸される〟感

じを味わえます。サウナは本来、ただ熱ければいいわけではなく、蒸されるというのがとても重要です。湿度によって発汗がスムーズになりますし、肌が熱から保護されて皮膚が痛くなるのを防ぎます。

体の芯からじんわりと温まり、下半身もポカポカ。特に女性は、冷え性改善やホルモンバランスを整える効果が期待できます。デトックスを促しながら体調も整える、まさに、美容と健康に最適なサウナです。

「低温スチームサウナの蒸気は、地下203メートルから汲み上げた天然水を使用。室内が42～44度の低温に保たれているため、長時間の全身温泉浴をお楽しみいただけます。県内では、指宿や霧島などの温泉地が人気ですが、鹿児島市でも良質な温泉をご堪能いただけると思います」

と、マーケティング部の森山理香さん。日の出や夕暮れどきの桜島も昼の景色に劣らず美しいと言います。

かつて薩摩藩の城があり、西郷隆盛が亡くなる直前に過ごした洞窟も残る城山。鹿児島の歴史を見守り続けてきた美しい自然と出会えたことに感謝したいと思います。

SHIROYAMA HOTEL kagoshima

2023年3月に開業60周年を迎える鹿児島屈指の高級ホテル。全355室の多彩な客室と、自社で運営する11店舗の和洋中のレストランがお客様をお出迎え。
tel. 0570-07-4680
鹿児島県鹿児島市新照院町41番1号
https://www.shiroyama-g.co.jp

展望露天温泉の詳しい情報は web［翼の王国］から→

PROFILE

笹野美紀恵（SAUNAGE）

「ONEBLOW」代表。実家は、サウナの聖地「サウナしきじ」（静岡県）。飲食店、サウナ、温浴施設などのプロデュース・PRを手がける。SAUNAGEとは、SAUNA+AGE（アージュ、仏語で時代の意）を組み合わせた造語でサウナ時代の幕開けを象徴。心と体をリトリートするサウナの新しい入り方を伝える。

おべんとうの時間

第191回

熊本県阿蘇郡小国町

「杖立（つえたて）温泉」配管工・男芸者

芦塚勲（あしづかいさお）さん

写真：阿部了

文：阿部直美

白ご飯に海苔を巻いたおむすびが一番好きなんやけど、今日は弁当になっちょるから、たまがった（驚いた）。おっかさん（妻）が病院に入っちょるき、今は娘の家で夕飯を食べてます。私を思って、「おむすび作ってあげよっか」ちてから持たせてくれる日もあるんで、そん時は広場や仕事場で食べます。普段の昼は、町に一軒ある食堂に行くことが多いかな。「食べに来ない」ちゅうて誘ってくれる近所の人もおるんですよ。

　私は荒尾の出です。叔母さまがこの杖立で呉服屋をしていてね、中学3年の夏休みに遊びに来て、すっかり気に入って。夏なのに涼しいし温泉はあるし、夕方になると着物の芸者さんたちがスッス、スッス歩く姿がかっこええ。太鼓や三味線で大賑わいで、天国のようやなあと思いました。

　商業学校を出て呉服屋で働き始めたんやけど、数年後に店が潰れたんです。叔父さまが博打が好きやったもんで。それで自分で洋裁店を開きました。縫い子さんを雇ってね、旅館で働くお姐さんたちの服専門です。ただ既製品の服が多なって商いが成り立たんちゅうことで、ホルモン焼きの店に替えたんです。その頃は、両親も杖立に出てきてて、親父は配管工をやってました。「勲、水道を覚えとったらどこでも食べていかれるぞ」って言われてね、店はおっかさんに任せて親父から一通りの仕事を教わりました。

　トイレの浄化槽を作ったり水道の仕事もしよったけど、杖立の場合、配管ちゅうたら温泉です。もくもく蒸気が出よる所が泉源。16カ所くらいあって、100℃のお湯がバンバン噴き上げちょる。そっからパイプで、各旅館にお湯を引いてるんです。杖立温泉の配管は、すべて頭に入ってますよ。温泉には塩分があるもんじゃから、塩が固まってパイプが腐れるんです。腐れた箇所をサンダー（電動工具）で切ってパイプを取り換えるんじゃけど、それこそ合羽を着て用心してやらんと。まともに蒸気を浴びたら、吹き飛ばされるのよ。泉源のような恐ろしい場所は、生きちょる間は経験のある私がやります。ただ、杖立における配管工は83歳の私ひとり。「後釜を見つけてくれんじゃろか」って周りには言うちょるけど、難しいねえ。

　46歳の時、大やけどしたんです。噴き上げたお湯を被って2カ月半の入院。長いこと仕事ができなくて、思いついたのが踊りです。ずんずん、ずんずん芸者さんたちがおらないようになったでしょう。

「何かしなくちゃ杖立がだめになるばい」って、皆で話し合うたんです

→目次に戻る

「何かしなくちゃ杖立がだめになるばい」って、地元の皆で話し合うたんもその頃です。太鼓やら三味線やら、杖立には芸達者なもんが揃っちょるから、「皆で男芸者として杖立を賑わさしてもらおう」ちゅうことになった。ところが、台風で杖立に大水が出ていろいろ流される中で、そん話も流れてしまいよったんです。

結局、私ひとりで男芸者をやってきました。踊りが好きやったんです。先生に習うたこともあります。芝居の経験もあったから、よかったんじゃろうね。杖立では、毎年5月末の温泉祭に、男性が着物を着てお化粧して芝居をやるんです。私は26歳の時から、女形です。花道で泣きながら台詞を言う場面では、うちのをガンで亡くしたことを思い出すと、自然に泣けてきてね。娘は7歳、息子は4歳でおっかさんと別れたの。「あの星が、お母さんかな」なんて言ってたのを思い出しながら、子どもと別れて嘆く女役をやりました。それで、私についたあだ名は「泣きの勲」。私ね、最初の嫁さんを亡くして40歳で今のおっかさんと再婚したんです。

男芸者として、宴会の席に呼んでもらえるようになったのは50代になってからですかね。最初は、旅館のお客様が到着した時に、「すんません。今晩私の踊りを見てやってください」ちてから、自分で声をかけました。今思えば、厚かましかったなあ。

昼間は石を運びセメントを捏ね、ダダダッと地面を掘って汗びっしょり働いても、夕方風呂に入るでしょう。そこで気持ちを切り替えてね、鏡の前で鉢巻をぐっと締めると人間が変わるのよ。芸者の「阿蘇竜太郎」になる。カセットテープで音楽を流して踊るんです。氷川きよしの『番場の忠太郎』。やくざ者の忠太郎が母を捜しに行く『瞼の母』ちゅう話があるでしょう。刀を振って決めのポーズを取った後なんかに、お客様がおひねりをすーっと着物の胸元に入れてくれるんです。うちのおっかさんは、踊りを終えて着物を脱いだ時にばらーっとおひねりが落ちてくるのを楽しみにしちょった。それを私は、こそーっと家のあちこちに隠しちょったけど、うちのは全部見つけてしまいよる。

ある日、友達が家に集まってマージャンをしよったんです。ひとりが、壁にかかっとる時計がちいと曲がっちょるのが好かんかった。「どうもいかん」ちてから、時計を触ったら、裏に隠しちょったお金がばさーっと落ちてきた。皆、大笑いです。参っちゃった。年に一度の消防団の旅行のために、こづかい銭に思うてずっと貯めよったんです。おっかさんは、大喜びですよ。

踊りをしとったら、仕事で呼ばれたこともあるんです。「パイプが破れたからすぐ来てくれ」ちゅう電話が来て。炊事場やったから、蒸気がわんわん出て止め道もわからんちゅうき、「すんません、修理してきます」ゆうて阿蘇竜太郎のままパイプを担いで行きました。修理が終わって「すんません、お待たせしました」ちゅうてね、また続きを踊りよったです。

ANAのあたらしいショッピングサイト　ANA Mall

最大“1,500”マイルが貯まるキャンペーン実施中！

ANA Mallオープン日：2023年1月31日(火)　※2022年12月22日時点の情報です。予告なく変更となる場合があります。

→目次に戻る

新施設「海のテラス」開業で

「歴史」「自然」に「グルメ」「お土産」も加わり

進化した桂浜公園は高知の〝外せない〟新名所

坂本龍馬像で有名な、南国土佐の歴史ある観光名所、桂浜公園。月の名所としても知られ、自然を感じながらゆったりとした時間を過ごせるこの場所に昨年、「桂浜 海のテラス」がオープン。広々とした屋根付きの休憩所を囲むように、木を基調としたおしゃれな店舗が軒を連ね、高知の食材を使った料理や土産が豊富に揃うスポットだ。お馴染みの「桂浜水族館」や「龍馬記念館」を巡り、こちらで土佐の美味や買い物を堪能するという、桂浜の新しい楽しみ方が誕生した。高知龍馬空港から車で30分ほどの好アクセス。旅の最初に、また締めに立ち寄るのもいいだろう。

高知を堪能できるグルメやギフトが集結
海のテラス

飲食店のある「潮の棟」「風の棟」、土産物店のある「光の棟」「月の棟」や観光インフォメーションなどが。

「桂浜美食館 神」では土佐の名物料理を。(左)店内で藁焼きしたカツオをさらにテーブルでミニ藁焼きができる「かつおの藁焼き厚切りタタキ」¥1,850。(上)「かつおラーメン」¥880はチャーシューの代わりにカツオチャーシューと高知産あおのりがのったもの。

「マンテンノホシ」では県内四万十川源流域の津野町のほうじ茶をつかったスイーツを。(右)ほうじ茶ソフトに大福がのった「満天の星 大福ソフト」¥660、この店舗のみの龍馬シルエットの木製スプーン付き。(左)店内にはほうじ茶の販売も。

新顔フードがいただけるのは「Sea breeze Cafe Bellmare」。海も望めるカウンターサービスの明るい店内。(上)県内大川村で育った地鶏のパテに玉ねぎがたっぷり入ったソースが味のアクセントの「はちきん地鶏バーガー」¥880。(下)店内でひとつずつ焼き揚げている「たまごカツサンド」¥880。

「SOUVENIR SHOP BOOTS」には地酒や菓子、調味料など700種類ほどの土産物が。(上)地酒メーカー・司牡丹とコラボした限定ラベルの日本酒「はりま家限定ラベル 龍馬からの伝言」¥1,650。(下)新商品の「パティスリーフロマージュ(5本入り)」¥810はオリジナルの土産品。

全国一の人気!
桂浜水族館

約220種4000点の生きものを飼育している「桂浜水族館」。(上)目玉はウミガメのエサやり。トングを使ってエサをあげられる。(下)日本三大怪魚のひとつ「アカメ」。水族館で群泳が見られるのはここだけ。飼育員が合図すると正面を向くという特技を持っている。

「坂本龍馬」の息吹を感じる記念館や銅像も

桂浜公園の高台に位置する「高知県立 坂本龍馬記念館」。龍馬の生涯や直筆の書簡をわかりやすく紹介している。(上)龍馬のふるさとに立つ「龍馬の殿堂」の博物館。(下)桂浜に凛と佇む龍馬像は、この公園のシンボル。

桂浜公園
高知県高知市浦戸6
TEL088-841-4140(管理事務所)
※営業時間は施設により異なります

「早く皆さんを日本に帰さないと、という気持ちでした」

「翼の流儀」はweb「翼の王国」でもお楽しみいただけます

武漢からチャーター便で日本人828人が帰国。緊急プロジェクトの舞台裏

2020年1月28日——。「武漢から日本人が帰国」というニュース速報が流れた。新型コロナウイルスの感染が広がる中国・武漢から帰国のチャーター便を運航したのはANA。まだ感染症の正体も判然としないなか、中国、日本の最前線で任務にあたった二人が当時を回想する。

「都市封鎖はもちろん、そこから救援チャーター便を飛ばすなんてことも初めての経験ですから。不安はありましたが、無我夢中だったというのが正直なところでした」

初冬を迎えた羽田空港第2ターミナル駐機場。出発を待ち整然と並んだ飛行機が、小春日和の柔らかな陽を受けキラキラと輝いていた。そんな、穏やかな窓の外の光景に目を細めていたスーツ姿の男性は、改めてこちらに向き直ると、こう言葉に力を込めたのだ。

20年1月～2月。日本政府の要請を受けたANAは、新型コロナウイルスの感染が世界で最初に広がった中国・武漢から、邦人救出のためのチャーター便を5便運航。日本人とその家族ら、計828人の帰国を支援した。現地で搭乗を指揮したのが当時、武漢支店空港所長だった鶴川昌宏（現・ANA成田エアポートサービス オペレーションマネジメント部長）だ。

「一刻も早く、皆さんを日本に帰してあげたい、その一心でした」

いっぽう、同じ羽田空港第2ターミナルのサテライト。国内線の搭乗を待つ人たちが行き交うロビーを見回しながら、その女性は静かな笑みを浮かべていた。

「私は普段、国際線の担当なので。ここに足を踏み入れるのは、あの日以来のことなんです」

こう口を開いたのは、ANAエアポートサービス 旅客サービス部業務推進課マネジャー・竹野真美。竹野は20年1月、武漢からのチャーター便を受け入れる準備に追われた一人だ。彼女の今いるサテライトは、チャーター便で帰国した人たちを迎え入れるための、急ごしらえの国際線ターミナルとして活用された場所だ。

「関係各省庁の方々と、まさに今いるこの場所でブリーフィングを行い、あの47番搭乗口の前に入管手続きのデスクを置いて、その後ろ、48番のところが税関で……。でも、この穏やかな景色が、このサテライトの本当の姿なんですよね。この姿が、この先もずっと続くことを願っています」

まだ、感染症の正体も判然としないなか敢行された、前例なき緊急プロジェクト。双方の空港で、最前線に立った二人に話を聞いた。

突然の都市封鎖

「最初はその前年、19年の12月初旬でした。医療関係者の夫を持つ現地採用の中国人スタッフが『なんだか妙な病気が流行り始めているようです』と教えてくれて。でも、そのときは、さして気に留めることもなかった。まさか、その後にあんな事態が巻き起こるなんて、想像すらできませんでした」

ことの始まりを、鶴川はこう述懐した。やがて、市中でも「謎の肺炎が流行している」と囁かれ始め、年が明けると中国当局も「新型肺炎の感染者が見つかった」と発表。だが、この時点での感染者はまだごくわずかで「人から人への感染はない」と、当局からの発信もミニマムな表現に終始されていた。しかし、事態は一変する。1月23日、朝5時。宿舎で目覚め、枕元のスマートフォンに目をやった鶴川は、思わず驚きの声をあげた。

「な、なんだ、これは⁉」

画面に映し出されていたのは「封城」の2文字だった。

「私は前年の4月に着任したばかりで、中国語はあまりできなかったのですが、その単語のものものしさだけは理解できました。慌てて現地のスタッフたちに連絡をとると『今日、午前10時から街が封鎖される』『出勤できません』と。大変なことになったと思いました」

その当日も、武漢発成田行きの便があった。

「9時30分発なので、その便だけはなんとしても出さなければいけ

89年、成田空港の地上支援を担う「新東京空港事業（現・ANA成田エアポートサービス）」に入社。武漢は初の海外勤務だった

「現地の中国人スタッフのなかには、家族の反対を押し切って、チャーター便運行に駆けつけてくれた者もいて。本当にありがたかった」（鶴川）

ない、そう考えました。ご搭乗を予定しているお客様がいますから」

街が封鎖されてしまえば、市内の交通機関もすべて止まる。その便を定刻に送り出せたとしても、鶴川はもちろん、ほかのスタッフたちも帰宅が困難になるのは明らかだった。だから、複数のスタッフが「出勤できない」と話したのだ。鶴川はギリギリまで彼らを説き伏せ、出発に必要な人員を揃えた。

努力の甲斐あって、成田行きの便は封鎖目前に無事出発した。

夕方、ひと気のなくなった空港ロビーを見回っていると、すぐに軍服姿の男性に呼び止められた。IDを見せたものの「すぐに帰宅しろ！」と厳に命じられたという。

「いつもお願いしていた運転手さんが機転をきかせ、ある意味、危険を冒して駐車場で待っていてくれたおかげで、なんとか帰宅できました。でも、普段は渋滞が絶えない道路を、このとき行き交う車はゼロ。唖然としました」

多くの日系企業が進出している武漢。封鎖が実施された時点で、武漢のある湖北省には数百人の在留邦人がいた。そして、自宅待機を余儀なくされていた鶴川らのもとに、現地日系企業を束ねる商工会などから、内々に連絡が入る。

「なんとか、帰国便を飛ばしてくれないだろうか」

同じころ、同様の打診が外務省からＡＮＡにも。こうして、国家的プロジェクトの担い手としての白羽の矢が立った。北京から急きょ、武漢入りした日本大使館の職員とともに、鶴川は慌ただしく準備に取り掛かった。

航空会社の「使命」

「あれが何日のことだったのか、はっきり覚えていないんですが。武漢に向けて弊社がチャーター便を出すという一報を受けて、社内が一気に騒がしくなり、一丸となったのは、覚えています」

竹野は少し誇らしそうに振り返った。武漢行きの第1便が出る前日の27日の朝。羽田空港にあるオフィスに出勤すると「チャーター便の準備で今日の終業は遅くなる」と知らされた。

「具体的には27日深夜に、現地に運び込む大量のマスクや手袋などの支援物資の積み込み作業をしたり。あとは、武漢の空港の人手が足りていないということで、第1便に乗る予定のお客様全員の搭乗券を、羽田で発券したりしました」

当初、チャーター便は28日早朝に羽田を発つ予定だった。飛行時間は4〜5時間。昼に武漢に着いた飛行機に帰国者を乗せ、夜には羽田に戻ってくる段取りだ。

「ところが、28日未明になって『第1便は予定通り出発できない』と連絡があって。真夜中、寒いなかで積み込み作業をしていたスタッフら全員で落胆したものでした」

竹野がこう振り返った場面。武漢の鶴川はＡＮＡ同様、現地に就航している別の海外航空会社の職員から、こんな言葉を聞いていた。

「市民をここまで閉じ込めている当局が昼日中、外国人を大挙して移動、帰国させるとは考えにくい」

その予想は的中。チャーター便の発着は深夜に限定されることに。

「第1便の飛行機が武漢に到着したのは28日の23時過ぎ。ロビーには、２００人ほどの日本人と、同じく米国向けチャーター便に乗る米国人で、かなり人が多かった。でも、中国当局は感染拡大を恐れたのか、検疫、イミグレーションとも、わずかに一人ずつしか人員を配してくれなくて。お客様の出国の手続きには、ものすごい時間を要しました」

→目次に戻る

A New Ambitious Story
翼の流儀
第5回

さらに、感染防止を理由にロビーは空調が切られていた。

「外は氷点下、ターミナル内もせいぜい5度ほど。毛布を皆さんにお配りして寒さを凌いでいただきました。印象的だったのは、そんな状況にもかかわらず、イライラした態度をとるお客様が一人としていなかったこと。皆さん、緊張した面持ちで、粛々と順番を待っていました」

チャーター便はこの第1便から第3便まで、3日連続で飛んだ。

「すべてが非日常の日々でした。でも、あの経験から、多くの人のサポートがあって、初めて飛行機は飛ぶんだなと、改めて実感しました」（竹野）

その3日間、鶴川の睡眠時間はトータルでわずか3時間ほどだった。

「空港でお客様を送り出すのはもちろんですが、現地の検疫や税関の人たちとの調整も大変で。でも人間、眠らなくてもなんとかなるもんですね。それだけ、気持ちも張り詰めていたのかもしれません」

見ているのが辛くなるようなシーンも、目の当たりにした。

「お客様は搭乗前に体温を測定、発熱が認められると中国の検疫官が搭乗を許可しなかった。なかには搭乗目前、ようやく帰国できるという矢先に、呼び戻された人も。項垂れ、トボトボと列を離れていく背中は本当に寂しそうでした」

同じ搭乗口周辺では、忘れ難い嬉しい体験もした。

「飛行機に乗り込むお客様からは、たくさんの温かい言葉をいただきました。なかには『あなたは帰らないのか?』と聞いてくださる方もいて。『まだ仕事がありますから』と答えると、たいそう驚かれて。そして、こう言ってくださったんです。『必ず元気で、生きて帰ってきてください』。それは、もう本当に……胸に迫るものがありましたね」

第1便の運航から18日後の2月15日深夜。最後のチャーター便が武漢空港を離陸。その機内には鶴川の姿もあった。

「嬉しいとか、ホッとしたという気持ちにはなれませんでした。湖北省出身者とはいえ、部下たちを残しての一時帰国でしたから。自分だけ帰ってしまって本当にいいのか……、心残りの帰国でした」

相変わらず睡眠不足の日は続いていた。しかし、気持ちは昂ったまま、まんじりともせず夜明けを迎えた頃、飛行機は日本の上空に差し掛かる。

「何げなく窓の外に目を向けると、すごく綺麗な富士山が見えたんです。何回も飛行機には乗ってますし、機上から富士山を眺めたことだって何度も……。でも、あのような気持ちが込み上げてきたことは、初めての体験でした」

朝陽に輝く富士山を見つめながら、鶴川はつぶやいていた。

「日本に、帰ってきたんだな」

チャーター便のプロジェクトを終えたのちも、竹野は同じ部署に在籍している。仕事の内容に変化はなくても「気持ちの部分では大きく変わった気がする」と話す。

「公共交通機関としての航空会社の使命というものを、改めて強く感じました。その後のコロナ禍で飛行機が飛ばなくなって、不安を抱えた後輩にも『公共交通機関として社会に貢献している』ことを伝え、励ましてきたつもりです」

いっぽう、同年9月に武漢に戻った鶴川は翌21年春に異動に。現在は成田空港で働いている。

「よく聞かれるんです。『大変な経験をしたわけだが、また海外勤務に行きたいのか?』と。即答ですよ、『はい!』と。それほど、得難い経験をさせてもらえた、自分を成長させてもらったと、そう自負しているんです」

鶴川、そして、竹野。二人の和やかな笑顔に、使命を果たした者の矜持が、垣間見えた気がした。

手仕事を訪ねて

～手考足思（しゅこうそくし）の旅～

第四回

【手考足思】大正から昭和にかけて活躍した陶芸作家・河井寛次郎の言葉で、「手を動かして考え、自分の足で歩きながら思いをめぐらせる」の意。本連載では、そんな「手考足思」を体現する各地の手仕事の現在地を、それに携わる職人の人生を通して描いていく。

取材・文：加藤ジャンプ
撮影：石渡 朋

柳行李を編んでいる。コリヤナギの束を敷いた上に板を置き、その上に乗って作業する。

兵庫県豊岡市出石
豊岡杞柳細工・柳行李

Izushi, Toyooka City, Hyogo Prefecture
Toyooka Kiryu Craft, Yanagi-Gori

（上）年代物の行李鞄と現代のバスケットなど。（中）編み上げた生地を型にはめて乾燥させて形作る。（下）麻糸は水に浸けておく。作業中に切れるのを防ぐためだ。

しゃがみこんで板の上に乗っている。前屈みになって手を動かす。全身をつかった作業で、相当にきつそう。だが、一見、何をやっているのか、よくわからない。

天井のパイプから麻糸が垂れている。これを引っ張りながら、硬い藁のような材料をさばく。やおら手元を覗き込んでハッとする。細かく緻密に編みあげられているのだ。

これが兵庫県豊岡市に伝わる、豊岡杞柳細工だ。かつてどの家にもあった、柳行李などの木工品をつくっている。代表的な材料はコリヤナギという植物だ。

コリヤナギは元来朝鮮半島に自生していて、大昔に日本に伝わった。素材の歴史が古いだけに、コリヤナギをつかった手仕事は、1200年も前からつづいている。されど、これを受け継いでつづけているのは、今ではたった一人しかいない。豊岡市出石にある『たくみ工芸』の寺内卓己さんだ。

豊岡市は「豊岡鞄」と呼ばれる鞄産業で全国に知られている。その鞄作りのルーツが、寺内さんの杞柳細工である。『たくみ工芸』がある出石は、伊丹空港から車なら2時間ほどでアクセスできる。但馬の小京都と呼ばれていて、美しい家並みが大切に残された風光明媚なところだ。街には明治時代に建てられ、一度は閉館したものの40年以上経って市民の声で復活した、永楽館という芝居小屋もある。この街が、文化を大切にしていることの証左かもしれない。

そんな出石の中心部に『たくみ工芸』はある。訪れて驚いた。玄関を入ったら、いきなり作業場なのだ。そこで寺内さんは、作務衣姿で仕事をしている。来客にもすぐ気付き明るい笑顔とバリトンの声で出迎えてくれる。この人がたった一人の杞柳細工の継承者なのか、と思うとちょっと厳かな気分になる。

ところが、寺内さん、実は名職人だった両親公認の「不器用さん」だったらしい。

「姉には『靴の紐もよう結べんかったのにねえ』なんてからかわれるわ、母からは『あんたみたいな不器用なのが柳行李を編むだなんてねえ』と

寺内卓己さん。豊岡杞柳細工を受け継いだ、たった一人の職人。

言われるわ。わからないもんですよね」

そんなことを言いつつ、寺内さんは体全体で作業をつづける。コリヤナギを一本ずつよりわけ、その間を水を含ませた麻糸を通して布状に編んでいく。コリヤナギは経糸で麻糸は緯糸にあたる。理屈は、布をつくる機織りと同じだが、素材が硬くて太いぶん重労働だ。ただ、こうして出来上がる柳行李には、他のものには代え難い魅力がある。

柳行李？　と、思う人もいるかもしれない。

明治から昭和初期を舞台にした映画などで見かける、コリヤナギを編み上げた、大きな蓋付きバスケットのような、箱型の入れ物のことだ。漱石の『坊っちゃん』が、そんな柳行李に革のベルトや取っ手をつけたトランクを持っているイメージはないだろうか？　あれを行李鞄と呼ぶ。

最近ではあまり見かけない柳行李だが、実は、軽くて頑丈でカビ知らずの素晴らしい生活道具だ。その良さを知っている人は、寺内さんのところにちゃんと注文している。でも、ここでしか作っていないから、注文は一杯、待つことになる。それでも皆、お願いする。なにしろ柳行李はスケールが違って百年使えるのは当然だから、半年くらい待つなんて大した話ではないのだ。一方、柳行李は大きいし値段もそれなり……と躊躇する人は、たとえば小さな飯行李をもとめる。

——見た目は超小型の柳行李。編みあげの弁当箱だ。使い方は自由。ラップで包んだオムスビを入れてもいい。でも真骨頂は直にご飯をつめることだろう。余分な水分は飛び、冷えていてもすっきりと旨い。型はしっかりしているのに柔らかさがあるから、手で持って食べるのも気分がいい。食事は舌だけでなく、弁当箱の手触りだって大事なのだ——

「小さいのから大きいのまで毎日同時にいろいろ作ってるんですよ。ほっとするのは晩酌のとき」

寺内さんは笑うが、作業は毎日朝6時半くらいから始めている。それでも時間は足りない。

職人が一人になってしまえば材料をつくる農家もいなくなる。寺内さんは30年ほど前からコリヤナギの栽培まで自前で行うようになった。もちろん農業の経験はなかったから、一から学んで始めた。

今では毎年十二月に収穫。それから干したり皮むきや乾燥など作業は果てしない。編む段になっても、作るものにあわせて太さなどを選別して水に浸けるなど作業は多い。実に忙しい。

いま、数名のお弟子さんがいる。素材作りはもちろん、この仕事で食べていくことの大変さも伝えている。

「つづけてくれるといいんだけどなあ」

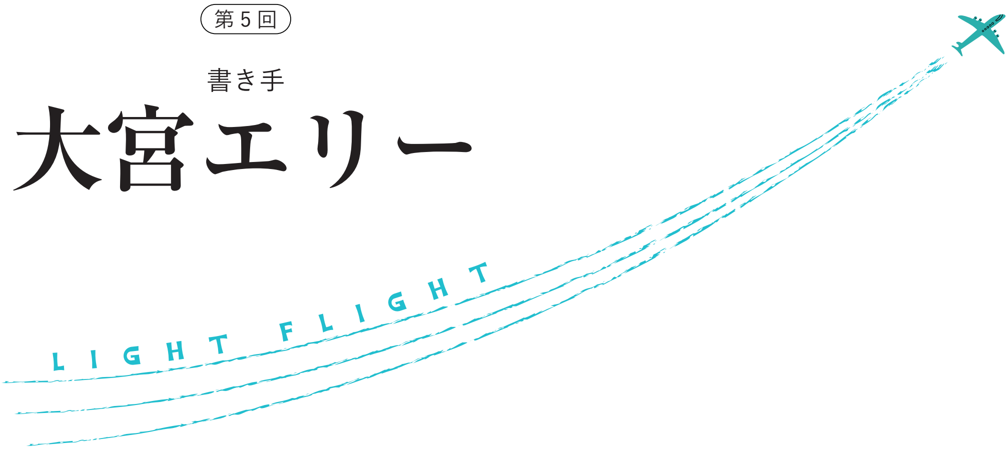
畑に案内してもらって刈り取りを間近にひかえた、勢い良く伸びたコリヤナギを眺めていたら、大丈夫、という気がした。1200年の歴史は、たぶん、そう簡単には途絶えない。

寺内さんが弟子たちと育てている材料のコリヤナギ。年末に刈り取る。

ライト、フライト

第５回

書き手
大宮エリー



鳥取にご縁がある

鳥取にご縁がある。まずは米子。こんな依頼がきた。

「エリーさんの絵って明るいじゃない？　鳥大附属病院っていう国立病院の院長先生が、ロビーに壁画を描いてほしいんだって。とりあえず鳥取行ける？」

そう、少し圧が強めの知人に言われて、は、はい、行きます！　と米子へ飛んだ。

院長室に緊張して入ると、ドラマみたいに黒い革張りの椅子に院長先生が座ってらっしゃる。

「ロビーがね、少し暗いんです。だから明るい絵を描いてほしくて」

「はい。どんな絵がいいかご意見をいただきたく、画集を持参いたしました」

いくつか私が描いてきたもの、直近のロンドンでの個展の冊子などをお渡しする。

「いいねぇ、これもいいねぇ、気持ちが晴れるじゃない？」

先生がページをめくってらっしゃるあいだ、一応、私もモチーフのキーワードが欲しくて言った。

「やはり、鳥取ということでしたら、鳥取の富士山ともいえる、大山とか、もしくは砂丘ですとか。そういうのがいいですよね？」

すると院長が画集を見る手を止めて、顔をあげ、怪訝な顔で私を見た。

「え？　なんで？」

「え……だって……」

困る私。院長は続けて言う。

「なんで大山とか砂丘なの？」

何かやってしまったのかなと思い、私が困惑していると、先生は続けた。

「こういう絵がいいの。これ、どこ？」

先生がふたたび視線を落とした絵は、海外で描いた、プールと椰子の木と海の絵だった。

「それは、スリランカのリゾートホテルの絵です」

「え？　どこ？」

「スリランカ」

「いいじゃない！　スリランカ！　それにしよう！」

私は少しのけぞった。だって病院で、そんな陽気な、椰子の木が風に揺れてて、海と一体化した、マリンブルーのインフィニティプールの絵である。いいの？　と。すると先生は言った。

「あのね、患者さんはさ、痛みを抱

えてるの。だからさ、ここどこ!? ってびっくりさせたいの。わあ、どこぉ!? って、痛みを忘れるような絵がいいの」

胸にいきなりグッときた。先生の思いがビシビシきた。先生は遠い目をして言った。

「あとさぁ、コロナ禍もあって大変でさぁ。うちの看護師さんも、先生方もみんな疲れてて。だからこのプールのリゾートの絵を見たらさ、わあって、疲れがふっとぶと思うんだよねぇ」

院長の予感は的中した。

絵は制作に7日を要したけれど、初日、エメラルドグリーンの水辺から描き始めると看護師さんが15人ぐらい集まってきた。みな各部署の師長さんで、お忙しい方々だ。口々に言う。

「わあ、いいねぇ、いいねぇ」

「癒されるぅ」

「きれぃいい」

「ここどこぉ?」

スリランカと答えると、

「行けないけど、ここがリゾートみたいだねぇ!」

「ビール飲みたくなるぅ」

医療の最前線で日々、患者さんと向き合っている彼女たちが、わいわい盛り上がってくれたのが嬉しかった。

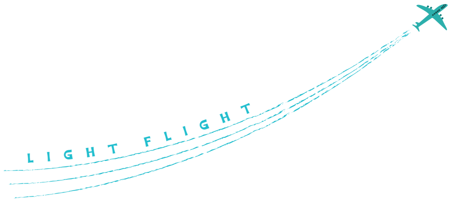
正直、ロビーで描いていると、点滴を持って歩いている方や車椅子の方、入院が決まった方に検査の方と、たくさんの人が行き交う。そこで椰子の木ゆらゆらの絵を描いているのって不謹慎じゃないの? と、心配ではあったのだ。

病院は朝9時から混み合う。17時までずっとこの病院は忙しい。なので毎朝6時に来て、人がいない時間帯に集中する。スイッチを入れて没入してしまえば、患者さんたちや先生方に話しかけられても、描き続けることができるからだ。とはいえ、アトリエで集中して描くのとは違ってなかなか気が散るし、みな何か不具合を抱えてこられているわけだから、背負うものが多い現場でもある。いつも絵を描くときは楽しい絵を、楽しいエネルギーを入れようとしているのだけれど、なかなか気持ちをあげていくのが難しくもある。

「これ、いつできるの?」

振り返ると、点滴をぶらさげた患

者さんだった。
「あと5日くらいはかかりますかね」
「そう、楽しみにしてるよ。なんか明るい気持ちになるね。毎日見にくるね」
　17時くらいになると患者さんがいなくなる。そこからまた集中して21時までやって、米子の皆生（かいけ）温泉に戻って足腰、手をあたためてほぐす。そんな日々を続けていた。
　その日も、17時からまた集中して描いていて、コーヒーを飲みすぎたのかトイレに行きたくなって現場を離れた。そして戻ってきたら、一人の男性が、パジャマ姿で絵の前に立っていた。じっと海の絵を見ている。
　その後ろ姿にグッときた。そう、17時以降は、入院患者さんの時間なのだ。彼らが病院内を散歩したりしている。絵をじっと見てらっしゃるのでしばらくそっとしておいたが、続きを描かなくてはいけないので私も絵の前に立った。すると男性が、私に言った。
「風を感じるね」
「え?」
「病院はさ、風がないんだよ。でもさ、この絵見てると、風を感じるよ。気持ちいいなぁ」
　泣きそうになった。たしかに、病院での作業は大変だ。患者さんに、できていく過程を見せたいという院長の意向で、公開制作を引き受けた。でも正直しんどかった。ところが、この言葉に救われたのであった。
　最終日前日、ほぼ絵は仕上がっていて、あとサンライズ、日の出を描くところだけ残っていた。いや、残していたのである。
　それは、とある知り合いの奥様が、パーキンソン病になってこの病院に入院されていて、でも絵ができていくところに立ち会いたいというのを事前に聞いていたからだ。日の出を描くのを見せて励ませたらと思った。そんな簡単じゃないとは思ったけど、いっしょに日の出を描けたらなと思ったのである。
　当日、彼女が車椅子を押されて登場したとき、息をのんだ。予想以上に病が進行していて、彼女はもう、目しか動かなくなっていたからだ。看護師さんたちも心配そうである。
「実は、部屋から出るの初めてなんです。だからあまり長くは」と、看護師さんに耳打ちされた。黙って頷く。
　会話は、車椅子から飛び出た手すりに固定されたパソコンに、彼女が目で文字を入力するのだ。
『はじめまして。これはどこ？　椰子の木が気持ちいいですね』
　とパソコンに文字が出る。私はそれに応じて声をかける。
「スリランカです」
　また彼女は文字を入力する。
『行ったことないわぁ、いいですねぇ』
　さあ、時間がない。私はひざまずいて言った。
「これからあのプールの奥の海から、お日様が出てくるのを描きます。そのビームも描きます。いっしょに描きましょう。どうかあなたの愛のパワーを送ってください！」
『OK』
　わたしは目しか動かない車椅子の彼女のひたむきなまなざしを背中に感じながら、鮮やかなピンク色の光を、四方八方に走らせた。どんどん描いた。どんどん海の上が明るくなってくる。どんどんどんどん強く光を描いた。



PROFILE
Ellie Omiya
作家、画家。舞台やドラマ、エッセイなど幅広い分野で活動する。瀬戸内国際芸術祭 2022 で立体作品「フラワーフェアリーダンサーズ」「光と内省のフラワーベンチ」を発表。クリエイティブの学校「エリー学園」「こどもエリー学園」も主宰。

手加減はしなかった。時間がかかって申し訳ないとは思ったが、気持ちを一つにして描いた。
どのくらいかかっただろう。なにせその壁画は幅7メートルなのだから。
「できた」
振り返ると、彼女は微笑(ほほえ)んでいるように見えた。何か言いたそうにしている?
看護師さんにまたパソコンを顔に向けてもらうと、彼女が目で文字を入力した。
『希望の光を、ありがとう』
そこにはそう書いてあった。
彼女のことばを声に出して読んだのだけれど、最後のほうは声にならなかった。彼女が私に背中を向けて去っていくまで、私は涙を堪(こら)えた。
最終日、絵の中の草原の部分に彼女のような花を描いた。すずらん。花言葉は、「ふたたび幸せが訪れる」。病室にお花を届けられなかったけれど、絵にお花を描いて、私は鳥取を発(た)った。

イラスト：ソレイユ・イグナチオ
編集：山下美咲

Artist's Pass

創造の目的地

新しい時代を創り始めたアーティストたちがいる。
彼らの軌跡をキュレーター米原康正氏が探ります。

ナビゲート **米原康正**

第5回

画家

北島麻里子

彼女は画家であり二人の子どもの母親でもある。時々その二人はモデルとして彼女の作品にも登場するが、その作品の多くは彼女自身を描いた肖像画だ。

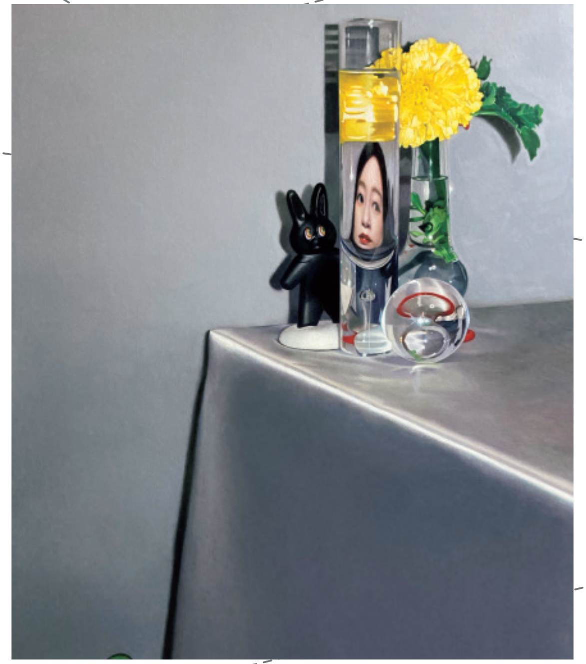
肖像画ってどこが？ と思われる方もいると思う。けれど、彼女の作品をじっと見つめてほしい。透明なガラスでできた花瓶の後ろ側や、その脚の中に彼女は確かに存在する。ひっそりとたたずむ黒兎（くろうさぎ）もまた彼女自身を映し出したキャラクターだ。

そんな絵を描くことは「自分自身を確認するための日常的な行動」と彼女から聞いて、僕は彼女の作品をずっと眺め続けている。他人を知ることはまた自分自身を知ることでもあるからだ。

Mariko Kitajima
1987年埼玉県生まれ。2014年東京造形大学造形学部美術科絵画専攻卒業。2023年1月には帝国ホテルプラザ東京内 MEDEL GALLERY SHU にて北島麻里子個展を開催。今後の活動はSNSにて発信中。

Yasumasa Yonehara
熊本県生まれ。『egg』『smart girls』を創刊したガールズカルチャーの第一人者。キュレーターとしては若手を中心にアーティストの発掘を精力的に行い数々の個展やグループ展などを開催している。

→目次に戻る



●今一番行きたい場所は？

フランスへ行きたいです。高校生の時に家族旅行でフランスへ行き、美しい街と美術品の多さに感動した覚えがあります。大人になった今、その時とはまた違う目線で見られるのではないかと思っています。

作品情報
右ページ「Scene」130.3 × 162cm キャンバス、油彩 2022
左上「ピオニー」72 × 61cm キャンバス、油彩 2021 ／右上「Acorn hut」80.3 × 60.6cm キャンバス、油彩 2022 ／右下「どこかにいるどこにでもいる私」91.5 × 65cm キャンバス、油彩 2021 ／左下「Marigold」91 × 72.7cm キャンバス、油彩 2022

●創作の出発点は？

幼い頃、母が絵本を読んでくれたり、よく絵を描いていました。私にとって絵は**身近な存在**でした。

●影響を受けた場所は？

フランスへ旅行した時、**シャルトル大聖堂のステンドグラス**を観ました。その時の美しさは今でも忘れられません。

●創作の目的地は？

私の作品を観てくれた人が**その人の中にある自分**とは何かを考えるきっかけになったら嬉しいです。

取材・文：米原康正　編集：藤沢緑彩

ANA Inspiration of JAPAN

珠玉の逸品から選べる ANAのふるさと納税

あなたの想いに感謝を込めて。吟味された逸品を
選りすぐりました。さらにマイルも貯まるから、
応援するあの街への旅も楽しめます。
人と地域を、心と空でむすぶ、
ANAのふるさと納税です。

＼早めの寄付がおトク!／
今なら抽選で
豪華プレゼントが当たる
キャンペーン実施中!

クレジットカードで
簡単に寄附できます。

寄附金額100円につき
1マイルが貯まります。

ANAオリジナル
返礼品もご用意。

ANAのふるさと納税
マイルが貯まる

郵便飛行

Yubinhiko

数年越しの孫とふたり旅

城宝 毅

孫と一緒に飛行機に乗って旅行すると以前から約束していました。しかしここ数年は約束を果たすことはできませんでした。

先日、孫と一緒に大好きな飛行機での旅行を果たすことができました。1泊2日の短い旅行でしたが大好きな飛行機を、お腹いっぱい見ることも叶いました。

私にとっても、孫とのふたり旅は思い出深いものとなりました。搭乗時に孫は初めて搭乗する旨をCAさんに話したところ、降機時に手書きのメッセージカードをくださいました。ありがとうございました。

うれしい旅のハプニング

黒田 倫太郎

「乗り継ぎ便に間に合わないな……」。念願だったタイ・チェンマイのコムローイ祭りへの参加、バンコクのパワースポットめぐり、そして出会いにも恵まれた久しぶりの海外一人旅。あとは帰国するだけというところで予定便が遅延。バンコクから福岡経由で羽田空港へ向かうフライトでしたが、羽田行の便に乗り継げず……。全日空のカウンターで相談に乗っていただき、無事搭乗便を変更。おかげで福岡プチ観光！ 太宰府天満宮への参拝が叶い、家族用に明太子や梅ヶ枝餅など福岡みやげも購入。うれしいハプニングとなりました。

一人娘と初めての空の旅

山﨑 希実子

お盆明けの8月22日、岩国錦帯橋空港から単身赴任中の主人のいる沖縄へ。3歳の娘は、飛行機が初めてで何日も前から乗るのを楽しみにしていました。

私も、今までと違う娘と一緒のフライトは楽しみでした。天候に恵まれ眺めのよい席に座りとてもいい気持ちでした。何よりもうれしかったのがCAさんのサービスです。途中おもちゃまで頂いたうえ何度もお声がけがありました。

約2時間の空の旅ですが、私と娘にとっても楽しい思い出になりました。次は家族3人で、新たな楽しみを見つけにANAに乗りたいと思っています。

お便り募集

郵便飛行では、皆様の旅の思い出をお待ちしています。原稿は250字程度、スナップ写真を添えて電子メールかお手紙でお寄せください。お名前、ご住所、電話番号の明記もお忘れなく。採用させていただいた方には、Amazonギフト券3,000円分をお贈りします。

※原稿、写真の返却はできかねます。掲載者の発表につきましては本誌での発表をもってかえさせていただきます。ご了承ください。 ※主催:ANA X『翼の王国』編集部 ※Amazon はAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

宛先

電子メール
ml_prj_tsubasayubinhiko@ana.co.jp
（件名に「郵便飛行お便り募集係」と明記してください）

お手紙
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1
ANA X『翼の王国』編集部

→目次に戻る

2 February

今月のANAカレンダー

ANAオフィシャルカレンダー
「Welcome Aboard」2023年版の旅先を、
ANAの社員ナビゲーターがご紹介します。

2月の
ロケーション

エルニド
［フィリピン］

El Nido, Philippines

{ 2月の
ANA社員ナビゲーター }

Abbie Chow

ANA マニラ支店
Abbie Chow

- **所属部署**……………ANA マニラ支店
- **出身**……………………カビテ（フィリピン）
- **趣味**…………食べたことのないものにトライする / 旅 / おもちゃ集め
- **一番好きな観光地**……………セブ島（フィリピン）

エルニド
（フィリピンのパラワン島にある町）
El Nido (Palawan Island/Philippines)

私はこれまで食べたことのないものやレストランにトライすることが大好きなので、旅先ではその地のグルメをとにかく楽しみます。美しい自然や風景も堪能しますが、旅のメインはいつも「食べ物」です！

おすすめ観光スポット

セブのカモテス島にあるブキラット洞窟とビーチエリア

ビーチ、山、街のどれが好きなかたにも、セブをおすすめします。毎年、セブを訪れるたびに新しい発見があります。

おすすめグルメ

マヒマヒのグリル 焼きホタテとキニラウ

新鮮なシーフードは外れなし。ビーチサイドで楽しむのが一番です！私のお気に入りは、ホタテやエビを焼いたり蒸したりしたもの、それと、キニラウです。キニラウは、セビーチェや魚介類のマリネに似たフィリピンの料理です。

カレンダー特設ウェブサイトへはQRコードから！

謎解き de 世界一周 解答ページ

まだ問題を解いていない人は、p.8、9 を先にご覧ください。

1問目 答え 大地のヘソ

解説 ウルルが完成するように写真を並べていくと、完成したウルルの中に「大地ノヘソ」という言葉が浮かび上がる。正解は「大地のヘソ」だ。

豆知識

オーストラリア大陸のほぼ中心に位置するウルルは、「世界の中心」という意味合いで「大地のヘソ」と呼ばれることもあるよ。「ウルル」という名前はオーストラリアの先住民の言葉。彼らから、ウルルは神聖な場所とみなされているんだって。ちなみに「世界一大きい一枚岩」として説明されることもあるウルルだけれど、実は大きさでいえば２番目。一番大きいのはオーストラリアの西側にある「マウント・オーガスタス」だよ。

2問目 答え オレンジ

解説 問題文の指示のとおり、大きく書かれた順に文字を読んでいくと「ホシノマウエ」という言葉が現れるよね。次はその星の真上の文字を順に読んでいこう。問題文の中の文字を左から順に拾っていくと、現れる言葉は「オレンジ」。正解はオレンジだ。

豆知識

シドニー・オペラハウスのデザインは、コンペティションで選ばれたデンマークの建築家、ヨーン・ウツソンのものが採用されたんだ。けれど初期の案は技術的に不可能であることがわかって、工事が止まってしまった。そんなときウツソンがオレンジの皮を剥（む）いた形から思いついた構造が、「これなら作れる」と採用されたんだ。いまやオーストラリアのシンボルになったオペラハウスは、世界遺産にも登録されているよ。

ANAトラベラーズ／海外旅行

2023年4月以降出発のツアー、発売開始！

ANAトラベラーズでは、2023年4月以降出発の海外ツアーを発売開始いたします。知識と経験が豊かな添乗員が同行する「添乗員同行ツアー」はもちろん、「個人型周遊ツアー」もエリアを拡大し、安心安全なツアーをご案内いたします。

■設定期間：
2023年4月から10月出発分

発売日はエリアによって異なりますので、発売情報よりご確認ください。

詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

ツアー紹介

発売情報

INFO 02

ANAトラベラーズ／国内旅行

秋田さ、け！ANAの秋田特集

ANA SKY WEBでは、『秋田さ、け！ ANAの「秋田特集」』サイトで一年中楽しめる秋田各エリアのおすすめスポット・グルメをご紹介！　大館能代空港のキャッシュバックキャンペーンをはじめ、おトクなキャンペーン情報もございます。また、同じく秋田の魅力満載の「け。秋田犬のふるさと」サイトでは、CAがおすすめするエリア情報も発信中！　ぜひ秋田へのご旅行をお考えの際は、ANA SKY WEBをご覧ください。この機会にぜひ、秋田で日本の冬を満喫してみませんか？

大館能代空港「空の旅」キャッシュバックキャンペーン！　第2弾 実施中！

対象期間内に大館能代空港を利用した方を対象に、搭乗後に1回の往復利用につき最大10,000円（片道利用は5,000円）をキャッシュバックします。

■期間：2022年8月22日(月)～2023年2月28日(火)

（事業主体：大館能代空港利用促進協議会）

詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

INFO 03

ANAトラベラーズ／国内旅行

うっとり鳥取ANA 特産品が当たるキャンペーン実施中！

キャンペーン対象搭乗期間中に、ANA東京（羽田）＝鳥取線、東京（羽田）＝米子線に対象運賃でご搭乗いただき、かつキャンペーンに参加登録された日本地区在住のANAマイレージクラブ会員の方の中から抽選で、鳥取の特産品をプレゼントいたします。この機会にぜひ、ANA鳥取線、米子線をご利用ください。

■対象搭乗期間：
2022年11月1日（火）～2023年2月28日（火）

■対象となるお客様：キャンペーン対象搭乗期間中にANA東京（羽田）＝鳥取線、東京（羽田）＝米子線のANA便を対象運賃でご搭乗された日本地区在住のANAマイレージクラブ会員で、キャンペーン参加登録をいただいたお客様

■キャンペーン賞品：
抽選で合計100名様に鳥取の特産品をプレゼント
A賞 鳥取ブランド和牛「オレイン55」400g（25名様）
B賞 鳥取大山ルビー豚ロースセット（25名様）
C賞 星取県セット（20名様）
D賞 鳥取県特産品詰め合わせ（20名様）
E賞 ジェラート10個セット（10名様）

▶ 詳しくはキャンペーンページをご覧ください。

INFO 04

ANAトラベラーズ／国内旅行

ANA誘遊四国キャンペーン実施中！

ANAでは、ANA四国発着便を往復利用する対象旅行商品をお申し込みの方を対象に「誘遊四国キャンペーン」を実施しています。飛行機を降りた後も、JR四国全線フリーきっぷやお得なレンタカープラン、小豆島のタクシー周遊プラン、観光施設や飲食店などで利用できるクーポンアプリ「しこくるり旅ぱす」で四国をおトクにお楽しみいただけます。

TOURISM SHIKOKU
しあわせぐるり。しこくるり。
四国ツーリズム創造機構

■期間：
2022年10月1日（土）～2023年3月31日（金）

▶ 詳しくはキャンペーンページをご覧ください。

ANAトラベラーズ／国内旅行

世界遺産・厳島神社と呉、竹原、尾道、鞆の浦を巡り、夕映えの瀬戸内の多島美を望む2泊3日（航空券なし現地参加プラン）

ホテル清風館ロビーから望む瀬戸内の景色（イメージ）

たけはら町並み保存地区（イメージ）

宮島/穴子飯（昼食イメージ）

広島を代表する観光地「宮島・厳島神社」「たけはら町並み保存地区」「尾道」などを現地添乗員がご案内します。また、牡蠣、穴子飯、海自カレーなどご当地グルメも堪能。ホテルは瀬戸内を一望する温泉宿にご宿泊いただきます。

■出発日：2023年2月15日（水）、2月23日（木）、3月4日（土）、3月16日（木）、3月22日（水）

※最少催行人員8名（1設定日あたり）、参加資格6歳以上。
詳しくは、ANAウェブサイトをご覧ください

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

INFO 06

ANA Mall／キャンペーン

ANA Mallオープニングキャンペーン実施中！

ANAグループが運営するインターネットショッピングモール「ANA Mall（エイエヌエー モール）」が新たにオープン！ 期間中、キャンペーンに参加登録のうえ、ANA Mallに新規利用登録をしていただくと、もれなく100マイルをプレゼント。さらに、購入条件達成で最大1,500マイルが貯まるチャンスです！ この機会にぜひ、ANA Mallをご利用ください。

※2022年12月7日（水）時点の情報です。予告なく変更になる場合があります。
※ANA MallはANAカードマイルプラス対象サービスです。
※ANA Mallの利用登録には、ANAマイレージクラブへの登録が必要になります。

■キャンペーン期間：
2023年1月31日（火）15:00～2023年2月28日（火）14:59まで
■参加登録期間：
2023年1月31日（火）15:00～2023年2月28日（火）14:59まで

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

INFO 07

サービス

冬のお出かけを楽しく！ ANA Pocketアプリでマイルを貯めよう

ANA Pocketは、毎日の通勤や通学、旅行からちょっとした外出まで、すべての移動でポイントが貯まる、楽しくておトクな無料のアプリ。冬は寒さでお家に篭りがちですが、スマホと一緒に移動すればポイントも貯まって運動不足も解消できます！　貯まったポイントをANAマイルに交換できる「ANA Pocket Pro」も展開中。まずはアプリをダウンロード！

新規ダウンロード特典 5,000ポイントプレゼントキャンペーン

対象期間中に「ANA Pocket」アプリをダウンロードすると、
もれなくアプリ内で使えるPocketポイントを5,000ポイントプレゼントします。

■**対象者：**ANA Pocketアプリをダウンロード後、
メールアドレスとパスワードのご登録および会員登録をされた方

詳しくは、キャンペーンサイトをご確認ください。

INFO 08

サービス

ANAグループの直営店舗 地域の魅力を旅するお店「TOCHI-DOCHI」

地域の魅力を旅するお店。
TOCHI-DOCHI

ANAグループは、日本各地の名産品を通じて地域の魅力に出会えるポップアップストア「TOCHI-DOCHI」を都内成城学園前で運営しています。期間ごとに特集エリアが替わり、その土地ならではの風土から生まれたおいしいもの、歴史や文化・ストーリーを感じるものなど、東京にいながら旅をしている気分になれる名品を揃えています。
2023年1月13日に、TOCHI-DOCHIが東京駅八重洲口に新規オープン！！
成城学園前店に続き、東京駅八重洲口から地下直結「YANMAR TOKYO」ビル2階に新店舗をオープンしました。
2023年3月まで鹿児島県北薩摩フェアを開催中！

※ANAカードまたはANA Payで決済されると5％割引となり、通常のマイルに加え200円(税込)につき1マイルが積算されます。

詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

サービス

SKiPサービスのご提供を終了いたします

国内線でご提供しているSKiPサービスは2023年3月31日をもって終了します。2023年4月1日以降は、オンラインチェックインをご利用ください。ご出発24時間前から20分前まで、お客様のモバイルデバイスにて搭乗手続きと搭乗券発行が可能です。またオンラインチェックインはANAアプリのご利用が便利です。最新のシートマップを簡単にご確認いただける他、ANA Wi-Fiサービスなど便利な機能もご利用いただけます。

ANA SMART TRAVEL

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

ニュース

ANAマイカー・バレーサービスがよりおトクにご利用いただきやすくなりました！

ANA My Car Valet Service

成田空港では、お客様のお車をお預かり・お届けするANAマイカー・バレーサービスをご用意しています。出発時は提携駐車場の屋根付き専用ガレージにてお車をお預かりし、駐車場から成田空港第1ターミナル南ウィングまでお客様を専用車でお送りいたします。帰国時、お車を提携駐車場から成田空港専用車寄せにお届けするまで、成田空港到着ロビー内のANA ARRIVAL LOUNGE（国際線到着ラウンジ）※でお待ちいただくことができます。2022年12月19日からはより多くのお客様にご利用いただけるよう、料金を値下げしました。成田空港からのご出発の際は、ANAマイカー・バレーサービスをぜひご利用ください。

■対象のお客様：
成田空港発着国際線のANAグループ運航便をANA便名にて往復でご購入済みのお客様

- ●スター アライアンス加盟航空会社運航便など、他社運航によるコードシェア便は対象外になります。
- ●一部対象とならない運賃がございます。
- ●他航空会社、旅行会社で申し込まれた場合、一部承れない場合がございます。

※ラウンジの営業時間は変更になる場合がございます。

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

ニュース

「ANA WonderFLY」人気商品のご紹介

「WonderFLY」とは、ANAがクラウドファンディングを通じて、様々な想いを抱いたチャレンジャーの挑戦をサポートする取り組みです。今回ご紹介する「futari passport（フタリパスポート）」は、大切なパートナーとの旅（人生）をもっと楽しく、もっと幸せにするパスポートケースです。2人分のパスポート、搭乗券、カード類、ペンなど、渡航に必要なアイテムを1つにまとめて収納できます。「futari passport（フタリパスポート）」を持って、ぜひ、大切な人と海外旅行へお出かけしてみてはいかがでしょうか。

※「futari passport」22,000円（税込み・発送料込み）、牛革素材、H220mm×W110mm（バンド箇所含まず）。

WonderFLY ANA Crowdfunding

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

ANAマイレージクラブ会員限定 ／ニュース

国内線特典航空券「今週のトクたびマイル」

■対象路線発表日時：
毎週火曜日12：00頃

■予約発券期間：
毎週水曜日0：00～
翌週火曜日23：59

■搭乗期間：
毎週木曜日から1週間

「今週のトクたびマイル」は、通常よりも少ないマイルでANA国内線特典航空券をご利用いただけるおトクなサービスです。週替わりで発表になる対象路線の中からお好きな旅先を選び、片道3,000マイルからご利用が可能です。ご搭乗日前日までご予約いただけます。

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

ふるさと納税／ニュース

「ANAのふるさと納税」返礼品特集「肉」

毎月テーマごとに返礼品をご紹介している、「ANAのふるさと納税」の返礼品特集。ただ今、返礼品として高い人気を誇る「肉」の返礼品を、通常より掲載数を増やした「拡大版」の特集にてご紹介中です。すき焼き、しゃぶしゃぶ、ステーキ、焼肉、ハンバーグなど味わい方はさまざま！「ANAのふるさと納税」経由で寄付していただくと、寄付金額100円につき1マイルが貯まります。全国各地からお届けするふるさとの逸品を、ぜひこの機会にご堪能ください。

詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

A-style／ニュース

対象サイト：ANAショッピング A-style

「北海道 in グルメジャーニー Japan」！3倍マイルキャンペーン実施中！

ANAショッピング A-styleの「北海道 in グルメジャーニー Japan」では、美しい霜降りにとろけるような肉質が特徴の知床牛をはじめ、かにやいくらなどの海の幸、酪農が盛んな北海道ならではのスイーツと、魅力ある商品を多数取り揃えております。また、今なら3倍マイルキャンペーンを実施中！　ぜひこの機会に北海道の大自然で育まれたグルメとお酒をお楽しみください。

3倍マイルキャンペーン

■**期間：**2023年1月26日(木)10:00～2023年4月2日(日)23:59

詳しくはキャンペーンページをご覧ください。

ANAショッピング A-style
北海道 in グルメジャーニー Japan

INFO 15

サービス

新商品！　異文化コミュニケーション研修発売開始 マインドシフトを図ってさらなる価値創出を目指そう！

持続可能な社会の実現を目指すESG経営課題の一つであるDEIを推進するためには、多様性を尊重し、融合することで、価値創造をかなえる必要があります。そのために、一緒に仕事をするスタッフ同士が互いの文化を理解し、コミュニケーションを取ることが不可欠です。ANAビジネスソリューションではグローバルスタッフと働くビジネスパーソン向けの「異文化コミュニケーション研修」を販売開始しました。また、インバウンド需要が戻りつつある今、外国人応対に必要な心構えを理解し、言葉に頼らずおもてなしを身につける「インバウンド（訪日外国人）おもてなし研修」も好評発売中です。

▶ 詳しくはANAウェブサイトをご覧ください。

ANA GROUP INFORMATION

INFO 16

お客様のお声にこだわっています

日々の安全運航を支える整備部門を「ANA Blue Hangar Tour」にてご紹介いたします

「ANA Blue Hangar Tour」では、ANAグループの安全運航を支える整備部門をご紹介いたします。ツアーでは格納庫を見学でき、実物の飛行機を整備士が働く姿と共に間近でご覧いただけます。また、整備作業の模擬体験ができる施設もご用意しております。普段は目にすることができない航空機整備の現場をぜひ間近からご体験ください。皆様のご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症等の影響により実施を見合わせる場合がございます。

【お客様の声】
飛行機に興味があります。
機体整備を見学したり、
整備作業を
体験してみたいです。

ご意見・ご要望デスク
0120-029-787
携帯電話をご利用の場合
0570-029-787（全国一律料金）
国際電話をご利用の場合など
☎ 03-6735-7922（有料）
受付時間 9:00 ～ 17:00（年中無休）

ANAのサービスについてのご意見・ご要望をお寄せください。

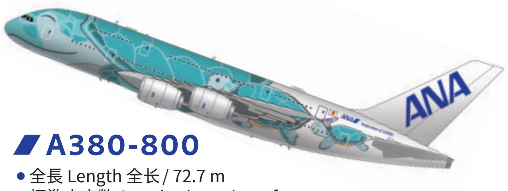
※機内にはご意見をご記入いただける用紙「お客様の声」を搭載しています。客室乗務員にお声をおかけください。

ご意見・ご要望

ANAグループ航空機のご案内

ANA 航空集团航班客机指南

ANA GROUP FLEET INFORMATION

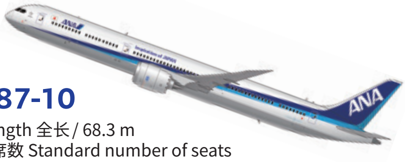


A380-800

- 全長 Length 全长 / 72.7 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 520

B777-300

- 全長 Length 全长 / 73.9 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 514 (-300 ER: 212; 250)

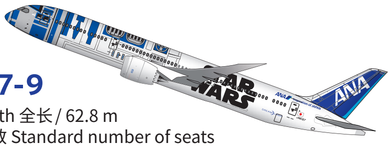


B787-10

- 全長 Length 全长 / 68.3 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 294

B777-200

- 全長 Length 全长 / 63.7 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 392; 405



B787-9

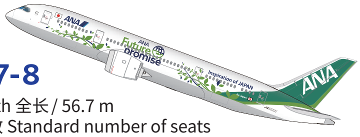
- 全長 Length 全长 / 62.8 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 /375; 395 (INT: 215; 246)

B777F / B767-300F･300BCF

- 貨物専用機 freighter 货运专机
- 全長 Length 全长 / 63.7 m (54.9m)

B767-300

- 全長 Length 全长 / 54.9 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 270 (INT: 202)



B787-8

- 全長 Length 全长 / 56.7 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 335 (INT: 169; 184; 240)

AIRBUS A321

- 全長 Length 全长 / 44.5 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 194

AIRBUS A320

- 全長 Length 全长 / 37.6 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / INT:146

B737-800

- 全長 Length 全长 / 39.5 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 166

BOMBARDIER DHC-8-400

- 全長 Length 全长 / 32.8 m
- 標準座席数 Standard number of seats 标准座位数 / 74

国内線 シートマップ　**国際線 シートマップ**

ANAの航空機とシートマップを機種別にご覧いただけます。

空港ガイド 国内線　**空港ガイド 国際線**

就航都市に関する空港情報や基本情報をご案内いたします。

目次に戻る

ANAグループ機内誌『翼の王国』アンケートご協力のお願い

ANAでは、今後のよりよい誌面づくりに向け、アンケートを実施しています。ご協力いただいた方の中から抽選でご当選された方に賞品をお送りします。QRコードよりアンケートフォームへお進みいただき、お答えください。10分ほどで完了する内容です。ぜひご協力をお願いします。

賞品

※画像はイメージです。

A賞　（5名様）

木春砥部焼アロマストーン（紅白椿）

椿をイメージした香りのアロマオイル（天然精油）と砥部焼のアロマストーン

B賞　（5名様）

福美水

日本古来の和漢植物"美肌薬草"を使用したコスメ

C賞　（1名様）

田野屋塩二郎×帆南 プレミアムセット

海と植物のミネラルをたっぷり含んだバスソルトと石鹸に貴重な田野屋塩二郎の完全天日塩を含めたセット

応募締切：毎月月末

詳しくは
アンケートフォームをご覧ください。

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
アンケートでは、お名前・ご住所・電話番号をお伺いします。
ご応募はひと月あたりお一人様１回限りでお願いします。

バックナンバーのお知らせ

ANAアプリで1年分を無料でダウンロード！

『翼の王国』『TSUBASA -GLOBAL WINGS-』のPDF版は、ANAアプリ上で過去1年分をバックナンバーとして閲覧できます。ダウンロードしてお楽しみください。

ANAアプリを
立ち上げる

翼の王国・新聞・
雑誌を開く

コンテンツを選択

ダウンロードして
コンテンツを
お楽しみください

紙版の購入も可能です

紙版（冊子）は、オンライン書店よりご購入いただけます。ANAマイレージが貯まる特典もご用意しています。ウェブサイトよりお買い求めください。

購入ページは
こちら

国内線機内販売はオンラインへ!

ANA STORE @SKY ご利用ガイド

※国内線機内・ANAラウンジ、一部国際線ANAラウンジ(羽田・成田・関西・ホノルル)からアクセス!

機内販売「ANA STORE@SKY」3つのメリット

＊1 お届けは日本国内のみとさせていただきます。
別途送料がかかります。
＊2 機内で設定を行った場合。降機2日後の23:59まで。

＼メリット／ 1 ANAでしか買えない限定商品*1がいっぱい!

＼メリット／ 2 降機後2日間*2お買い物が可能

＼メリット／ 3 マイルでのお支払いが可能

機内でのアクセス方法

使い方は簡単。ANA機内専用Wi-Fiへアクセスし、専用サイトを開くとお買い物が楽しめます。
事前にANAアプリのダウンロードがおすすめです。

＊ 離陸の約5分後から着陸の約5分前までご利用いただけます。＊ 搭乗前までにANA公式モバイルアプリをダウンロード済みの場合。

! アプリを立ち上げる前に機内Wi-Fiへ接続を

① 「機内モード」➡ オン　② 「Wi-Fi」➡ オン
③ ワイヤレスネットワークSSID「ANA-WiFi-Service」を選択。

STEP 1 ANAアプリを立ち上げ、サイドメニューを開く

Android　iOS

Androidの場合は左上の☰をタップ

iOSの場合は右下の…をタップ

STEP 2 「国内線機内Wi-Fi」をタップ

STEP 3 接続ボタンをタップ

STEP 4 ポータルサイトの「ANA STORE @SKY」をタップ

■ ブラウザからご利用の場合

「Wi-Fi(無線LAN)」をオンにし、ワイヤレスネットワークSSID「ANA-WiFi-Service」を選択し、接続。
ブラウザを開くと自動的にANA Wi-Fi Serviceポータルサイトが表示されます。

※表示されない場合には、URL欄にwww.ana-inflight-wifi.comを入力するか、右記二次元バーコードを読み込み、アクセスしてください。
二次元バーコードは、機内Wi-Fiに接続した状態でないとアクセスできません。

降機後2日間*2、地上でのお買い物を可能にするには…

! サイトトップページ上部にあるボタンから設定が必要です。

2+ DAYS 降機後のご利用設定はこちらから ›

販売商品の一部は『ANA SKY SHOPデジタルブック』でご紹介中!

最新情報はこちら▶

Check! ANA公式モバイルアプリ「ANA」の事前ダウンロードが便利です!

※ 販売数には限りがございますので、売り切れの際はご了承ください。販売状況・お届け時期については変更になる場合がございます。
※ 一部機材ではご利用いただけません。
※ 機内で繋がらなかった場合や、ご利用いただけない機材の場合は下記お客様サポートデスクまでお問い合わせください。お電話でのご注文は承っておりませんのでご了承ください。

お問い合わせ先(A-styleお客様サポートデスク):0120-257-150
受付時間:月〜金曜日 9:00〜18:00　土・日・祝日 9:00〜17:00 (年始1月1日〜1月3日 休)　※ 受付時間は、状況により変更する可能性がございます。

※ このサービスは無線LAN技術を使用しています。そのため公衆アクセスが可能な他の無線LANスポットの仕様と同様に、本サービスのアクセスには通信傍受や不正アクセスの可能性があります。本サービスの利用に際しては、お客様の責任において利用端末のファイアウォール、ウイルス対策ソフト等のセキュリティ対策を講じることを、強くお勧めします。
※ 画像はすべてイメージです。

国際線機内販売は パーソナルモニターから!

機内販売ご利用ガイド&商品ラインアップ

商品詳細について
Product details

商品の詳細については、パーソナルモニターまたは ANA アプリ内のデジタルブックをご覧ください。

Product details can be viewed on the personal monitor and the digital book available on the ANA app.

機内販売商品はパーソナルモニターからご注文
Order in-flight shopping items from the personal monitor

STEP 1

パーソナルモニターで「スカイショップ」または「ショッピング」をお選びください。

Please select "SKY SHOP" or "Shopping" on your personal monitor.

➡

STEP 2

パーソナルモニターのタッチパネルから、ご希望の商品をお選びいただき、決まりましたらご注文にお進みください。

Use the personal monitor touch panel to select your desired product(s). Once you are done, proceed to the order process.

➡

STEP 3

商品はCAがお座席までお持ちいたします*1。商品の代金をお支払いいただき*2、商品をお受け取りください。

A cabin attendant will bring the product(s) to your seat*1. Please pay for the product(s)*2 and collect them.

*1 お食事サービス中のご注文は、サービス終了後にお持ちいたします。
*1 Product(s) ordered during the meal service will be brought to you after the service.

*2 お支払いは、クレジットカード、ANAギフトカード/ANA旅行券、ANAご利用券/ANA「ダイヤモンドサービス」機内・空港お買い物クーポンのみご利用いただけます。
*2 Only the following payment forms are accepted: credit cards, ANA gift cards/ANA travel vouchers, and ANA value vouchers/ANA Diamond Service In-flight/Airport shopping coupons.

※ 一部の機材（A320機、A380機）ではパーソナルモニターからのご注文ができません。ご注文の際は客室乗務員にお声がけください。
※ Orders cannot be placed from the personal monitor on some aircraft (A320, A380). Please ask a cabin attendant to place an order.

価格横のマーク◆★について
About the ◆★symbols next to the price

◆課税済みのため、免税品としての申告対象外です。日本入国の際は課税済み商品とお申し出ください。

This product has already been taxed, so it is not subject to declaration as a duty-free item. Upon entering Japan, please treat it as a previously taxed product.

★100mLを超えるため乗り継ぎの場合、機内へ持ち込むことができません。

As this product exceeds 100 ml, it cannot be carried on board the aircraft when connecting to another flight.

No. SL000
ANA
オリジナル ストール
ANA ORIGINAL STOLE
¥00,000◆★

プリオーダーサービスについて
About the Pre-order Service

プリオーダーサービスでは、本誌掲載商品のほかにも多数の商品を取りそろえています。

The PRE-ORDER SERVICE offers items in this catalog and many more items.

※ ご注文は、ご搭乗の前月22日〜3日前（日本時間午後11時59分お申し込み完了分）まで。
※ Orders accepted from the 22nd day of the prior month until 3 days before date of departure (orders placed by 11:59 p.m. JST).

ANA　プリオーダー

www.ana.co.jp/ana-sky-shop/

ネクタイ — Neckties

No.SL501
ブルガリ
ダブル タイ
BVLGARI
DOUBLE TIE
¥28,500

No.SL505
ゼニア
ネクタイ パープル
ZEGNA
NECKTIE PURPLE
¥19,000

ショール & ストール — Shawls & Stoles

No.SL504
サルヴァトーレ フェラガモ
ショール
SALVATORE FERRAGAMO
SHAWL
¥29,000

No.SL001
ブルガリ
エクストリームロゴ ストール
BVLGARI EXTREME LOGO STOLE
¥64,600

No.SL502
エトロ
デリー ショール
ETRO
DHELY SHAWL
¥39,000

No.SL503
エトロ
カルカッタ ショール
ETRO
CALCUTTA SHAWL
¥27,000

バッグ & 革小物 — Bags & Leather accessories

No.SL002
ブルガリ
ブルガリ・ブルガリ
レディースウォレット
BVLGARI
BVLGARI BVLGARI LADIES' WALLET
¥67,500

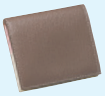
No.SL836
ゼニア
ベルト
ZEGNA BELT
¥28,900

No.SL807
アロン
レザー&エコフォックスファーバッグ
ARRON LEATHER & ECO FOX FUR BAG
¥22,000

No.SL832
トゥミ
ジャスト・イン・ケース・バックパック
TUMI JUST IN CASE® BACKPACK
¥12,000

No.SL819
ロンシャン
ル プリアージュ®
日本限定モデル
LONGCHAMP
LE PLIAGE® JAPAN LIMITED MODEL
¥23,000

No.SL818
ラルコバレーノ
ANAオリジナル
ミニウォレット
L'ARCOBALENO
ANA ORIGINAL MINI WALLET
¥25,000◆



No.SL817
ハンティング・ワールド
メンズ リバーシブルベルト
HUNTING WORLD
MEN'S REVERSIBLE BELT
¥14,000

No.SL820
ポーター
2WAY トートバッグ
PORTER 2WAY TOTE BAG
¥25,000◆

No.SL821
ポーター
パスポート ケース
PORTER PASSPORT CASE
¥15,000◆

No.SL824
レインスプーナー
ANAオリジナルトートバッグ
REYN SPOONER
ANA ORIGINAL TOTE BAG
¥12,000◆

No.SL833
トゥミ
ハリソン「グレゴリー」
スリング
TUMI HARRISON
GREGORY SLING
¥35,000

No.SL810
ベルロイ
トラベルウォレット
BELLROY TRAVEL WALLET
¥14,500

No.SL808
アッソブ
トラベルポーチ
AS2OV
TRAVEL POUCH
¥8,000◆

時計
Watches

No.SL101
コーチ
オードリー
COACH
AUDREY
¥30,300

No.SL102
セイコー 5スポーツ
ANAオリジナル
自動巻きウオッチ
SEIKO 5 SPORTS
ANA ORIGINAL
MECHANICAL WATCH
¥32,000◆

No.SL005
タグ・ホイヤー
フォーミュラ1 クォーツ
クロノグラフ 43mm
TAG Heuer
FORMULA 1 Quartz
Chronograph 43mm
¥128,000◆

アクセサリー
Accessories

No.SL202
サルヴァトーレ フェラガモ
ネックレス
SALVATORE FERRAGAMO
NECKLACE
¥22,000

No.SL203
サルヴァトーレ フェラガモ
ピアス
SALVATORE FERRAGAMO
PIERCED EARRINGS
¥16,000

No.SL204
ジョージ ジェンセン
ムーンライト
グレープ ペンダント
GEORG JENSEN
MOONLIGHT
GRAPES PENDANT
¥26,300

No.SL201
バカラ
クロワゼ ネックレス
SV ターコイズ
BACCARAT
CROISÉ NECKLACE
SV TURQUOISE
¥34,900

No.SL205
グロッセ
T.Flower ネックレス
GROSSÉ
T.FLOWER NECKLACE
¥18,000◆

No.SL206
ミキモト
パール ペンダント
（ローレル モチーフ）
MIKIMOTO
PEARL PENDANT
（LAUREL MOTIF）
¥29,000◆

No.SL207
オッコ真珠
南洋ゴールドパール
ダイヤモンド ペンダント
OKKO PEARL
SOUTH SEA GOLDEN PEARL
DIAMOND PENDANT
¥39,000◆

化粧品
Cosmetics

No.SL407
コスメデコルテ
イドラクラリティ
薬用 トリートメント
エッセンス ウォーター
【医薬部外品】
DECORTÉ
HYDRA CLARITY
TREATMENT
ESSENCE WATER
¥5,000◆★

No.SL408
コスメデコルテ
リポソーム
アドバンスト
リペアセラム
DECORTÉ
LIPOSOME ADVANCED
REPAIR SERUM TIME
RELEASED
MULTILAMELLAR
LIPOSOMES
¥18,000◆

No.SL405
クレ・ド・ポー ボーテ
ヴォワールコレクチュール n
CLÉ DE PEAU BEAUTÉ
CORRECTING CREAM VEIL
¥6,500◆

No.SL406
クレ・ド・ポー ボーテ
ル・セラム
CLÉ DE PEAU BEAUTÉ
THE SERUM
¥16,000◆

No.SL422
SHISEIDO
アルティミューン™
パワライジング
コンセントレート Ⅲ
SHISEIDO ULTIMUNE
POWER INFUSING
CONCENTRATE Ⅲ
¥17,600◆

No.SL424
ザ・ギンザ
ジャーニーキットⅡ
THE GINZA JOURNEY KIT Ⅱ
¥11,000◆

No.SL421
SENSAI
センサイ AS
マイクロ ムース
トリートメント s
SENSAI
SENSAI AS
MICRO MOUSSE
TREATMENT
¥18,000◆

No.SL401
バイオエフェクト
セラム
BIOEFFECT
EGF SERUM
¥15,000

No.SL413
ランコム
ジェニフィック
アドバンスト N
LANCÔME
ADVANCED GÉNIFIQUE
YOUTH ACTIVATING
CONCENTRATE
¥21,000

No.SL410
ジバンシイ
スキン PFCT
コンパクト クリーム
GIVENCHY SKIN PERFECTO
COMPACT CREAM SPF 15 PA+
¥7,400

No.SL425
スリー
バランシング クレンジング
オイルジェル
THREE
BALANCING CLEANSING
OIL GEL
¥3,800◆

No.SL420
アールエムケー
UVフェイスプロテクター
アドバンスド
RMK
UV FACE PROTECTOR
ADVANCED
¥3,500◆

No.SL423
スック
ザ クリーム ファンデーション
110 デュオ
SUQQU
THE CREAM FOUNDATION 110 DUO
¥18,000◆

No.SL402
ドクターシーラボ
VC100エッセンス
ローションEX
285mL
（ポンプタイプ）
DR.CI:LABO
VC100 ESSENCE
LOTION EX 285ml
¥7,000◆★

No.SL409
エリザベス アーデン
エイトアワー
リッププロテクタント
スティック トリオ
ELIZABETH ARDEN
EIGHT HOUR CREAM®
LIP PROTECTANT
STICK SPF 15 TRIO
¥3,900

No.SL411
ジルスチュアート
イルミネイティング セラム
プライマー セット
JILL STUART
ILLUMINATING SERUM PRIMER SET
¥5,400◆

No.SL412
カネボウ
スクラビング
マッド ウォッシュ
KANEBO
SCRUBBING
MUD WASH
¥2,500◆★

No.SL404
クラランス
リップコンフォートオイル
トリオ
CLARINS LIP COMFORT OIL TRIO
¥7,200

No.SL403
クラランス
フィックス メイクアップ
CLARINS
FIX MAKE-UP
¥3,300

No.SL415
ロクシタン
ベスト オブ プロヴァンス
ハンドクリーム コレクション
L'OCCITANE BEST OF PROVENCE
HAND CREAM COLLECTION
¥6,700

No.SL414
ロクシタン
イモーテル オーバーナイト
リセットセラム
L'OCCITANE
IMMORTELLE
OVERNIGHT
RESET OIL-IN-SERUM
¥9,900

No.SL417
メルヴィータ
ロルロゼ アクティベート
ボディオイル
MELVITA
L'OR ROSE SUPER-ACTIVATED
FIRMING OIL
¥4,100

No.SL416
ルナソル
スキンモデリングアイズ 01
LUNASOL
SKIN MODELING EYES 01
¥4,500◆

No.SL418
ポール & ジョー
モイスチュアライジング
ファンデーション
プライマー デュオ
PAUL & JOE
MOISTURIZING FOUNDATION
PRIMER DUO
¥5,900

No.SL419
ポール & ジョー
ハッピーメイクアップ
コレクション 009
PAUL & JOE
HAPPY MAKEUP
COLLECTION 009
¥6,300

雑貨 — Miscellaneous

No.SL004
モンブラン
M ローラーボール
MONTBLANC M ROLLERBALL
¥45,000

No.SL831
タイオン
ANAオリジナル リバーシブル インナーダウンジャケット
TAION ANA ORIGINAL REVERSIBLE INNER DOWN JACKET
¥7,000◆

No.SL811
ディアモロッコ
ANAオリジナル バブーシュ（ラベンダー）
DEAR MOROCCO ANA ORIGINAL BABOUCHE（LAVENDER）
¥5,000◆

No.SL826
テクタイト
ショットナビ
Voice Laser Red Leo
TECHTUIT SHOT NAVI
Voice Laser Red Leo
¥32,700◆

No.SL809
ベアフット ドリームズ
ソックス 2足セット
BAREFOOT DREAMS SOCKS 2PACK
¥5,800◆

No.SL814
フェイラー
ウィンターシーズン
シュニール織り タオルセット
FEILER CHENILLE FACE CLOTH SET WINTER SEASON
¥4,200

No.SL813
フェイラー
ANAオリジナル タオルセット
“Tokyo in the sky”
FEILER ANA ORIGINAL TOWEL SET
“Tokyo in the sky”
¥4,200

No.SL812
ファミリア
ANAオリジナルアート
トートバッグ
FAMILIAR
ANA ORIGINAL ART TOTE BAG
¥4,500◆

No.SL825
サンリオキャラクターズ
ANAオリジナル
サンリオキャラクターズセット
SANRIO CHARACTERS
ANA ORIGINAL
SANRIO CHARACTERS SET
¥3,500◆

No.SL829
シュタイフ
ANAオリジナル
テディベア フィン
STEIFF
ANA ORIGINAL
TEDDY BEAR FYNN
¥8,000

No.SL830
シュタイフ
ANAオリジナル
テディベアキーリング
STEIFF
ANA ORIGINAL TEDDY BEAR KEYRING
¥12,000

No.SL803
ANA
フライトベア in HAWAII
ANA FLIGHT BEAR IN HAWAII
¥3,500◆

No.SL801
ANA
AIRBUS A380 FLYING HONUモデル（１号機）
ANA
AIRBUS A380 FLYING HONU MODEL（UNIT 1）
¥4,500◆

No.SL802
ANA
AIRBUS A380 FLYING HONUモデル（2号機）
ANA
AIRBUS A380 FLYING HONU MODEL（UNIT 2）
¥4,500◆

No.SL003
ガーミン
ヴィヴォムーブ スタイル
ブラック ペッパー
ナイロン / スレート
GARMIN VIVOMOVE STYLE BLACK PEPPER NYLON / SLATE
¥42,000◆

No.SL827
ソニー
WF-1000XM4
Sony
WF-1000XM4
¥30,000◆

No.SL828
ソースネクスト
ポケトークS グローバル通信（2年付き）ホワイト
SOURCENEXT
POCKETALK S
WHITE WITH 2-YEAR GLOBAL COMMUNICATION
¥29,800◆

No.SL816
白鳳堂
ポータブル化粧筆セット
HAKUHODO
PORTABLE MAKEUP BRUSH SET
¥6,400◆

No.SL835
ヤーマン
メディリフト
YA-MAN Medi Lift
¥25,000◆

No.SL822
リファ
リファイオン
ケアブラシ
ReFa ReFa ION CARE BRUSH
¥5,500◆

No.SL823
リファ
リファビューテック
ストレートアイロン
ReFa
ReFa BEAUTECH STRAIGHT IRON
¥20,000◆

食品 — Foods

No.SL815
ジュゼッペ ジュスティ
バルサミコクリーム
ギフトセット
GIUSEPPE GIUSTI
BALSAMIC CREAM
GIFT SET
¥3,800◆★

No.SL834
ヴァローナ
コフレ・デギュスタシオン
VALRHONA DEGUSTATION 8 GRAND CRUS 32 MILK & DARK CHOCOLATE SQUARES GIFTBOX
¥3,300

酒 — Liquor

No.SL601
バランタイン 17年
BALLANTINE'S
17 YEARS OLD
¥8,800★

No.SL602
村尾酒造　村尾
（ANAオリジナルパッケージ）
MURAO-SHUZO
MURAO
（ANA ORIGINAL PACKAGE）
¥4,200◆★
11-12月 販売商品
November - December Sales item

No.SL603
サントリー
山崎蒸溜所貯蔵
焙煎樽熟成梅酒
SUNTORY
UMESHU PLUM LIQUEUR MATURED IN THE TOASTED CASK IN YAMAZAKI
¥3,000◆★

A380機 販売商品 — Sold on A380

No.914
ANA
AIRBUS A380 FLYING HONUモデル（3号機）
ANA
AIRBUS A380 FLYING HONU MODEL（UNIT 3）
¥4,500◆

No.H804
ANA
HONU ぬいぐるみ（ラニ）
ANA
HONU SOFT TOY（LANI）
¥3,000◆

No.H805
ANA
HONU ぬいぐるみ（カイ）
ANA
HONU SOFT TOY（KAI）
¥3,000◆

No.H806
ANA
HONU ぬいぐるみ（ラー）
ANA
HONU SOFT TOY（LA）
¥3,000◆

たばこ — TOBACCO

たばこの販売を免税価格にて行っております。
商品詳細に関しましては、パーソナルモニターからご確認ください。
※ A320機の一部の機材では、パーソナルモニターに商品掲載がございません。ご注文の際は、CA（客室乗務員）にお声がけください。

20歳未満の方の喫煙は法律で禁止されております。
20歳未満の方のたばこの購入は、お断りしております。
年齢確認をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。
Cigarettes are also available. Please check the product information on your personal monitor.
※ The items are not shown on the personal monitor of some A320 aircraft. Please ask a cabin attendant to place an order.

ご搭乗に際してのお願い

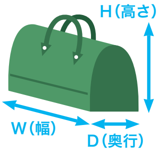
航空法に基づく保安検査の義務化について

凶器や危険物の航空機内への持ち込みは航空法により禁止されています。また、航空法改正に伴い2022年3月10日から、航空機搭乗前の保安検査の受検が義務化されます。 保安検査を受けずに保安検査場より先に進んだ場合、航空法違反となり、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が科せられる場合があります。ご搭乗の際は、保安検査員や関係職員の指示に従い、保安検査を受検いただきますよう、お願い申し上げます。

機内安全のため、持ち込み手荷物削減にご協力をお願いいたします

機内持ち込み手荷物について
(お1人様1個まで)

機内で安全かつ快適にお過ごしいただくために、機内へ持ち込めるお手荷物は、身の回り品（ハンドバッグ、カメラ、傘など）のほか、下記の条件のお手荷物1個となります。なお、下記のサイズ以内のお手荷物の場合でも、客室内に収納できない場合にはお預かりの手荷物として貨物室に搭載させていただく場合がございますので、ご了承ください。下記サイズを超えるお手荷物（キャリーバッグ、ベビーカー、麻袋など）はお預けください。



※3辺の合計には付属品（ハンドル・車輪など）を含みます。

お持ち込みお手荷物のサイズ

	3辺の合計	H（高さ）	W（幅）	D（奥行）	重量
ANA（下記を除く） エア・ドゥ、ソラシド エア(SNA)、スターフライヤー	115cm 以内	55cm	40cm	25cm	10kg まで
ANA（機種Q4A） IBEXエアラインズ、オリエンタルエアブリッジ	100cm 以内	45cm	35cm	20cm	10kg まで

機内でのお願い

安全かつ快適にお過ごしいただくため、お手荷物は座席上の共用収納棚、または前の座席の下に収納してください。通路・非常口付近など、非常時に脱出の妨げになる場所へお手荷物を放置することは、法令で禁止されています。前に座席のない席（スクリーン前・隔壁前）は、足元にお手荷物は置けません。お客様の安全のため、収納状況が適切でない場合には客室乗務員が声をかけさせていただきますので、指示に従ってください。

● ギターなど楽器類

機内持ち込みサイズを超える楽器（ギターなど）は、あらかじめお客様にて梱包のうえ、カウンターにてお預けください。機内に持ち込む場合には、別途料金が必要となる場合がございますので、ご予約の際にお問い合わせください。国内線では、ギター、小型楽器（90㎝以内）、コントラバス専用の輸送ケースもご用意しております。詳しくは、予約センターまでお問い合わせください（ただし、使用状況によりご用意できない場合もあります）。

● キャリーバッグにご注意ください

機内の収納スペースには限りがあるため規定サイズ内でも持ち込みできない場合があります。

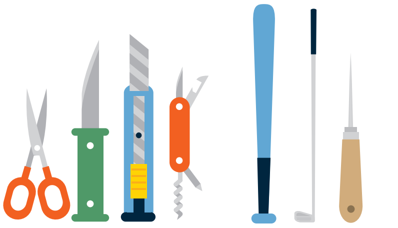
● ライターは1人1個まで

喫煙用のライターはお1人様1個に限り、持ち込みができます。オイルタンク式、葉巻用ライター、プリミキシングライター（ターボライター、ジェットライター、ブルーフレームライター等）、不測の作動防止機能のないリチウム電池で駆動するライターは持ち込みできません。ライターの置き忘れにご注意ください。

機内持ち込み制限品の取り扱いについて

ハサミ・ナイフ類、その他凶器となり得る物品をお持ちの場合は、手荷物カウンターでお預けいただくか、「放棄品箱」へ廃棄願います。保安検査強化にご理解とご協力をお願いいたします。また、引火性物質等の危険物は航空機内への持ち込み、およびお預かり手荷物としての取り扱いはできません。危険物を所持している場合は、出発保安検査場に設置されている「放棄品箱」に廃棄願います。

● 刃物類の機内への持ち込みは航空法違反となり、2年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられる場合があります。



ナイフ/ハサミ類　先の尖った物/バット類

※モデルガン等の凶器類似品等も機内持ち込み禁止です。

国土交通省：航空機搭乗前の保安検査を受けるにあたっての注意事項について

詳細

【国際線】TOPICS

機内持ち込み手荷物の制限

❶1容器あたり100mℓを超える液体物・ジェル・エアゾール類を機内にお持ち込みいただくことはできません。

❷1容器あたり100mℓ以下の液体物・ジェル・エアゾール類は個数にかかわらず機内持ち込み可能です。ただし、保安検査および搭乗の際に1ℓ以下の再封可能なジッパー付保存袋1枚に入れ、機内持ち込み手荷物とは別に検査を受ける必要があります。容器の大きさが100mℓを超えるものは、中身の液体の量が100mℓ以下でも持ち込みは不可となります。

❸保安検査後の免税店等で購入した液体類は機内持ち込みが可能です。ただし、海外で乗り継ぎをする場合には、没収などの可能性がありますので、当該国のルールに従う必要があります。

※日本で乗り継ぎがある場合、機内で購入された免税品であっても上記❶❷のルールが適用となり100mℓ以上のものは没収となります。詳細はANA SKY WEBをご覧ください。

ライターの制限（海外空港発便）

中国（香港を除く）、インド、フィリピン、ミャンマーを出発する全便において、航空機へのマッチ・ライターの持ち込みは禁止されています。お預けになる手荷物の中に入れることも禁止されていますのでご注意ください。

お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

ANAおからだの不自由な方の相談デスク

ANAおからだの不自由な方の相談デスクでは、病気やけが・障がいによりおからだの不自由なお客様に、安心して快適な空の旅をお楽しみいただけますよう、航空機のご利用に関するご相談やご希望を伺っております。

以下のお客様は必ず事前にお知らせください。

- 機内で医療用酸素ボンベや酸素濃縮器（POC）を使用されるお客様（医師の搭乗許可・診断書が必要です）
- その他の医療機器を使用されるお客様
- ストレッチャー（簡易ベッド）を使用されるお客様
- 保育器を使用されるお客様
- その他機内で特別な医療行為を必要とされるお客様
- お手伝いが必要な方が10名以上いらっしゃる団体のお客様

TEL 0120-029-377
0570-029-377（全国一律料金）
☎03-6741-8900
※携帯電話からはフリーダイヤルをご利用いただけません。
FAX 0120-029-366（年中無休 9:00～17:00）

ANAでは、耳や言葉が不自由で電話ができないお客様へ、TV電話での手話やチャットなどを使い、リアルタイムでANAオペレーターとやりとりができる「ANA専用代理電話サービス」をご提供しております。 詳細

機内で安全かつ快適にお過ごしいただくために

ご搭乗の皆様にご協力いただく事項がございます。

Tips for a Safe and Comfortable Flight

We ask for your cooperation on the following matters.

Consejos para un Vuelo Seguro y Cómodo

Le pedimos su cooperación en lo siguiente.

深部静脈血栓症 / 肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防

To Reduce the Risk of Deep Vein Thrombosis / Pulmonary Embolism (So-called Economy-class Syndrome)

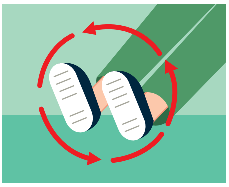
Para Reducir el Riesgo de Trombosis Venosa Profunda o Embolia Pulmonar (el denominado Síndrome de la Clase Económica)

長時間同じ姿勢で座っていると、足の静脈にうっ滞が起こり、血のかたまり（深部静脈血栓）が生じることがあります。この血のかたまりの一部が血流に乗り、肺に流れて肺の血管を閉塞してしまうと（肺塞栓）、胸痛や息切れが起こり、最悪の場合には死に至ることもあります。深部静脈血栓症を予防するために適度の水分を摂り、アルコールは飲みすぎず、足の運動をこまめに行いましょう。

Sitting cramped for long periods may interfere with blood flow, and consequently, a blood clot develops in the deep leg veins (Deep Vein Thrombosis; DVT). A blood clot may travel to the blood vessel of the lungs causing a blockage. This is called a pulmonary embolism, which cause a chest pain, difficulty of breathing and may be fatal. In order to prevent DVT, drink sufficient water, moderate your intake of alcohol, and stretch your legs frequently.

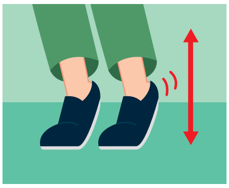
Sentarse en un espacio estrecho por largos periodos podría interferir con el flujo sanguíneo, ocasionando la formación de un coágulo sanguíneo en las venas profundas de las piernas (Trombosis Venosa Profunda; TVP). Un coágulo sanguíneo podría viajar hasta los vasos sanguíneos de los pulmones y causar una obstrucción. Esto se denomina embolia pulmonar, lo que causa dolor en el pecho y dificultad para respirar, pudiendo en algunos casos ser fatal. Con el fin de prevenir la TVP, tome suficiente agua, modere su consumo de alcohol, y estire las piernas con frecuencia.

1 足先を十分に伸ばしたり、曲げたりする。
Bend and flex your feet.
Doble y flexione sus pies.



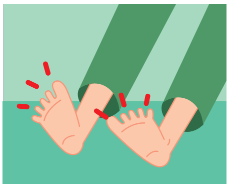
2 足全体をゆっくりと大きな円を描くように回す。
Move your feet in a slow circular motion.
Mueva sus pies lentamente describiendo un movimiento circular.

3 ふくらはぎ全体をこぶしでトントンと軽く叩く。
Use your fist to gently tap your calves.
Use su puño para golpear suavemente sus pantorrillas.



4 足を上下につま先立ちする。
Lift your ankles up and down, bending your feet at your toes.
Levante y baje sus tobillos, doblando sus pies a nivel de los dedos.

5 足の指でじゃんけんのグーをつくる。
Curl your toes.
Arquee sus dedos.



6 足の指でじゃんけんのパーをつくる。
Point your toes.
Extienda sus dedos.

幼児連れのお客様へ　For Passengers with Small Children

座席列の酸素マスクには個数制限があるため、複数の幼児は同じ座席列にご着席いただけません（座席を確保する場合を除く）。機内では座席の移動はお控えください。また、機内には飛行機特有の設備がございます。「ひじ掛け」や「収納式テーブル」などにお子様の指をはさまないようお気をつけください。

Due to the number of oxygen masks per seat row, more than one small child may not be seated in the same row (excluding seat reservation). Please refrain from changing your seats. Also, there is aircraft-specific equipment on board the plane. Please be careful not to let your children catch their fingers in places such as the armrest or retractable table.

ひじ掛け
Armrest

収納式テーブル
Table

座席ベルトの金具
Seatbelt Buckle

化粧室の扉・ゴミ箱のふた
Lavatory Door Trash Box Lid

その他のお願い　Other requests

他のお客様や業務中の社員に対する無断撮影行為は、周囲のお客様へのご迷惑となる場合がありますので、ご遠慮いただきますようご理解とご協力をお願いします。

ANA Group requests all passengers to refrain from photographing other passengers and staff on duty without their consent, as it may cause inconvenience to other passengers. Your understanding and cooperation are highly appreciated.

機内で安全かつ快適にお過ごしいただくために

ご搭乗の皆様にご協力いただく事項がございます。

Tips for a Safe and Comfortable Flight

We ask for your cooperation on the following matters.

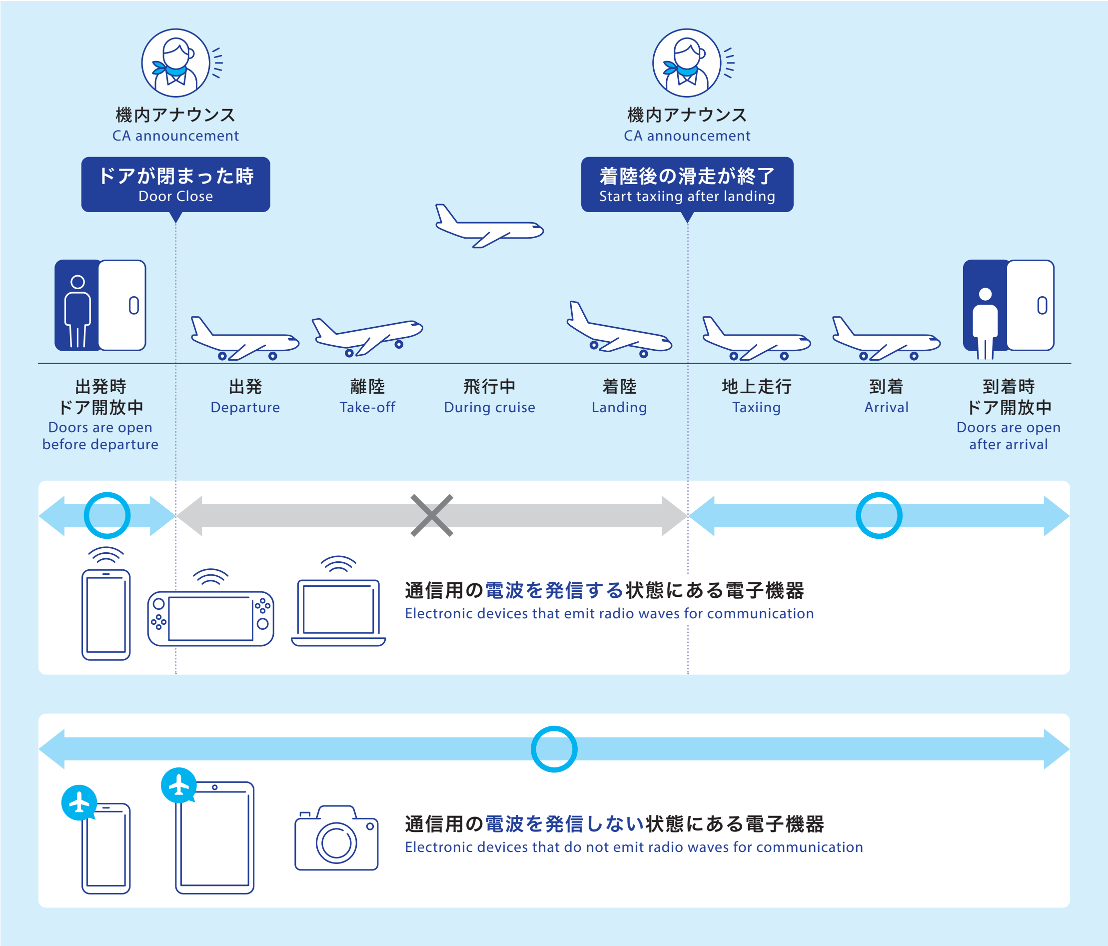
Consejos para un Vuelo Seguro y Cómodo

Le pedimos su cooperación en lo siguiente.

機内での電子機器の使用制限について
Restrictions on Use of Electronic Devices on Board

国土交通省が告示で「航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれのあるもの」について、以下のとおり定めています。出発時「飛行機のドアが閉まった時」から「着陸後の滑走が終了する時」まで、下記の電子機器の使用が制限されています。

The devices listed below have been stipulated by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT) as having the potential to affect the safety of flight operations as follows.
From when the doors are closed for departure until the aircraft starts taxiing after landing, use of electronic devices listed in below is restricted.



作動時に通信用の電波を発信する状態にある以下の電子機器はご使用になれません。（出力100ミリワット以下のものを除く）機内モード等の電波を発信しない状態（設定）にするか、電源をお切りください。

（注）客室乗務員がアナウンスにてお知らせいたします。

航空機外の設備と無線通信を行う状態にある携帯電話（スマートフォン含む）、パーソナルコンピューター、携帯情報端末、電子ゲーム機、携帯型データ通信端末、トランシーバー、無線操縦玩具、ワイヤレスマイク

（注）機器同士のBluetooth接続（ワイヤレスヘッドホン、医療機器等）やWi-Fi接続（電子ゲーム機等）は常時ご使用になれます。

Electronic devices that emit radio waves, as follows, cannot be used. (This excludes any of the devices listed below that have an output power of 100 mW or less.) Please set such devices to not emit radio waves or turn them off.

(Note) Cabin attendants will be making an announcement.

Cell phones (including Smartphones), Personal computers, Personal digital assistants, Electronic games and Mobile routers that communicate by radio waves to facilities outside the aircraft,Transceivers, Radio-controlled toys, Wireless microphones

(Note) Bluetooth connection between devices (such as wireless headphones and medical equipments) and Wi-Fi connection (for electronic games) can be used at any time.

作動時に通信用の電波を発信しない状態＊にある電子機器については、すべての飛行機において基本的に常時ご使用になれます。

携帯電話（スマートフォン含む）、パーソナルコンピューター、医療機器、DVDプレーヤー、デジタルカメラ、電子機器等

＊通信用の電波を発信しない状態（設定）とは、電源をON（入）にしていても通話やメールの送受信、インターネット機能がOFF（切）になっている状態を指します。

- 携帯電話での通話は周囲のお客様のご迷惑になりますのでお控えください。
- 機長が安全運航に支障があると判断した場合、使用可能な時期であってもご使用をお控えいただく場合がございます。ご了承ください。
- 当ページ記載の出力100ミリワット以下の電子機器であっても、その電子機器の使用により他のお客様 に不快感を与えたり、迷惑または危険を及ぼしたりするおそれがある場合はご使用をお控えいただきます。
- 記載のある電子機器以外でも別途当社の定めにより使用を制限している機器がありますので、電子機器の使用状況について客室乗務員が声をおかけする場合がございます。またペースメーカー等、医療機器をご使用のお客様が近くにいらっしゃる場合、電子機器のご使用をお控えいただくこともありますのでご協力をお願いいたします。
- 出発時の非常用設備に関するご案内（VTR上映／客室乗務員のデモンストレーション）にご注目ください。また安全に関する客室乗務員からのご案内にご注意ください。
- 緊急時脱出の妨げとなるような電子機器類は、前の座席の下または座席の上の物入れにご収納ください。また、電子機器が座席の間に挟まって破損する場合がありますので、保管にはご注意ください。
- 携帯電話（スマートフォン含む）、電子ゲーム、DVDプレーヤーなどをご使用の際は、周りのお客様へのご配慮をお願いいたします。

Electronic devices that do not emit radio waves for communication* can generally be used at any time.

Examples: Cell phones (including Smartphones), Per-sonal computers, Medical equipments,DVD players, Digital cameras, e-book readers, etc.

*Means the sending/receiving of phones/mails and the internet function is set to OFF even when the power is turned ON. Cell phones functions should be set to “flight”, “self”, “radio wave off”, “offline” or “personal” modes (names differ according to company).

- Please be considerate of other passengers and refrain from making phone calls.
- The use of electronic devices may still be prohibited at any time for safety reasons if the pilot determines that their usage will interfere with flight operations. Your kind understanding will be appreciated.
- Even if your electronic deviceis listed on this page and has an output power of 100 mW or less, you may beasked to refrain from using it if there is a risk that it will cause discomfortor inconvenience to or endanger other passengers.
- ANA may restrict the use of electronic devices other than those listed and cabin attendants may ask for your cooperation. If passengers using medical equipment such as pacemakers are seated nearby, you may be asked to refrain from using electronic devices.
- Please be sure to check the safety information provided by the cabin attendants or the safety video. Also, please pay attention to other safety-related instructions by the cabin attendants.
- Please store your electronic devices under the seat in front of you or in the overhead compartment so that they will not obstruct evacuation in the event of an emergency. Please also take care not to damage your electronic devices by storing them (and getting them stuck) between the seats.
- Please use your cell phones, electronic games and DVD players, etc., with consideration for other passengers on board.

機内の安全を阻害する行為について　Unruly Behaviors on Board　Comportamientos Indisciplinados a Bordo

航空機の安全を害する行為のほか、機内の人や財産に危害を及ぼす行為、機内の秩序を乱す行為、機内の規律に違反する行為は「航空法第73条の3」で禁じられています。特に国土交通省が定めた以下の行為については、機長の命令に背き行為を中止しなかった場合、50万円以下の罰金が科せられます。安全運航のためにご協力をお願いいたします。

- 乗降口または非常口の扉の開閉装置を操作すること
- 化粧室で喫煙すること（喫煙には、電子タバコや加熱式タバコ等、蒸気を発生させるものも含む）
- 乗務員の職務を妨害し、安全の保持等に支障を及ぼすおそれがある行為をすること
- 告示により禁止された電子機器を使用すること
- 指示に従わず座席ベルトを着用しないこと
- 離着陸時において、座席の背、テーブル、フットレスト（レッグレスト）を所定の位置に戻さないこと
- 非常脱出の妨げになる場所へ手荷物を放置すること
- 告示により定められた消火器、非常用警報装置、救命胴衣等を操作または移動すること

Acts jeopardizing the safety of the aircraft, harming the passengers or their properties on board, disrupting the order in the cabin, or disturbing the discipline in the cabin are prohibited by the “Civil Aeronautics Law of Japan, Article 73-3”. For the following specific behaviors stipulated by the MLIT, if you do not stop such acts despite the Captain's order, you will be subject to a fine up to 500,000 JPY. We ask for your cooperation for a safe flight.

- Operating the handle or other mechanisms of a cabin door or an emergency exit
- Smoking in the lavatory. This includes the use of smoking devices that generate vaper.
- Interfering with crew duties, which may hinder the safety of the aircraft
- Using electronic devices prohibited by the MLIT ministerial notice
- Not following the instruction to fasten the seat belt
- Not returning the seat back, table, or footrest (legrest) to its original position during takeoff or landing
- Leaving baggage in a place hindering the emergency evacuation
- Using, operating, or moving of fire extinguishers, evacuation signal system, life vests, etc. stipulated in the MLIT ministerial notice

Las acciones que pongan en peligro la seguridad de la aeronave, inflijan daño a los pasajeros o a sus propiedades a bordo, alteren o perturben el orden en la cabina, o perturben la disciplina en la cabina, están prohibidas según el “Artículo 73-3 de la Ley de Aeronáutica Civil de Japón”. En el caso específico de los siguientes comportamientos estipulados por el MLIT, si usted no se detiene a pesar de recibir la orden del capitán, estará sujeto a una multa de hasta 500,000 yenes. Le pedimos su cooperación para un vuelo seguro.

- Manipular la manija u otros mecanismos de una puerta de la cabina o de una salida de emergencia
- Fumar en los baños (incluyendo también los dispositivos para fumar y los productos que generan vapor)
- Interferir con las tareas de la tripulación, lo cual podría comprometer la seguridad de la aeronave
- Utilizar dispositivos electrónicos prohibidos por la notificación ministerial del MLIT
- No seguir la instrucción de abrochar el cinturón de seguridad
- No regresar el respaldo del asiento, la mesa o el reposapiés a su posición original durante el despegue o aterrizaje
- Dejar su equipaje en un lugar que dificultaría la evacuación de emergencia
- Utilizar, manipular o mover de lugar los extintores, el sistema de señales de evacuación, los chalecos salvavidas, etc., estipulados en la notificación ministerial del MLIT

下記に掲載の番組は、座席に装備されたイヤホンジャック(1口タイプ)にイヤホンを差し込み、
コントロールBOXでチャンネルを選択しお楽しみいただけます。

オーディオ番組

各40分プログラム（ラジオ放送を除く）

1 CH ラジオ放送【NHK第一放送】

その日の出来事を素早く伝えるニュースなど、
生活に密着した、さまざまな情報をお届けします。

※下記の各一部機材でご利用いただけます。
B737-800、B777-200、B777-300

8 CH 演歌・歌謡～心のふるさと～

JAPANESE MUSIC

いつでも夢を
橋幸夫・吉永小百合
（ビクターエンタテインメント）

美しい朝がきます
アグネス・チャン
（渡辺音楽出版）

走れ風のように
木之内みどり
（ポニーキャニオン）

夜明けのマイウェイ
パル
（キングレコード）

愛の奇跡
ヒデとロザンナ
（日本コロムビア）

星のフラメンコ
西郷輝彦
（日本クラウン）

また君に恋してる
坂本冬美
（ユニバーサル ミュージック）

標ない道
香西かおり
（ユニバーサル ミュージック）

冬のリヴィエラ
森 進一
（ビクターエンタテインメント）

川の流れのように
美空ひばり
（日本コロムビア）

パーソナリティ：小林奈々絵（フリーアナウンサー）
1983年石川県出身。「走れ！歌謡曲」など演歌・歌謡曲の音楽番組のパーソナリティを数多く務めている。

9 CH Music Travel-70's & 80's

JAPANESE MUSIC　POP/ROCK and more

ポーラースター
八神純子
（YAMAHA）

TIMEシャワーに射たれて
久保田利伸
（ソニー・ミュージックレーベルズ）

オフコース特集

愛の唄
オフコース（ユニバーサル ミュージック）

さよなら
オフコース（ユニバーサル ミュージック）

Yes-No
オフコース（ユニバーサル ミュージック）

HAPPY ENDでふられたい
杏里
（フォーライフ ミュージックエンタテイメント）

雪にかいたLOVE LETTER
菊池桃子
（バップ）

冬の散歩道／Hazy Shade of Winter
バングルス／The Bangles
（ソニー・ミュージックレーベルズ）

パーソナリティ：寺脇康文（俳優）
1962年生まれ、大阪府出身。
代表作はドラマ「相棒」シリーズなど。

10 CH 全日空寄席

JAPANESE TALK SHOW

落語「転宅」
春風亭柳雀

春風亭柳雀

落語「七度狐（しちどぎつね）」
笑福亭喬介

笑福亭喬介

（ともに2022年7月20日
東京・お江戸上野広小路亭にて収録）

※本番組内では、一部不適切な表現を含む場合がありますが、作品のオリジナリティーを尊重するため、削除・修正を行わずに放送することがございます。あらかじめご了承ください。

ご案内：内海英華、神田 紅
上方で現在唯一の女道楽・内海英華（写真左）と東京の女流講談師・神田 紅（同右）。ともに芸歴40年を超える。

11 CH 旅するクラシック

CLASSICAL MUSIC

〈東京・春・音楽祭〉

ワーグナー：楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》第1幕への前奏曲
Wagner: Die Meistersinger von Nürnberg, Act1 Prelude
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
ラファエル・クーベリック（指揮）

プッチーニ：歌劇《トスカ》第3幕 ― 星は光りぬ
Puccini: Tosca, Act3 ― E lucevan le stelle
プラシド・ドミンゴ（テノール）
フィルハーモニア管弦楽団 / ジュゼッペ・シノーポリ（指揮）

J.S.バッハ：フルート・ソナタ ホ短調 BWV1034 第2楽章
J.S.Bach: Flute Sonata in E Minor, BWV1034 2. Allegro
マクサンス・ラリュー（フルート）
ヴィーラント・クイケン（ヴィオラ・ダ・ガンバ）
ラファエル・プヤーナ（チェンバロ）

ブラームス：弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 作品111 第1楽章
Brahms: String Quintet No.2 in G Major, op.111 1. Allegro non troppo, ma con brio
セシル・アーロノヴィッツ（ヴィオラ）、アマデウス弦楽四重奏団

聴き比べコーナー

ワーグナー：楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》朝はバラ色に輝き
Wagner: Die Meistersinger von Nürnberg Morgenlich leuchtend
●ヨナス・カウフマン（テノール）
プラハ・フィルハーモニー管弦楽団
マルコ・アルミリアート（指揮）
●ルネ・コロ（テノール）
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
サー・ゲオルク・ショルティ（指揮）

〈UNIVERSAL MUSIC Recommends〉

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲変ホ短調 第5番 作品73《皇帝》（抜粋）
Beethoven: Piano Concerto No.5 in E-flat Major, op.73 "Emperor" <excerpt>
イム・ユンチャン（ピアノ）
光州交響楽団 / ホン・ソグォン（指揮）

監修：飯尾洋一　〈全曲　ユニバーサル ミュージック〉

UNIVERSAL MUSIC GROUP　東京・春・音楽祭 2023 SPRING FESTIVAL IN TOKYO 2023
https://www.tokyo-harusai.com/

※楽曲の特性上、ボリュームレベルの高低に幅がございます。あらかじめご了承ください。
※一部オリジナルマスターテープに起因するノイズ等がありますが、ご了承ください。

パーソナリティ：松尾依里佳（ヴァイオリニスト）
4歳よりヴァイオリンを始め、故・工藤千博などへ師事。作編曲もこなす。京大卒でタレントとしても活躍中。

※番組は予告なく変更させていただく場合がございます。※エンターテイメントプログラムは一部機材で放送がない場合がございます。
※一部機材では月初は前月の、月末は翌月のプログラムとなる場合がございます。※作品によっては、フライト時間内に視聴を終了できない可能性がございます。予めご了承ください。
※5～7chのオーディオサービスを停止しています。8～11chで番組をお楽しみください。※8～11chは、シートモニターでもお楽しみいただけます。
※お客様ご自身のイヤホンをご利用いただけます。イヤホンをお持ちでない方は、客室乗務員にお申し付けください。

下記に掲載の番組は、座席に装備されたイヤホンジャック(1口タイプ)にイヤホンを差し込み、コントロールBOXでチャンネルを選択しお楽しみいただけます。

→目次に戻る

前方スクリーン番組

3CH 12CH

音声は3チャンネルでお楽しみください。(一部の機材では“12”チャンネルになります。)
Please select channel 4 for English when viewing programs. (Only available in Japanese on some aircraft.)

奇数便 上映番組
Odd-numbered flights Screened program

BLUE SKY NEWS #12

ANA公式YouTubeチャンネル「BLUE SKY NEWS」。今回は、「パッキング術大公開」「FLYING HONUの積み込み作業を初公開!!」「タイムラプスで見る羽田空港の1日」をご紹介します。

This time on BLUE SKY NEWS, ANA's Official YouTube Channel: "How to Pack for a Trip", "Inflight Meal Loading on the FLYING HONU", "Timelapse: A Day at Haneda Airport" and more.

音声	日本語	AUDIO TRACKS	Japanese
字幕	日本語	SUBTITLES	Japanese

偶数便 上映番組
Even-numbered flights Screened program

時をかけるアメマ!寛平さんぽ 阿蘇編
Kanpei Sanpo Aso

時は江戸時代。放浪の旅をしていた寛平は現代にタイムスリップし、富士彦と出会い2人の珍道中がはじまる。今回のスペシャルゲストは田村亮。

A man called Kanpei is drifting around the country when he time slips from Edo Era to present day. He meets Fujihiko and they begin an incident filled journey together. The special guest this time is Ryo Tamura.

音声	日本語	AUDIO TRACKS	Japanese
字幕	英語	SUBTITLES	English

※番組は予告なく変更させていただく場合がございます。
※エンターテイメントプログラムは一部機材で放送がない場合がございます。 ※お客様ご自身のイヤホンをご利用いただけます。イヤホンをお持ちでない方は、客室乗務員にお申し付けください。
※一部機材では月初は前月の、月末は翌月のプログラムとなる場合がございます。 ※作品によっては、フライト時間内に視聴を終了できない可能性がございます。予めご了承ください。

機内エンターテイメントシステムのご案内
In-flight Entertainment System Guide

映画・ビデオ・オーディオなど様々なジャンルのプログラムを高品質でお楽しみいただける機内エンターテイメントシステムです。
Our in-flight entertainment system provides ANA passengers with a variety of high quality programs, including movies, videos, audio and more.

シートモニターの種類
Information on the seatback monitors

＊一部機材のみ対象 ＊Designated aircrafts only

B787-8*

A320neo / A321neo / B777-200*

※現在随時改修中です。機内にてご確認ください。
今後はB787-9*と同じ画面に変更予定です。
＊Our systems are undergoing improvements. Check the system on your flight for more information.
All monitor displays will soon be the same as those on B787-9* aircraft.

B787-9*

※背景画像は時期により異なります。
＊Scenery images will change according to the season.

コントローラーガイドはシートモニターでご確認いただけます。
The Controller Guide can be accessed through the seatback monitor as follows.
ホーム画面上の「お知らせ」または「?」をタップして参照 Tap [Info] or [?] on the Home screen.

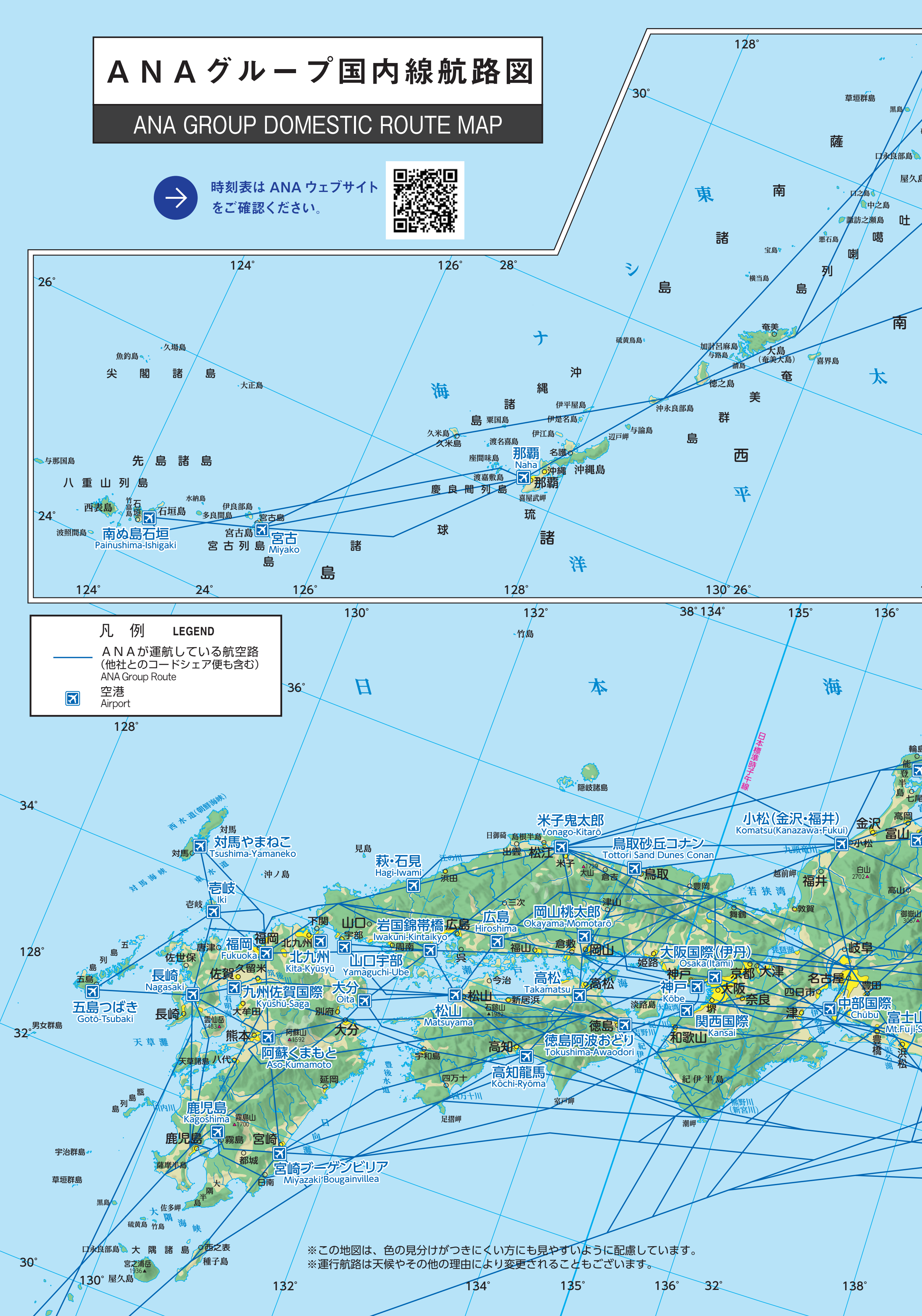
※シートモニターが肘掛の中に収納されている座席では、モニター収納中に番組変更はできませんのでご了承ください。離陸・着陸の際は安全上の理由によりモニターを収納していただく必要があります。
※不明な点、不都合な点などがございましたら、お気軽に客室乗務員までお申し付けください。 ※画像はイメージです。
＊You cannot change programs while the monitor is stored away (seats where the monitor is located in the armrest). For safety, monitors must be stored away during takeoff and landing.
＊Please ask any of the cabin crew for help. ※Images are for illustration purposes only.

オホーツク海
宗谷海峡
礼文島
野寒布岬
稚内
宗谷岬
利尻
Rishiri
利尻島
稚内
Wakkanai
天塩川
天売島
焼尻島
紋別
オホーツク紋別
Okhotsk-Monbetsu
サロマ湖
留萌
旭川
旭川
Asahikawa
大雪山
2291
網走
女満別
Memanbetsu
北見
知床岬
知床半島
国後島
屈斜路湖
根室海峡
中標津
根室中標津
Nemuro-Nakashibetsu
歯舞群島
根室
積丹半島
石狩川
小樽
札幌
岩見沢
支笏湖
千歳
洞爺湖
新千歳(千歳)
New Chitose(Chitose)
帯広
苫小牧
奥尻島
渡島半島
内浦湾
(噴火湾)
室蘭
帯広
Obihiro
十勝川
釧路
たんちょう釧路
Tancho-Kushiro
襟裳岬
函館
Hakodate
函館
津軽海峡
下北半島
陸奥湾
岩木山
1625
青森
青森
Aomori
弘前
十和田湖
八戸
能代
大館
大館能代
Odate-Noshiro
男鹿半島
秋田
雄物川
田沢湖
岩手山
2038
盛岡
秋田
Akita
三陸海岸
宮古
飛島
鳥海山
2236
釜石
最上川
酒田
おいしい庄内
Oishii-Shonai
鶴岡
気仙沼
粟島
月山
1984
北上川
佐渡島
山形
蔵王山
1841
仙台
石巻
牡鹿半島
新潟
新潟
Niigata
信濃川
阿賀野川
仙台
Sendai
米沢
阿武隈川
珠洲岬
のと里山
Noto-Satoyama
長岡
上越
磐梯山
1816
猪苗代湖
会津若松
福島
郡山
富山きときと(飛驒・高山)
Toyama-Kitokito(Hida-Takayama)
福島
Fukushima
立山
3015
長野
穂高岳
3190
上田
浅間山
2568
男体山
2486
赤城山
1828
いわき
松本
前橋
宇都宮
高崎
日立
八ケ岳
2899
水戸
北岳
3193
甲府
土浦
飯田
さいたま
東京国際
(羽田)
Tōkyō(Haneda)
東京
成田
富士吉田
3776
富士山
横浜
千葉
成田国際
Narita
銚子
利根川
犬吠埼
静岡
静岡
小田原
沼津
相模湾
駿河湾
伊豆半島
房総半島
館山
下田
大島
758
三原山
野島崎
石廊崎
利島
新島
式根島
神津島
三宅島
伊豆諸島
御蔵島
八丈島
八丈島
Hachijō-jima
太平洋
大東諸島
北大東島
南大東島
薩摩半島
大隅半島
佐多岬
大隅海峡
竹島
大隅諸島
西之表
種子島
宮之浦岳
1936
択捉島
色丹島
伊豆半島
三原山
大島
利島
石廊崎
御前崎
伊豆諸島
三宅島
八丈島
Hachijō-jima
鳥島
小笠原諸島
聟島列島
父島列島
父島
母島
母島列島
西之島
火山列島
硫黄島
南鳥島
沖ノ鳥島
© 日本特殊地図編纂所
2022.8

ＡＮＡグループ国内線航路図

ANA GROUP DOMESTIC ROUTE MAP

時刻表は ANA ウェブサイトをご確認ください。



※この地図は、色の見分けがつきにくい方にも見やすいように配慮しています。
※運行航路は天候やその他の理由により変更されることもございます。

ARCTIC OCEAN
北極海
Queen Elizabeth Islands
GREENLAND
Wrangel I.
Victoria I.
U. S. A.
Arctic Circle
KAMCHATKA
ALASKA
6190 Mt. Denali (McKinley)
Yukon川
Whitehorse
Hudson Bay
ハドソン湾
Bering Sea
ベーリング海
Gulf of Alaska
アラスカ湾
Aleutian Is.
Rocky Mountains
CANADA
バンクーバー
VANCOUVER
Edmonton
Calgary
Regina
Winnipeg
シアトル
SEATTLE
Portland
Newfoundland
Montréal
Ottawa
Milwaukee
Toronto
Boston
UNITED STATES OF AMERICA
アメリカ合衆国
Detroit
NEW YORK ニューヨーク
Salt Lake City
Denver
Kansas City
St.Louis
CHICAGO
シカゴ
Philadelphia
サンフランシスコ
SAN FRANCISCO
サンノゼ
SAN JOSE
Las Vegas
Oklahoma City
WASHINGTON D.C.
ワシントン
Columbia
ロサンゼルス
LOS ANGELES
San Diego
Phoenix
Dallas
Atlanta
ATLANTIC OCEAN
大西洋
San Antonio
HOUSTON
ヒューストン
New Orleans
Jacksonville
Orlando
Miami
Midway Is.
International Date Line
U.S.A.
Hawaiian Is.
HONOLULU ホノルル
Monterrey
Gulf of Mexico
メキシコ湾
BAHAMAS
Tropic of Cancer
Guadalajara
MEXICO
メキシコシティ
MEXICO CITY
CUBA
DOMINICAN REPUBLIC
BELIZE
JAMAICA
HAITI
ST. CHRISTOPHER AND NEVIS
ANTIGUA AND BARBUDA
GUATEMALA
Guatemala City
San Salvador
HONDURAS
SAINT LUCIA
DOMINICA
EL SALVADOR
NICARAGUA
ST. VINCENT AND THE GRENADINES
BARBADOS
GRENADA
TRINIDAD AND TOBAGO
MICRONESIA
MARSHALL IS.
PACIFIC OCEAN
太平洋
COSTA RICA
PANAMA
VENEZUELA
Medellín
Bogotá
GUYANA
SURINAME
FR. GUIANA
KIRIBATI
NAURU
Equator
Galápagos Is.
COLOMBIA
Amazonアマゾン川
MELANESIA
POLYNESIA
TUVALU
ECUADOR
SOLOMON IS.
海
SAMOA
FIJI
Lima
Andes
PERU
BRAZIL
VANUATU
TONGA
NIUE
BOLIVIA
Tropic of Capricorn
São Paulo
Rio de Janeiro
PARAGUAY
COOK IS.
Easter I.
Mountains
CHILE
Aconcagua
6959
URUGUAY
Tasman Sea
タスマン海
Auckland
Santiago
Buenos Aires
Rio de la Plata
ラプラタ川
NEW ZEALAND
Wellington
Christchurch
Queenstown
ARGENTINA
Falkland Is.(Islas Malvinas)
Estr.de Magallanes
マゼラン海峡
C. Horn
Antarctic Circle
160° 180° 160° 140° 120° 100° 80° 60° 40°
80° 60° 40° 20° 0° 20° 40° 60° 80°
凡　例　LEGEND
ＡＮＡグループ便
ANA Group operated flight
ＡＮＡグループ便就航都市
Cities served by ANA Group operated flight
コードシェア便就航都市
Cities served by Codeshare flight

目次に戻る

ＡＮＡグループ国際線航路図

ANA GROUP INTERNATIONAL ROUTE MAP

時刻表は ANA ウェブサイトをご確認ください。

※運航航路は天候やその他の理由により変更されることもございます。2022年8月15日時点での情報です。
Flight routes are subject to change due to weather conditions or other reasons. Information as of August 15, 2022.
※コードシェア便就航都市は2020年1月31日時点での情報です。
Information regarding the cities served by Codeshare flight is as of January 31, 2020.

© 日本特殊地図編纂所

2022.8

＼日本初※／
WEB完結型の
親介護保険

※2019年1月時点
東京海上日動調べ。
（従業員向け団体保険を除く）

介護する子も、される親もうれしい。

高齢化社会を迎えた日本で

社会問題となっているのが、働き盛りの“介護離職”。

ANAの保険「明日へのつばさ」親介護保険は

円満な介護生活を送るために、スキルが必要な場面で

プロに委ねる費用をカバー。

仕事と介護の両立で重要となってくる経済的基盤をサポートし

介護のために離職する人をゼロにしたいとの思いから生まれた保険です。

新しい親孝行を、あなたへ。

ANA 親介護保険

人生の旅を、豊かに。

ANAの保険

ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER

2 February

ANA Monthly "Welcome Aboard" Calendar

本月的全日空挂历

An ANA employee navigator introduces travel destinations for our ANA official calendar "Welcome Aboard" 2023 edition.

全日空官方挂历
《Welcome Aboard》2022 年版的旅游景点
由全日空员工来为您导航

February Location
2 月份的景点

El Nido
(Philippines)
爱妮岛
（菲律宾）

February
ANA employee navigator
2月份全日空员工导航

Abbie Chow

● **Company / Department**
ANA Manila Branch
所属部门 全日空马尼拉办事处

● **Birthplace** Cavite, Philippines
籍贯 甲米地（菲律宾）

● **Hobbies**
Trying new food, traveling, collecting toys
爱好 尝试从未吃过的食物、旅行、收集玩具

● **Favorite location to visit**
Cebu, Philippines
最喜欢的观光景点 宿务岛（菲律宾）

El Nido (Philippines)

爱妮岛（菲律宾）

Hi, I'm Abbie! I love trying new food and restaurants, and when I travel I love exploring each area's local cuisine. I also enjoy nature and beautiful views, but the highlight of my trip is usually food!

我喜欢尝试从未吃过的食物或餐厅，在旅行目的地总爱尽情享受当地的美食。我也爱欣赏美丽的自然和风景，不过旅行的主要目的永远是"食物"！

Recommended Location
推荐观光景点

Bukilat Cave and Beach Area in Camotes Island, Cebu

宿务卡莫特斯岛的布基拉洞和海滩区

Whether you love the beach, mountains or the city, Cebu is the place for you. Every year when I visit Cebu, I always find something new.

无论您喜欢海滩、山或城市，都向您推荐宿务。每年造访宿务都会有新发现。

Recommended Food
推荐美食

Grilled Mahi-Mahi, Baked Scallops and Kinilaw

烤鲯鳅鱼 烤扇贝和 kinilaw（菲律宾式生鱼沙拉）

I always go for fresh seafood, which is best enjoyed by the beach. My personal favorites are baked or steamed scallops, shrimp and kinilaw (a dish similar to fish ceviche).

新鲜的海鲜一定不会错。在海滩品尝最应景不过啦！我最喜欢的是烤或蒸的扇贝、虾，还有 kinilaw（菲律宾式生鱼沙拉）
kinilaw 是一道菲律宾菜，有点像南美风酸橘汁腌鱼或法式醋汁鱼贝类。

ANA Mileage Club Members Only / News

ANA Domestic Flight Awards “Weekly TOKU-TABI Mile”

Available routes:
Announced every Tuesday around 12:00 noon(JST)

Reservation and ticketing period:
From every Wednesday at 12:00 AM to the following Tuesday at 11:59 PM(JST)

Departure period:
Any date between Thursday and the following Wednesday

“Weekly TOKU-TABI Mile” is a service that allows you to use ANA domestic flight awards with fewer miles than usual. Choose your destination from a selection of eligible routes announced weekly, starting at 3,000 miles one-way. Reservations can be made up to one day prior to the flight date.

For further details, please visit the ANA website.

We are committed to valuing customer feedback

ANA Blue Hangar Tour introduces our maintenance department supporting safe daily operations

The “ANA Blue Hangar Tour” introduces the maintenance department that supports the ANA Group’ s safe flight operations. During the tour, visit the hangar and see mechanics up close at work on actual airplanes. There is also a facility where visitors can experience simulated maintenance work. Please come and experience aircraft maintenance firsthand, which is normally not available to the public. We look forward to seeing you there!

*This event may be canceled due to the effects of coronavirus, etc.

Customer feedback

I am very interested in airplanes, and would love to see aircraft maintenance up close.

Feedback and suggestions
0120-029-787 (toll-free in Japan)

From a mobile phone
0570-029-787 (same rate nationwide)

For international calls
03-6735-7922
(relevant charges apply)
Operation hours 9:00–17:00
(year round)

Please send us your comments and suggestions regarding ANA’s services.
*Customer feedback forms are also available onboard our flights. Please inquire with one of our flight attendants.

Feedback and suggestions

ANA GROUP INFORMATION

INFO 01

Service

ANA SkiP service to be discontinued

ANA SKiP service for domestic flights will be discontinued on March 31, 2023. Beginning April 1, please use our online check-in. Passengers may check in and receive their boarding pass on their mobile device anywhere from 24 hours to 20 minutes before departure. Online check-in is also conveniently available via the ANA App. The app allows you to easily view the latest seat map and enjoy other convenient features, such as ANA Wi-Fi service.

For further details, please visit the ANA website.

INFO 02

News

ANA My Car Valet Service is now more affordable and easier to use!

ANA My Car Valet Service is available at Narita Airport. Before departure, we will park your car in our covered parking garage, and provide private car transportation from there to the South Wing of Narita Airport Terminal 1. On your return, you can wait at the ANA ARRIVAL LOUNGE* in the Narita Airport Arrival Lobby until your car is delivered from the parking garage to the Narita Airport private car pickup location. The charge has been reduced from December 19, 2022 to allow more customers to take advantage of this service. Please consider ANA My Car Valet Service when departing from Narita Airport. (*Lounge hours are subject to change.)

■Eligible Customers:
Passengers who have purchased ANA Group-operated roundtrip international flights from Narita Airport with an ANA flight number.

- Passengers boarding on flights by Star Alliance member airlines or codeshare flights operated by the codeshare partner airlines are not eligible.
- Does not apply to tickets for some types of fares.
- Tickets for ANA Group-operated flights purchased at other airlines or travel agencies may not be accepted to request this service.

For further details, please visit the ANA website.

Takumi Terauchi is the only artisan practicing Toyoka's traditional method of wickerwork.

寺内卓己先生。他是继承了丰冈杞柳编工艺的唯一匠人。

The wicker lunch boxes look like compact versions of the handbags and have many handy uses. Of course, they can hold a rice ball wrapped in plastic wrap, but packing the rice ball directly inside the box is best. This will allow excess moisture to seep out of the rice, giving it a highly satisfying taste, even when cold. The lunch box is firm yet supple, and pleasant to the touch. Having a meal is not only about taste – the texture and feel of the vessel it is served in also matters.

Mr. Terauchi starts work daily around 6:30 AM, but feels like he doesn't have enough time in a day. With a grin he said, "Every day I'm busy making so many different products, large and small, and I'm so glad when it's time for a glass of sake with dinner."

With only one artisan remaining, eventually farmers supplying the needed materials will disappear. Mr. Terauchi decided to start growing koriyanagi on his own about 30 years ago. Without any experience in farming, he had to learn from scratch. Every year he harvests the plant in December, and then must dry, husk and dehydrate it in an endless cycle of work. There is plenty to do at the weaving stage as well, including sorting the koriyanagi to suit different products based on its thickness and other characteristics, then soaking it in water. It's truly endless work.

Several apprentices are currently working at the factory. Mr. Terauchi tells them frankly how tough it is to make a living in this craft, which includes farming. "I hope they keep at it," he told me. When he showed me the field where koriyanagi was growing strong and almost ready to be harvested, I was reassured. I don't believe this 1,200-year history will be broken so easily.

蹲下身子，爬上木板。只见他向前俯着身子，手不停地在动。这项操作需要用到全身，看起来强度相当大。不过乍一看，很难看出他正在做什么。

一根麻线从天花板的管子垂下来。他一边拉动麻线，一边处理类似稻草状的硬硬的枝条。我定睛看着他的手边，有点吃惊，原来他正在细致而精确地编织作品。

这是兵库县丰冈市传承的工艺——“丰冈杞柳工艺”。制作的是昔日家家必备的柳条包。使用的典型材料是一种名叫杞柳的植物。

杞柳原本是朝鲜半岛的野生植物，很久以前就被引入日本。正因为材料有着悠久的历史，使用杞柳制作的手工艺品早在 1200 年前就已存在并传承至今。然而，如今仍然坚持制作的传人只剩下了一个人。那就是丰冈市出石的“Takumi 工艺”的寺内卓己先生。

丰冈市的箱包行业闻名全国，有着“丰冈包”的说法。制作箱包的起源是寺内先生的杞柳工艺。

“Takumi 工艺”所在的出石位于从伊丹机场驱车两个小时左右的位置。这里有着“但马的小京都”之美称，美丽的住宅得到了完好的保存，城市风景秀丽。市区还有一家名叫“永乐馆”的戏院，建于明治时代，曾一度关闭，但在市民的呼声之下，时隔 40 多年后再次开放。也许这正可能证明这座城市对文化的重视。

“Takumi 工艺”位于出石的市中心地带。到了那里我先是吃了一惊。走进前门，迎面就是车间。寺内先生身穿工作服，就在那里工作。他马上注意到来访者，报以晴朗的笑容和富于磁性的声音以迎接客人。当我想到眼前此人便是杞柳工艺的唯一传人时，不禁心生敬意。

然而，在父母亲眼里，寺内先生曾经被认为是个“笨拙的孩子”，他的双亲实际上是著名的工匠。

“我姐姐经常取笑我，说我连自己的鞋带都不会系，我母亲则对我说，‘像你这样笨拙的人竟然能编出柳条包？太意外了’。世事真是难料呢，不是吗？”

寺内先生在聊天的同时，一边用整个身体继续工作。他将杞柳一根根地搓起来，然后在柳条的间隙里，用浸过水的麻线穿起来，将其编织成布一样的形状。杞柳是经线，麻线是纬线。其原理类似于织布，但使用的材料更硬、更粗，所以更需要体力。不过，经过辛苦劳作编织而成的柳条包有一种不可替代的魅力。

柳条包是什么东东？也许有人会这么想。

在明治年间到昭和初期的电影中经常可以看到它的身影，使用杞柳编织的柳条包有点像一个带盖的大篮子。想象一下夏目漱石笔下的“少爷”，应该就提着一个带有皮革制的皮带和手柄的柳条包吧？那种被称为“行李包”。

虽然柳条包在现代生活中已鲜有看到，但实际上这是一种轻巧、结实且不会发霉的出色生活用品。了解柳条包这些优点的客人都会特地向寺内先生订购。但因为独此一家，所以订单总是排得满满的，客人需要等待很长时间。即便如此，大家还是乐意来找他。一个柳条包可以用上一百年，这么说来，等待半年才能拿到其实也没什么大不了的。而另一方面，那些因为柳条包比较大、价格相当昂贵而犹豫不决的人，可以考虑买一个柳条饭盒试试。

柳条编织的饭盒其实也就是超小型的柳条包。使用方法随你喜欢。比如可以装保鲜膜包起来的蛋包饭。但真正懂行的人会直接用它装米饭。多余的水分蒸发后，米饭即使凉了也特别好吃，而不会发粘。饭盒形状分明却又具备一定的柔软度，拿在手上吃饭时特别趁手，心情也变得美好。饭好不好吃不只是味觉的问题，饭盒的手感其实也很重要呢。

寺内先生笑着说：“我每天同时制作大大小小的各种作品。每到晚上喝一杯的时候，才松一口气。”他每天早上 6 点半左右便开始编织，即便如此，时间还是不够用。

如今工匠只剩下他一个人，也就没有农家继续生产原材料了。寺内先生大约从 30 年前便开始自己栽种杞柳。当然，没有农业经验的他是从零学起。如今每年十二月份收获。之后再要经过晒干、剥皮、烘干等繁复的作业。即使到了编织的阶段，也还是需要根据制作的作品选择粗细不等的柳条，并将其浸泡在水中等，工艺十分复杂。他也是非常地忙碌。

如今，他带着几名徒弟。制作材料的辛苦自不用说，他还不加掩饰地告诉徒弟们，要靠这门手艺吃饭并非易事。

“如果他们都能坚持下来那多好呀。”

寺内先生带我去看了杞柳田，临近收割的杞柳长势旺盛，我望着田里的风景，忽然有一种安心感。我想，1200 年的历史应该不会就这么轻易画上句号的。

The koriyanagi used for the wickerwork is grown by Mr. Terauchi and his apprentices, and harvested around the end of the year.

寺内先生跟徒弟们一起种植的杞柳，年底收割后用作原材料。

Edited by Akihiko Furukawa　编辑：古川聡彦

(Top) An old wicker suitcase and newly made handbags; (middle) woven materials are hung in frames to dry out; (bottom) hemp yarn is soaked in water to prevent it from breaking during the weaving process

（上）古董行李包和现代的篮子等。（中）把编好的物品套在模具上，风干后成型。（下）麻线在使用前泡水。这样可以防止作业时断裂。

In the city of Toyoka, Hyogo Prefecture, I recently had the chance to watch a master artisan at work. He started by squatting down on a plank, bending forward and moving his hands. The work seemed quite difficult, and it was hard to tell exactly what he was doing. Strands of hemp yarn hung from pipes on the ceiling, and he pulled on them while handling a tough straw-like material. Looking closer, I was surprised to see that he was weaving a fine, intricate material. I learned that this wickerwork is made using a traditional method passed down in Toyoka for centuries. The artisan makes wicker handbags and other goods, which were once found in many Japanese households.

Traditionally, Toyoka wickerwork was made from a willow plant called koriyanagi. Native to the Korean Peninsula, it was also used in Japan for many centuries. In fact, handicrafts made from this plant date back about 1,200 years, but today, only one artisan remains who uses the original techniques. His name is Takumi Terauchi, owner of the Takumi Kogei factory in Toyoka's Izushi area.

Toyoka is known throughout Japan for the woven handbags produced here. The method of making these bags is rooted in the koriyanagi weaving technique, called kiryu in Japanese, which is still used by Takumi Terauchi.

Izushi is about two hours by car from Osaka International (Itami) Airport. A picturesque town with many well-preserved old buildings, Izushi has been called the Little Kyoto of Tajima (a former province in present-day Hyogo Prefecture). It boasts a kabuki theater built in 1901 called Eirakukan. Around 40 years after the theater closed down, local residents called for its restoration, reflecting the importance they place on local culture.

Takumi Kogei is located in the heart of Izushi. When I visited, I was surprised to find myself on the factory floor immediately after entering the building. Here I found Mr. Terauchi at work, wearing traditional work clothes. He is quick to greet visitors with a bright smile and baritone voice. So this is the only artisan left practicing the traditional kiryu method of wickerwork, I thought, with a touch of awe.

Interestingly enough, Mr. Terauchi was regarded as clumsy by his parents, who were also well-known artisans. As he told me, "My mother wondered out loud how someone so clumsy could weave a wicker bag, and my sister teased me, saying I couldn't even tie my shoelaces. We never know how things turn out."

Mr. Terauchi continued to work as we talked, moving his whole body. He separated each strand of koriyanagi and passed water-soaked hemp yarn through to weave the material. In weaving terms, the koriyanagi is the warp and the hemp yarn is the weft. Although the weaving method is basically the same used for making cloth, it is considerably more labor intensive because the materials are firmer and thicker. The result of these efforts, however, are wicker goods with a unique charm that cannot be imitated.

If you're wondering just what kind of wicker goods he makes – many Japanese movies set in the Meiji era (1868–1926) or early Showa era (1926–1989) feature woven, basket-like suitcases and trunks with large lids. These are wicker goods made from koriyanagi. Many Japanese people can imagine Botchan, the character from Natsume Soseki's classic novel of the same name, carrying a koriyanagi case with a handle attached and held tight by leather belts. These suitcases and containers are called kori-kaban in Japanese.

Although you don't see many nowadays, kori-kaban are wonderful items for everyday life, as they are lightweight, sturdy and highly resistant to mold. People who are aware of these benefits order handbags and other goods from Mr. Terauchi. Since these products are only made at his factory, however, orders fill up and a waiting list forms. Nonetheless, customers continue placing orders. Considering how the handbags last longer than most lifetimes, waiting for six months is not a big issue for them. Kori-kaban bags come with a high price tag, however, so some customers order smaller lunch boxes instead.

【手考足思】这个词是由活跃在大正到昭和年间的陶艺家河井宽次郎创出的提法，意为“开动双手多考虑，迈开双足勤思索”。本连载将探访体现“手考足思”的地点，描绘出从事这一行业的手艺人人生故事。

To make wickerwork using this traditional method, weaving is performed on a plank placed over a bundle of koriyanagi (native willow species).

编织柳条包。在铺着一束束杞柳条的上面放上木板，人在木板上制作。

"Thought through movement" Ceramic artist Kawai Kanjiro (1890–1966), who was active during the Taisho (1912–1926) and Showa (1926–1989) eras, famously said, "We must think with our hands, embrace sojourn and continue to ponder." In this series, we explore traditional craftsmanship that embodies this "Thought through movement" concept through the lives of dedicated artisans.

Traditional Wickerwork from Izushi, Toyoka, Hyogo Prefecture

兵库县丰冈市出石
丰冈杞柳编工艺 · 柳条包

Interview/text: Jump Kato Photography: Tomo Ishiwatari
采访 · 撰稿 / 加藤 Jump 撮影 / 石渡 朋

“这是我们第一次经历封城，更不用说让救援包机从封锁的城市起飞了。虽然有很多不安，但说实话，当时我完全投入到其中，根本顾不上多想。”

羽田机场第二航站楼的停机坪迎来了初冬季节。飞机整齐地排着队等待出发，在温暖而柔和的阳光下熠熠生辉。一位身穿西装的男士眯着眼睛看着窗外平静的景象，再次把脸朝向这边，非常有力地说了上面的话。

2008 年 1 月～ 2 月，应日本政府的要求，全日空为了救助日本国民，出动了 5 架包机从中国武汉起飞，那里是新冠病毒在全球范围首次传播的地方。全日空帮助日本国民及其家属共 828 人返回了日本。在当地现场指挥办理登机手续的，是时任武汉分公司机场所长的鹤川昌宏（现任 ANA 成田机场服务部运营管理部长）。

他说：“全力以赴帮助大家尽快回到日本，我只有这一个念头。”

与此同时，在羽田机场第 2 号航站楼的卫星楼，有一名女士正在巡视大厅，人们正在等待国内航班的登机，只见她脸上浮现安静的笑容。

“我平时是负责国际航班的。自从那一天以后，我还是第一次来到这里。”这一位是 ANA 机场服务旅客服务部业务推进科经理竹野真美。竹野也是 2020 年 1 月，忙于准备接收来自武汉包机的工作人员之一。她现在所在的卫星楼，便是为了迎接包机回国的旅客们，临时设置了国际线航站楼的场所。

“正是在现在这个位置，我们与政府相关部门的负责人开了一次碰头会，在 47 号登机口前面摆了办理入境手续的桌子，后面的 48 号是海关……。不过，现在这种平静的景象才是卫星楼真正的样子。我希望它今后能一直保持这种平静。”

当时，传染病的真面目还没有定论，而这个紧急项目正是在这样的前提下推进的。我们向当时在两地机场第一线的两位作了访谈。

突如其来的封城

“一开始是在上一年，也就是 2019 年 12 月初。我们有一名当地录用的中国籍员工告诉我说‘外面好像出现一种奇怪的传染病’，她的丈夫是医务人员。但那时候我也没特别在意。当时根本没有预料后来会发生那样的事态。”

鹤川回忆起这一切的开始。很快，城市里开始有传言说，有一种原因不明的肺炎正在蔓延，过了元旦之后，中国政府也宣布发现了感染新型肺炎的患者。然而，此时受感染的人数仍然非常少，政府方面公布说“不会人传人”，态度一直比较乐观。然而，情况突然发生了变化。1 月 23 日凌晨 5 点。鹤川在他的住处醒来，看了看枕边的智能手机，忍不住惊叫了起来。

“什么？怎么会这样！？”手机屏幕上显示出“封城”两个字。

“我是上一年 4 月份刚刚赴任的，中文也不太会，但我能理解那个词有多么重的分量。于是我赶紧联络了当地员工，大家告诉我说，今天上午 10 点以后要封城、没法出勤了等。我当时就觉得这是出大事了。”

当天我们还有武汉飞成田的航班。

“那次航班是 9 点 30 分起飞，我当时想，无论如何一定要确保起飞。因为乘客都已经预定登机了啊。”

一旦封城，市内的交通机构将全面停运。即使能把那班飞机送走，鹤川和其他员工也面临着无法回家的问题。正因为如此，有数名员工表示没法出勤了。鹤川争分夺秒地说服大家，并凑齐了出发所需的工作人员。

在这样的努力下，飞往成田机场的航班就在封城前顺利出发了。

傍晚时分，当他在空无一人的机场大厅巡回时，立刻就被一名身穿军装的男子叫住了。鹤川出示了工作证，但对方严厉地命令他：“马上回家！”

“还好有一辆平时我经常坐的车，那位司机很机灵，更应该说他是冒着危险在停车场等我，多亏了他，我才能够回到家。但平时熙熙攘攘的道路，此时变得空空荡荡，这一切看得我目瞪口呆。”

武汉是有很多日企的城市。在实施封城的时候，就有数百名日本国民滞留在武汉所在的湖北省。随后，为当地日企提供服务的商工会等接二连三地向被迫停留在家中的鹤川等人发来了联络。

“能不能想想办法，提供回国的航班？”

就在同一时期，外务省也向全日空提出了同样的问题。就这样，全日空义不容辞地肩负起了这个国家交付的任务。日本大使馆的人员也从北京赶到武汉，鹤川跟他们一起开始了紧急的筹备工作。

航空公司的“使命”

“我不太记得那一天是几号了。但我很清晰地记得，当我们收到联络说公司的包机将从武汉出发时，公司内部一下子热情冲天，气氛非常团结。”

竹野回忆起当时的事，脸上浮现出自豪的神情。就在飞往武汉的第 1 趟包机起飞前一天，也就是 27 号早晨，当她去羽田机场的办公室上班时，收到了通知：“今天要准备包机，所以下班时间会延迟。”

“具体是在 27 号的深夜，我们往飞机上装了大量运往当地的口罩和手套等支援物资。另外，由于武汉机场人手不足，所以我们提前在羽田机场为预定搭乘第 1 趟包机的所有乘客打印了登机牌。”

一开始，包机计划是在 28 号凌晨起飞。飞行时间 4 ～ 5 个小时后，

“Some local Chinese staff defied opposition from family members to operate these chartered flights. We were truly grateful.” (Mr. Tsurukawa)

“当地的一些中国籍员工不顾家人的反对，赶来协助包机的运行。真的太感谢大家了。”（鹤川）

中午到达武汉，回国人员登机后，晚上再回到羽田机场。

“可没想到，到了 28 号凌晨时分，我们忽然收到联络说，第 1 趟包机无法按计划出发。当时是深夜，所有冒着寒冷忙着装货物的工作人员都感到十分沮丧。”

竹野回忆了这一个场景，而此时身在武汉的鹤川，也从同样在当地运营的其他海外航空公司的员工那里，听到了这样的话。

“现在市民都被封锁在家里，在这样的情况下，中国政府怎么可能容许大量的外籍人士在大白天，大张旗鼓地回国呢？”

这一预测不幸而言中。包机的起飞和到达均被限制在深夜。

第 1 趟包机到达武汉是在 28 号的 23 点以后。大厅里聚集了 200 多名日本人，还有同样乘坐美国包机回国的美国人，当时是人头济济。但或许是中国政府担心传染会有所蔓延，当时只在检疫和出境关口各安排了 1 名工作人员。乘客们办理出境手续所需时间长得难以想象。“

而且，出于疫情防控的理由，机场的空调也被关闭了。

“外面气温在零度以下，航站楼内最多也只有 5 度左右。我们向大家派发毛毯，帮助大家保暖。给我印象至深的是当时那么多乘客中，没有一个人表现出不耐烦的神色。大家都带着紧张的表情，默默地排队等待。”

从这第 1 趟包机开始，一连 3 天飞了 3 趟包机。这 3 天期间，鹤川的睡眠时间加起来也只不过 3 个小时左右。

“我忙着在机场送走乘客，另外还要跟当地的检疫及海关工作人员协调，那其实也非常不容易。但我发现，人其实不睡觉也能挺过去呢。或许当时是全力以赴、高度紧张吧。”

我还亲眼目睹了让人心堵的场景。

“乘客在登机前需要测量体温，一旦发现有发烧，中国的检疫人员就不会批准他登机。有的人马上就要登机了，想着终于能够回国，却又被叫回去了。他们低着头，缓缓离开队列的背影看上去是那么落寞。”

同样是在登机口，也有难忘的温馨体验。

“乘客们在登机时跟我打招呼，给了我许多温暖。有人问我‘你不回国吗？’我回答说‘我还有工作呢。’对方就会露出吃惊的神色。然后对我说：‘一定要保持健康，活着回来哦。’这样的话语当时听来……真的是万千思绪一下子涌上心头。”

第 1 趟包机出发后的第 18 天，也就是 2 月 15 日深夜，最后一趟包机离开了武汉机场。这次航班上也有鹤川的身影。

“我没法感到开心，也无法松一口气。虽然我的下属们是湖北省人民，但我扔下他们临时回国了，我不知道自己独自回国这究竟好不好……我是带着很多遗憾回国的。”

那段时间每天都没有充足的睡眠，然而心情却持续保持亢奋的状态，以至于在飞机上也丝毫没有睡意，不知不觉迎来了黎明，飞机飞到了日本的上空。

“我不经意地将目光投向窗外，看见了无比美丽的富士山。我无数次乘坐飞机，也有很多次从飞机上眺望过富士山……但那种突如其来的激动心情，还是第一次体会。”

鹤川凝视着在朝阳中熠熠生辉的富士山，轻声说道。

“我回到日本了啊。”

在包机航班的任务结束后，竹野还是在同一个部门工作。即使工作内容没有变化，但她说“我感到跟以前相比，自己的心情发生了变化。”

“我再次强烈地感受到航空公司作为公共交通机构的使命。自那以后，即使飞机因为新冠疫情而没法起飞，年轻的同事们感到不安，我也会告诉大家，我们作为公共交通机构正在为社会做贡献，并不断地鼓励他们。”

而同年 9 月回到武汉的鹤川于次年的 2021 年春季，工作有了调动。目前他在成田机场工作。

“经常有人问我：‘你经历了那么大的困难，以后还想去海外工作吗？’我总是不假思索地回答‘是的！’。那一段经历是如此珍贵，我从中获得了成长，这是值得我自豪的。”

在鹤川和竹野两人温和的笑容中，我似乎看到了完成使命的人所特有的矜持。

Photography / Makoto Kajiya, Reporting, writing/Takeshi Nakamoto　撮影：加治屋诚、撰稿、采访：仲本刚

"These were extraordinary days for all of us. But the experience made me realize that airplanes only fly with the support of many people." (Ms. Takeno)

"那段日子每一天都那么不同寻常。但是通过那段经历，我重新又感受到，一架飞机要飞起来，必须要有很多人的支持。"（竹野）

to charter flights to Wuhan, the entire company was shocked into action. Everyone came together to make the operation possible."

Ms. Takeno recalls events with a note of pride in her voice. On the morning of January 27, the day before the first flight to Wuhan departed, she was informed by her supervisor upon arriving at her office in Haneda Airport: "We'll be working late today, due to the chartered flight arrangements."

"I worked late into the night on January 27 loading a large quantity of masks, gloves and other relief supplies to be transported to the area. I also issued boarding passes at Haneda for all passengers scheduled to board the first flight, because the airport in Wuhan was understaffed."

The chartered flight was originally scheduled to depart Haneda in the early hours of January 28. The flight to Wuhan takes 4 to 5 hours, meaning it would arrive in Wuhan in the afternoon, pick up the returnees and return to Haneda the same evening. At least, that was the plan.

Ms. Takeno recalls the scene: "Before dawn on January 28, we were informed that the first flight would not be departing as scheduled. The staff who worked through the cold night to load the plane were bitterly disappointed."

In Wuhan, Mr. Tsurukawa heard the following from an employee of another international airline that operates in the area: "It's hard to imagine that the authorities, who are keeping their own citizens under lock and key, would be willing to move foreign residents *en masse* during daylight hours and fly them back home."

That prediction proved to be right on the mark. Chartered flights were to arrive and depart only late at night.

"The first flight arrived in Wuhan just after 11 PM on January 28. The lobby was crowded with about 200 Japanese and Americans boarding a different chartered flight to the United States. But the Chinese authorities, perhaps fearing the spread of infection, had assigned only one person each to both quarantine and immigration. The departure procedures for our passengers took a long, long time."

What's more, the heating in the lobby had been turned off as a precaution against infection.

"It was below freezing outside, and probably five degrees at most inside the terminal. Blankets were handed out to everyone to help them keep warm. Impressively, not a single passenger showed visible irritation, despite the conditions. Everyone waited quietly for their turn, the tension palpable on their faces."

The first three chartered flights took off on three consecutive days from January 29, during which time Mr. Tsurukawa slept a total of just three hours.

"Dispatching passengers at the airport was hard enough, but coordinating with local quarantine and customs officers was truly a Herculean effort. People can somehow function without sleep, after all, can't they? My emotions simply went into overdrive."

Mr. Tsurukawa witnessed some scenes that were hard to watch.

"Passengers had their temperatures taken before boarding, and if any fever was detected, the Chinese quarantine officer would not allow them too board. Some were called back just before boarding, just as they were finally ready to return home. They looked so desperate as they left the line, hunched over and trudging slowly away."

But he also had a pleasant experience at that same boarding gate – one he'll never forget.

"I received many words of encouragement from our passengers as they boarded the plane. Some of them asked, 'Aren't you going home?' and were surprised when I answered, 'I still have work to do.' They told me, 'Please come back alive and well.' Those words, they really moved me."

Late at night on February 15, eighteen days after the first chartered flight was dispatched, the last plane took off from Wuhan Airport. Mr. Tsurukawa was on board.

"I wasn't necessarily happy or relieved. I lived in Hubei Province, and I had to leave my colleagues behind. I returned reluctantly, unsure if it was really okay for me to go home alone."

Having endured many days without enough sleep, Mr. Tsurukawa somehow remained in high spirits, and before he knew it, the plane was entering Japanese airspace.

"As I looked out the window, I saw a majestic Mt. Fuji. I've been on countless flights and have seen Mt. Fuji from the air umpteen times, but this feeling was a first."

Gazing at Mt. Fuji glittering in the morning sun, Mr. Tsurukawa whispered, "I'm back, in Japan. I'm home."

After the chartered flight operation was complete, Ms. Takeno remained in the same department. While the nature of her work has not changed, "My feelings about the job have changed considerably," she says.

"That operation is a reminder of our mission as an airline and national carrier. Planes were subsequently grounded as a result of the COVID-19 pandemic and many of my junior colleagues were anxious. In an attempt to boost their morale, I would tell them, 'Remember, we're contributing to society as a national airline carrier.'"

Mr. Tsurukawa, meanwhile, returned to Wuhan in September of 2020, but was transferred again in the spring of 2021. He is currently working at Narita Airport.

"People often ask me, 'That must have been so challenging; do you really want to work overseas again?' But I'm proud to have had such an unforgettable experience, one that gave me an opportunity to grow as an individual."

Mr. Tsurukawa and Ms. Takeno's amiable smiles offer a glimpse of the pride felt on accomplishing such a crucial mission.

On the tarmac of Haneda Airport Terminal 2, airplanes stand in orderly fashion awaiting departure, gleaming in the soft light of a balmy early winter day. A man in a suit who had been peering at the peaceful scene outside turns to me, speaking with passion.

"This was my first experience of a city-wide lockdown – and it was the first time I'd had to dispatch chartered rescue flights. I was nervous, of course, but to be honest, I was like a man in a trance."

In January and February 2020, ANA operated five chartered flights at the request of the Japanese government to rescue Japanese nationals from Wuhan, the initial epicenter of the COVID-19 outbreak. ANA was instrumental in bringing 828 Japanese nationals and their family members back to Japan. Masahiro Tsurukawa (currently General Manager of Operations Management, ANA Narita Airport Services), head of the ANA branch office in Wuhan at the time, was in charge of boarding on the ground.

"My sole objective was to return everyone to Japan as soon as humanly possible."

Meanwhile, at the other end of Terminal 2, in Haneda's new satellite terminal, a woman stands looking around the lobby where people are waiting to board domestic flights, a quiet smile on her face.

"I'm usually in charge of international flights. I haven't set foot in here since that day."

Mami Takeno is Business Promotion Section Manager in the Passenger Services Department of ANA Airport Services. In January 2020, she was one member of the ANA team preparing to receive the chartered flights from Wuhan. The satellite terminal where she is now was being used as a makeshift international terminal to welcome the flights.

"We had a briefing with personnel from the relevant ministries and agencies right here, where we're standing. The immigration counter was set up in front of gate 47 over there, and behind that, at gate 48, was the customs office. But this is what the satellite terminal usually looks like – quiet and peaceful. I hope it stays this way for a long time to come!"

This unprecedented emergency operation was undertaken while the origin of the novel coronavirus was still unknown. Ms. Takeno and Mr. Tsurukawa spoke with us about their experience on the front line at airports in Wuhan and Tokyo.

China's lockdown, out of the blue

"The first case of COVID-19 struck the year before, in early December 2019. A local Chinese staff member whose husband is a medical professional told me, 'There's a strange disease going around, and it's starting to spread.' I didn't think much of it at the time. I never imagined the situation we saw unfold would ever happen."

Mr. Tsurukawa recalls how it all began. Soon, there were whispers throughout the city that a mysterious pneumonia-like infection was spreading. As New Year approached, Chinese authorities announced they had discovered cases of "a new strain of pneumonia." At this point, however, case numbers were still very low, and the authorities remained mostly quiet, saying only that the disease wasn't communicable from person to person. That situation changed dramatically on January 23 at 5 AM. When Mr. Tsurukawa awoke in his dormitory and looked at the smartphone on his bedside table. Instinctively, he cried out, "Wha—! What is this?!"

The two Chinese characters on his smartphone screen read *fēng chéng* (lit. "closed fortress"), or "lockdown."

"I had only been in Wuhan since April of the previous year and my Chinese was not very good, but I understood what the characters meant. I rushed to contact a local staff member, who told me that the city would be locking down from 10 AM, and that I would not be able to go to work. This is when I knew we were in trouble."

There was a flight from Wuhan to Narita that day, too.

"Takeoff was scheduled for 9:30 AM, and my only thought was to get that flight off the ground, at all costs. There were passengers booked, after all."

In 1989, Mr. Tsurukawa joined the New Tokyo International Airport Business (now ANA Narita Airport Services), which is responsible for ground support at Narita Airport. Wuhan was his first overseas assignment.

1989 年，他加入了“新东京空港事业（现名：ANA 成田机场服务）”这是一家为成田机场提供地面支持的公司。首次赴任海外便来到了武汉。

Once the city was sealed off, all public transportation in the city would stop. Even if the flight managed to depart on time, it was clear that Mr. Tsurukawa and his fellow staff members would have difficulty returning home. Several told him that they could not get to work. He spent every minute trying to persuade them and finally succeeded in securing the necessary personnel for the departure.

Thanks to his efforts, the flight to Narita departed safely, minutes before Wuhan was locked down. That evening, as Mr. Tsurukawa was making the rounds of the deserted airport lobby, he was stopped by a man in military uniform. He presented his ID but was issued a strict order: "Go home. Now!"

"I made it home thanks to a calculated risk by my resourceful driver, who had waited for me in the airport parking lot. We drove down a road that is usually jammed with traffic. It was completely empty. I was stunned."

Many Japanese companies operate in Wuhan. When the lockdown began, there were several hundred Japanese nationals living in Hubei Province, where Wuhan is located. Mr. Tsurukawa and his colleagues, who had been forced to stay home, were contacted privately by the Chamber of Commerce and Industry, which helps govern local Japanese companies.

"Can you find a way to fly people back to Japan?"

The Ministry of Foreign Affairs approached ANA around the same time, and ANA was chosen to oversee the operation. Mr. Tsurukawa began planning with Japanese Embassy officials in China, who had rushed to Wuhan from Beijing.

One airline's mission

"I don't remember the exact date, but I do remember that when we received the news that ANA was going

A New Ambitious Story
Wings Style
翼之流仪
Vol.5

"We had to get everyone back to Japan as soon as possible."

"我只有一个念头：
要尽快把大家送回日本"

828 Japanese return home on chartered flights from Wuhan

Behind the scenes of an emergency operation

828名日本国民通过包机从武汉回国
紧急任务的舞台背后

January 28, 2020 – breaking news: "Japanese nationals return from Wuhan." ANA operated the chartered flights that brought Japanese nationals home from Wuhan, China, where COVID-19 was spreading quickly. Two frontline workers, one in China, the other in Japan, recall their experience at a time when the origin of COVID-19 was still unknown.

2020年1月28日。一条新闻快信播出："日本国民从武汉回国"。从新冠病毒迅速蔓延的中国武汉接回国民的航空公司正是全日空。当时，这种传染病的真实面目还是个谜，我们请在中日两国的第一线负责这个任务的两位来回顾一下当时的情况。

"The Szechuan cuisine here is truly magnificent."

"这里的川菜每一道都如此出色，好吃得无可挑剔！"

Piao Xiang (Roppongi Hills branch)
6-10-1 Roppongi, Minato-ku, Tokyo
(Roppongi Hills Mori Tower West Walk 5th floor)
TEL: 050-3177-4848

老四川 飘香小院（六本木新城店）
东京都港区六本木 6–10–1 六本木新城森大厦 West Walk 5F
tel：050–3177–4848

I enjoy savoring sweet locally grown apples and aroma of the pie crust. The owner's specially brewed coffee goes great with the pie. He carefully prepares each cup of drip coffee using a paper filter. I hope you experience this wonderful flavor combination if you're ever in the area.

The second place I would like to recommend is a Szechuan Chinese restaurant called Piao Xiang that has several branches in Tokyo. As a good friend of the owner and chef, Yoshiki Igeta, I have been coming here for a long time. All of his Szechuan dishes are fantastic, and my favorite is definitely the yodare-dori: thin-sliced cold chicken with Szechuan spicy sauce. It is so mouth-wateringly delicious that I worry about drooling when taking a bite. Just thinking about it makes me want to go to the restaurant right now!

A new kabuki adaptation of *Final Fantasy X* is scheduled to begin soon. The production is based on the popular video game, which I'm a big fan of. The play will be a full-length feature. During such a long performance, we actors must replenish our energy by eating protein-rich food. If I could just eat that wonderful dish of Sichuan chicken, I bet I could put on the best performance ever! If we complete the production without issue and I'm afforded another holiday, I will soon be off again, to Shirakami-Sanchi and Café Buruman.

歌舞伎演员们因公演经常巡回日本全国甚至海外。本专栏每个月将介绍征服他们味蕾的两道"无上喜悦"之菜式。第五期的主角是同时活跃在电视剧和电影领域的这一位。

自从数年前我因某个电视节目造访白神山地以来，其魅力就完完全全地征服了我。一有休假，我就会飞到青森，在郁郁葱葱的山毛榉树原生林中得到疗愈。我有缘结识了被称为"又鬼"的传统猎人以及导游，他们带我进入山的深处，还教我如何在溪流中钓鱼。接触白神山地的大自然，对于现在的我而言，是最能调节身心的方式。

这次想介绍的是白神山地的导游带我去的一家餐厅，它位于弘前城前，名叫"可否屋 葡瑠满"。这家店气氛非常好，咖啡也极其美味，但我必点的是苹果派。店主每天亲自用烤箱烘烤而成。不添加任何多余的东西，当地出产的苹果口味清甜，跟烤得焦香的派皮相得益彰、堪称绝品。建议您在品尝这款极品苹果派时，再点一杯店主的特制咖啡，咖啡采用滤纸滴漏的方式，一次只做一杯。如果您有机会去那里旅行，绝对要尝试这顶级搭配。

我要介绍的另一家店是在东京有数家分店的川菜名店——"中国菜 老四川 飘香"。我跟这里的店主兼主厨井桁良树相交甚笃。也因为这层关系，多年来我一直是这里的常客。井桁师傅烹制的川菜道道出彩，但我最喜欢的还是"口水鸡"。要说它味道有多好呢，别说是流口水了，吃一口，我甚至担心自己的下巴都会掉下来。说了半天可把我馋的，真想现在就跑过去吃。

即将上演的《新作歌舞伎 最终幻想 X》采用了我个人也非常喜欢的经典热门游戏为题材，这部新作品预定将成为一部巨作。像这种时间较长的剧目，我们演员必须补充能量，比如在演出间隙里摄取高蛋白的食物等。若是能在这种时候吃到"飘香"的口水鸡，我相信表演会充满能量（笑）。如果本剧能顺利迎来终场演出……。那么大功告成之际，我打算马上飞往白神山地和葡瑠满。

Two Major Attractions
我的“两块招牌”
vol.5

Illustrations: Motoharu Yano
插画：矢野元晴

SYUCHAKUSHIGOKU NI SABURAHEBA

Each month in this series, we feature two restaurants serving delicious dishes highly recommended by kabuki actors who not only perform across Japan but also internationally. In this fifth installment, we spoke with Onoe Kikunosuke, a kabuki actor who has also played many roles in television dramas and movies.

歌舞伎演员们因公演经常巡回日本全国甚至海外。本专栏每个月将介绍征服他们味蕾的两道“无上喜悦”之菜式。第四期将由代表上方歌舞伎的人气演员来介绍。

Onoe Kikunosuke

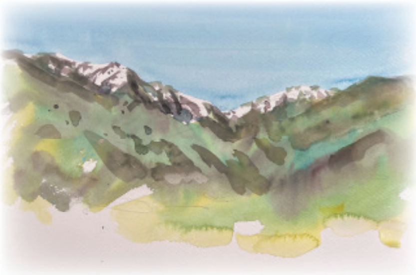
Onoe Kikunosuke was born in Tokyo on August 1, 1977. His father is kabuki actor Onoe Kikugoro the Seventh and his eldest son, Onoe Ushinosuke the Seventh, is also a kabuki actor. He inherited the stage name Onoe Ushinosuke the Sixth in 1984 for his debut performance in the play *Ehon Ushiwakamaru* at Tokyo's Kabukiza Theater. In 1996, he assumed his current name, Onoe Kikunosuke the Fifth, in his role as Benten Kozo in the play *Benten Musume Meo no Shiranami*. He is also involved in the planning and production of a new kabuki adaptation of Final Fantasy X, which will open from March 4 at the IHI Stage Around Tokyo, and will play a starring role.

尾上菊之助

1977年8月1日出生于东京。父亲是第七代尾上菊五郎，长子是第七代尾上丑之助。1984年，在歌舞伎座《绘本牛若丸》剧目中继承了第六代尾上丑之助之名，首次登台演出。1996年在歌舞伎座《弁天娘女男白浪》剧目中饰演弁天小僧菊之助一角，继承了第五代尾上菊之助之名。下个月4日将迎来《新作歌舞伎 最终幻想X》（IHI STAGE AROUND TOKYO）的第一天演出，他不仅担任主演，还参与策划和效果等。

I was attracted to the Shirakami-Sanchi World Heritage Site after visiting several years ago for a television program. Now whenever I have the chance for a holiday, I head to Aomori Prefecture to relax among the verdant beech trees in the area's primeval forest. Making friends with local hunters and guides has allowed me to travel with them deep into the mountains and learn how to fish in the streams. Encountering nature in Shirakami-Sanchi rejuvenates me more than anything else.

The first place I would like to recommend in this article is Café Buruman, which one of the mountain guides took me to. It is situated across from Hirosaki Castle in the city of Hirosaki, Aomori Prefecture. This café has a pleasant atmosphere and very tasty coffee, but I always order the apple pie. The owner bakes it fresh every day. Made without any superfluous ingredients, it is a real delicacy;



Café Buruman
17-39
Shimoshiragane-cho,
Hirosaki-shi, Aomori Prefecture
TEL: 0172-35-9928

可否屋 葡瑠满
青森县弘前市下白银町 17−39
tel：0172−35−9928

(Top) Osteria Cantabile da Ciaoro serves hors d'oeuvre made of persimmons marinated in lemon, salt and extra virgin olive oil, wrapped in prosciutto. The sweetness of the soft persimmons and saltiness of the prosciutto are an unbeatable combination.
(Middle) Pecorino cheese rests beneath fried persimmons on this thick and tasty bruschetta served at Arco. It's very satisfying and filling. Once persimmon season ends, other seasonal fruits are used in this dish.
(Bottom) Osteria Cantabile da Ciaoro serves an original dessert of mascarpone ice cream with persimmons sauteed in aromatic Marsala wine (a fortified wine from Sicily). This unique combination of warm persimmons and ice cream is absolutely delightful.

（上）"OSTERIA CANTABILE de CIAORO"的开胃菜，用意大利生火腿裹着柿子食用，生火腿先用柠檬、盐和特级初榨橄榄油腌制过。甘甜、入口即化的柿子和带有咸味的生火腿真是独一无二的绝佳搭配。
（中）瞧这个厚度！这是在"arco"吃到的意式烤面包 bruschetta。佩科里诺奶酪从带有烤痕的柿子下面探出头来。吃的时候就像吃牛排那样张大口，真是令人心满意足的一道菜。等到柿子过季后，会换成用其他的时令水果来制作。
（下）来自"OSTERIA CANTABILE de CIAORO"的甜点，用芳香的马萨拉葡萄酒（西西里岛的加强葡萄酒）煎的柿子，配上马斯卡彭冰淇淋。热的柿子和冰淇淋这种搭配只有在餐厅才能品尝到，真是无比幸福的一刻。

Sources: *Ketteihan Nihon Yokai Taizen* (an encyclopedia of Japanese monsters) by Shigeru Mizuki (published by Kodansha Bunko); *Tohoku Kaidan Zenshu* (a book of ghost stories from Northern Japan) by Norio Yamada (published by Araemishi); *Kodomo notomo Nenshoban Tantan Kororin* (a children's book about Tantan Kororin) by Masako Numano (published by Fukuinkan Shoten); *Tozai no Shokubunka* (a book about food culture in the Eastern and Western regions of Japan) by Sadao Onishi (published by Nosangyosan Bunkakyokai)

出典：《决定版 日本妖怪大全》水木茂（讲谈社文库）/《东北怪谈全集》山田野理夫（荒虾夷）/《儿童之友年少版 坦坦可洛林》沼野正子（福音馆书店）/《东西之食文化》大石贞男（农山渔村文化协会）

Searching for persimmons with an eye out for spirits

Tantan Kororin are surprisingly unknown – persimmons left unharvested that turn to spirits, wandering through town throwing the fruit around. When the legend began remains a mystery, but some claim it originated in Sendai's Nijunin-machi district east of Sendai Station. Today, there aren't any persimmon trees left here. On the sides of the surprisingly wide street running through the district, I saw a few trees scattered among a few temples and a school, but unfortunately, none of them were persimmon trees.

Sei Ouchi, a mountain travel writer born in Sendai, told me that persimmon trees were grown in olden times to prepare for famines. Yet today, since the fruit can be purchased commonly and cleaning up persimmons that fall to the ground is a lot of work, there are hardly any trees left in central Sendai and they aren't being newly planted. To my disappointment, I could not find any legendary persimmon spirits here, so I changed my plan and began a search for restaurants with persimmon on the menu.

Near the main street through Nijunin-machi, I found an Italian restaurant called Arco on the east side of Sendai Station that serves bruschetta topped with persimmons (right page center photo). The pasta is handmade at the restaurant, and I was also impressed by the hearty tortellini soup here. On the west side of the station, I found another Italian restaurant, Osteria Cantabile da Ciaoro, serving cuisine with persimmons. It turns out that in Italy the Japanese word for persimmons, kaki, is largely understood. The restaurant was newly opened as a sister restaurant of the popular Trattoria Ciaoro in Meguro, Tokyo, and is well known for lasagna. During my visit, I enjoyed two dishes that the chef learned to make while studying in Italy (right page top and bottom photos). Seasonal ingredients from Miyagi are featured on the menu, and acqua pazza – steamed locally caught fish – is served around February. I enjoyed the rich, vibrant Italian cuisine at both restaurants, including dishes that skillfully brought out the distinctive flavor of Japanese persimmons. With the fruit enjoyed in many forms throughout the area, maybe the persimmon spirits don't need to come out anymore?

Still hoping to see some persimmon trees, I rented a car and headed south for the town of Marumori (see previous page). As I left the city and drove along the steep mountain roads, I finally began seeing some persimmon trees, much to my relief. Seeing the brown trees and bright orange fruit reminded me of why this scenery is so evocative of Japan. Dried soft persimmons grown in this area are available starting early January.

After searching throughout Sendai and strolling around Marumori, my trip made me realize how large Miyagi really is. Once again, I owe it all to the Japanese folk monsters.

东奔西走寻找柿子
天涯海角追赶妖怪

不得不说，柿树精坦坦可洛林的知名度相当低，这一点很让我们感到意外。如果柿子没有被采摘，继续留在树枝上的话，它们就会变成妖怪，在镇上一边扔柿子一边列队行走。这个传说起源于何时是个谜，但据说其发祥地是仙台站东侧的十二人町。然而今天这里已经没有柿子树了。在这条宽得出奇的道路两旁有几座寺庙和学校，那里也生长着一些树木，但遗憾的是我们没有找到任何此行的标的物——柿子树。

出生于仙台的山地旅行作家大内征先生告诉我们，柿子树曾经是饥荒时期宝贵的食物来源，但近年来，由于柿子已经可以轻易买到，清理掉落的果实也是一项费功夫的活计，因此在仙台的中心地带不再保留柿子树，人们也不再种下新的柿子树苗……这番话让我感到沮丧，因为现状是柿树精坦坦可洛林即使想现身，也无法出现了，于是我决定重新安排，寻找使用柿子做菜的饭店。

我在仙台站东侧发现了一家名叫“arco”的意大利餐厅，它就在十二人町大道的附近，这里提供用丰富的柿子做成的烤面包（右页中）。意大利面全都是手工制作，个头小小的意大利饺“tortellini”使用的汤汁滋味浓郁，给我留下了深刻的印象。另一家我在车站西侧造访的餐厅也是做意大利菜的。在意大利，来自日本的柿子按日文发音被直接叫作“Kaki”，并被用作一种食材。位于东京目黑的著名餐厅“Ciaoro”在仙台新开了一家姐妹店，名字叫作“OSTERIA CANTABILE de CIAORO”，招牌菜是意大利千层面，我在此品尝了厨师在意大利学习时曾经做过的两道菜（右页上下）。店内菜式使用了大量宫城的食材，从 2 月左右开始，可以品尝到用本县产的鱼贝类制作的意式水煮鱼。这两家店都充分发挥了日本产柿子的特点，味道丰富且富于层次感。这么说来，这里也不会有一睹柿树精坦坦可洛林露面的机会了。

我非常想看看柿子树，于是从仙台租了一辆车，前往南部的丸森町（前页）。驶出市中心，沿着一条有点陡峭的山路行驶，开始看到零零落落的柿子树，这让我由衷地松了一口气。褐色的柿子树干和醒目的橙黄色柿子让我再次意识到，这正是与日本天然景观相称的植物。本地制作的柿子干入口即化，从1月上旬开始出现在市场上。

我在仙台寻找柿子树，又继续赶路来到了丸森町，这次旅行让我意识到了宫城县的辽阔。这次也要感谢妖怪。

Persimmons remain on the branch in Marumori. Maybe they want Tantan Kororin to come for a visit?

丸森町的柿子树上还留着柿子。我有点期待、又有一点害怕看到柿树精（坦坦可洛林）呢。

them as persimmons with many limbs, similar to how they appear in picture books illustrated by Masako Numano.

Oddly enough, when I talked with people in Sendai, no one seemed to have heard of this legendary spirit. I asked friends and acquaintances in the city, as well as people at restaurants, a library and a tourist information center – but no luck. Because there are so few persimmon trees in people's gardens today, perhaps the Tantan Kororin have disappeared from towns and cities, and are only known by people who want to illustrate them?

变幻自在、神出鬼没
柿子的妖怪在哪里?

在日本，有许多以各种身份出现的妖怪，它们不断激发着创作者的创造力。最有名的河童和天狗是典型的例子，熊本县的阿玛比埃也让人记忆犹新，它在新冠疫情蔓延之际，风靡了全日本。据说起源于仙台的柿树精（坦坦可洛林），也在水木茂等漫画家和插画师的笔下，呈现出大胆变化、不拘一格的外貌。

相传“如果你一直把柿子留在树枝上，坦坦可洛林就会找来，把柿子在镇上四处乱扔”。这个妖怪的诞生应该是为了教育世人，不要丢弃果实，要感恩并好好收获。有些传说中将其描绘成僧人的模样，因此它往往被画成跟人差不多的样子。而作者将其制作成从柿子的身体里伸出许多只手的造型，这跟画书作者沼野正子的解释十分接近。

奇怪的是，当我在仙台四处打听时，根本没人知道这个妖怪。甚至在饭店、图书馆和旅游信息中心也没有，更不用说当地的朋友和熟人了。如今，人们庭院里的柿子树数量急剧减少，柿树精是否只降临在那些想画它的人身边，在人世间难觅栖身之地了呢?

I was given a tour of the area by Tetsuro Yashima, manager of Inaka Michi no Eki Yashimaya. Floods have damaged the area many times, but people continue living here, and the trees still produce fruit. This photo was taken at the end of the persimmon growing season. Bamboo shoots are also harvested in the area each spring.

“田舍道之驿 八岛屋”的店主八岛哲郎带我们参观四周。虽然这个地区曾多次遭受洪灾，但人们继续生活在这里，树木也依然顽强地结出果实。拍摄时柿子的季节即将结束。一到春天，这里又会因收获竹笋而热闹起来。

Exploring 47 Japanese Folk Monsters

日本47妖怪散步

Interviews, content and sculpture by **Yuka Morii**
Photographs by Hidetoshi Hara
Edited by Sakurako Nakano

采访·撰稿·美工 **森井由佳**
撮影 原 Hidetoshi
编辑 中野樱子

5

Tantan Kororin
Persimmon Tree Spirits

Miyagi Prefecture

According to an old legend, Tantan Kororin (persimmon tree spirits) came from Sendai's Nijunin-machi district (now located on the east side of Sendai Station). In late autumn, unpicked persimmons left on the trees turned into spirits dressed as monks or priests who wandered about town tossing around persimmons, leaving the sweet scent of the ripe fruit.

A bountiful harvest

柿树精（坦坦可洛林）宫城县

这是流传在仙台站东侧十二人町的柿树精妖怪。深秋时节，如果有未采摘的柿子留在树上，相传它们会变成僧人或祭司，在镇上列队游行，一边向人们抛洒柿子，并在四处撒下香甜的排泄物。

丰年满作

From the more than 6,000 yokai (folk monsters) believed to inhabit every corner of Japan, Morii selected one for each prefecture, which she then sculpted based on a unique interpretation of the folklore. Welcome to the Night Parade of One Hundred Flying Demons, where ghosts lure you into your journey.

相传日本全国各地共有六千多只妖怪，
从各都道府县分别选出一只妖怪，
经过独到的诠释制作成实物。
欢迎您接受妖怪的邀请，
踏上飞天百鬼夜行之旅。

Yuka Morii is a sculptor, character designer, and author of numerous publications. Among her many projects, she has illustrated Pokémon trading cards and designed popular children's toys.

森井由佳：立体美术家 / 角色设计师　曾担任宝可梦卡片游戏的绘画、面粉粘土全套“Nen Do！”的监制等。著有多本书籍。

Persimmons are grown in the town of Marumori, about 50 kilometers south of Sendai. Nearby, at a roadside shop called Inaka Michi no Eki Yashimaya, I saw peeled persimmons hanging out to dry. Their lovely shape is maintained by being hung horizontally rather than vertically. The shop holds workshops on drying persimmons several times in November, and sells the dried fruit starting in early January every year.

从仙台往南约50公里处的丸森町，有一个出产柿子的地方。在“田舍道之驿 八岛屋”，一排排精心削去果皮的柿子晾晒在外面，非常壮观。听说不只是纵向把柿子吊起来，横向也连接起来的话，果实就能凌空晒成美丽的形状。这里在11月份举办数次柿子干制作班。并从每年1月上旬开始出售柿子干。

They can transform and appear anywhere, but where are the persimmon spirits now?

Japan is home to countless monsters and ghosts of different shapes and sizes, providing creators with an endless source of ideas. A swamp creature called kappa and the long-nosed goblin tengu are well-known examples, but during the COVID-19 pandemic, a plague-fighting sea monster from Kumamoto Prefecture called Amabie went viral on social media, even outside of Japan. These Tantan Kororin persimmon tree spirits hailing from Sendai, Miyagi have also been depicted in many ways by manga artists and illustrators, including the late manga artist Shigeru Mizuki.

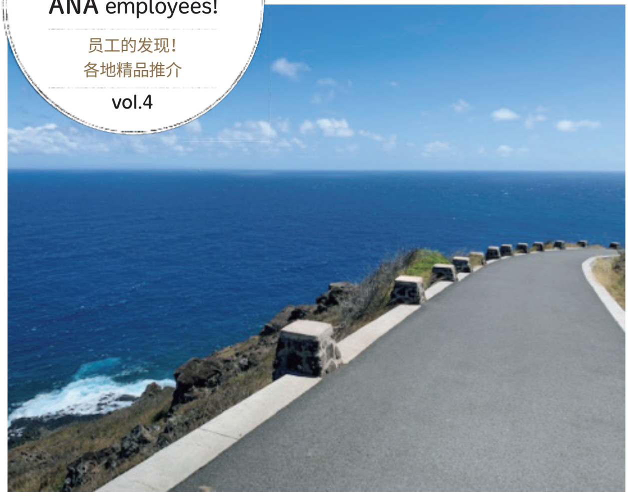
People claim that if ripe persimmons were not picked from their trees, these spirits would throw the fruit all over town. This story was probably invented to teach people to be grateful for the harvest and to not waste any of the fruit. According to legend, these spirits appeared as monks and were mainly depicted as having a human body. I sculpted

Amazing “Local Premium” finds by ANA employees!

员工的发现！各地精品推介

vol.4

Overseas edition 海外篇



Refresh your mind and body along the Makapu’u Point Lighthouse Trail

玛卡布灯塔小径的壮丽景色 让身心焕然一新

Honolulu 火奴鲁鲁

The Makapu’u Point Lighthouse Trail is a popular hiking course in the Kaiwi State Scenic Shoreline park. Although known as a trail, it is actually a paved walking path, so no need to worry about a tough hike. The path offers spectacular views of the Hawaiian coast, and visitors can relax and enjoy the pleasant, refreshing ocean breeze. From January to March, you might also be able to see whales. This fantastic spot is relatively unknown among tourists.

玛卡布灯塔小径是位于夏威夷火奴鲁鲁的“Kaiwi 州立风光海岸线”公园内的人气健行步道。虽说是健行步道，但路面经过铺设，大可以放心。您不仅可以欣赏到夏威夷的壮丽景色，宜人的海风还将带走身心的疲惫，令人神清气爽。从 1 月到 3 月，还可以在海上看到鲸鱼的身影。目前这里的游客还比较少，是不容错过的绝佳景点。

Yoshihisa Imaizumi ／He is responsible for ground staff and flight operations support at Honolulu’s Daniel K. Inouye International Airport. Yoshihisa enjoys traveling, and is even known for quick one- or two-night trips to Europe or Asia.

今泉 尚久／在火奴鲁鲁的丹尼尔·健·井上国际机场担任地勤和航行支持。爱好旅行，有时会抽出一两天时间速去速回，前往欧洲及亚洲旅行。

Savor breakfast at a popular local restaurant in Taiwan

Taichung 台中

在当地的人气早餐店品尝台湾特色的早点！

I recommend breakfast at the Changjiang Breakfast Restaurant in Taichung, a city in central Taiwan. It’s a local favorite that has long lines of customers every day. The restaurant is well known for its round baked bread called *shaobing* and deep-fried dough called *youtiao*. Although they are delicious on their own, you can make them taste sweeter by eating them together with soybean milk. Another popular item is the steamed meat buns, which are freshly made every day and deliver a savory juiciness with every bite.

位于台湾中部台中市的“长江早点”是当地人气超旺的早餐店，每天都大排长龙。特别推荐这里的早餐。招牌是叫“烧饼”的烤制面食和叫“油条”的油炸面食。搭配豆浆一起食用，口味甘甜更加…可口，绝对…好吃哦！每天在店内从面团开始手工制作的肉包子也很受欢迎，一口咬下去，肉汁四溢。

Minori Chang ／She handles sales and marketing at ANA’s Taipei branch. Her hobbies include photography and exploring places to eat tasty food.

张纯玉／在台北办事处负责市场营销。爱好是摄影和四处寻访美食。

Enjoy great views and wonderful food at a popular department store

Frankfurt 法兰克福

可尽享风景与美食的老字号百货店

While Frankfurt is a global financial hub, it also has well-preserved buildings from medieval times in the historic old town area. When in the area, I recommend visiting the top floor of Galeria Frankfurt an der Hauptwache, a popular department store. Few people realize that it provides an excellent view of the beautiful old town. There are also many restaurants and cafés, making the department store a great place for enjoying great views and fine cuisine.

德国法兰克福是世界顶级的国际金融城市之一，同时也是一座保留着中世纪城市景观的美丽城市。我特别想推荐的是德国著名百货公司的法兰克福分店“GALERIA Frankfurt an der Hauptwache”的顶层。这里不仅是一个鲜为人知的瞭望景点，可以欣赏法兰克福美丽的街景，还设有餐厅和咖啡厅，能同时享受风景和美食，绝对值得一去。

Haruka Masutani ／She travels to Germany about twice monthly as a cabin attendant on flights to Frankfurt. During her stopovers, she enjoys visiting cafes and going for walks and runs. She is also involved in community development projects.

升谷 遥香／空乘人员。负责法兰克福航线，每个月平均飞两次德国。停留当地期间，喜欢去寻访当地的咖啡店，也热衷于漫步观光和跑步。作为兼职，她还参与地区创生事业。

4K ULTRA HD
高画質
DOLBY ATMOS
高音質
GroupWatch
ペアレンタルコントロール

すべての作品が
見放題

Disney+
ディズニープラス

月額990円(税込)

※ プラットフォームにより金額が異なる場合があります。© 2022 Lucasfilm Ltd.

Amazing "Local Premium" finds by ANA employees!

员工的发现!各地精品推介

vol.4

Everything from exquisite food to outstanding restaurants, secret scenic views and traditional delicacies—ANA Group employees from within Japan and around the world share their special local reviews.

从佳肴到顶级餐厅，从秘境到传统美食。
来自全球的全日空航空公司集团员工，
带来最真实的各地精品推介。

Fukuoka, Fukuoka
福冈县福冈

Fields covered in flowers at Uminonakamichi Seaside Park

海之中道海滨公园一望无际的花海!

In the city of Fukuoka, Uminonakamichi Seaside Park is a fun place for adults and kids alike. Covering around 350 hectares, this spacious park has a zoo, public square, cycling courses and day camp sites. The flower fields are particularly wonderful in every season. When the nemophila field blooms in April, the blue flowers extend far as the eye can see. From the park, visitors might also be able to see flights arriving at Fukuoka Airport, depending on the flight.

位于福冈县福冈市的海之中道海滨公园十分辽阔，面积约达 350 公顷，设有与动物互动的广场、自行车路线和日间露营地 . 大人小孩都能尽享其乐。其中特别想推荐给大家的是四季花卉美不胜收的花海。喜林草将在 4 月迎来盛开的季节，一望无际的天蓝色花海美得让人屏息。在公园内还有机会看到部分飞行路线中抵达福冈机场的飞机。

Ayaka Sakamoto ／ Working as ground staff at Fukuoka Airport, she is mainly responsible for respective area controllers and concierge services. In her free time, she enjoys long walks and leisurely seasonal activities.

坂本 彩夏／担任福冈机场的地勤。主要负责各地区的管控和礼宾业务。爱好散步，喜欢在感受自然中度过悠然的时光。

Takeo, Saga
佐贺县武雄

A rabbit missing from Tokyo Station found at a hot spring in Saga

本该在东京站的兔子怎么跑到佐贺的温泉胜地了!?

When Tokyo Station was renovated several years ago, reliefs representing the signs of the Chinese zodiac were restored on the domed ceiling of the Marunouchi wing. Only eight of the 12 signs, however, were present. The remaining four (the signs of the rat, rabbit, horse and rooster) were discovered inside the second floor of the Takeo Onsen Tower Gate in the city of Takeo, Saga Prefecture. Apparently, the station's designer, architect Kingo Tatsuno, played this trick to ensure that Tokyo Station would always be associated with Saga, his birthplace. Passing through the gate leads to an exceptional hot springs experience, and 2023, the year of the rabbit, is the perfect time to visit Saga.

东京站、丸之内站的车站大楼圆顶上的浮雕修复了其中 8 个生肖，但您是否知道另外那 4 个（鼠、兔、马和鸡）跑到佐贺县武雄市的武雄温泉楼门天花板上去了呢?出生于佐贺县的建筑家辰野金吾是该设计的负责人，其玩心跨越了时间，将东京站的标志与自己的故乡佐贺连接到一起。樱门再向前就是温泉了。今年是兔年，请务必前去造访。

Miwa Shibuya ／ A cabin attendant currently assigned to ANA's research department in Saga Prefecture, where she also plans a course about expanding horizons in Saga for young people. She enjoys going to hot springs and experiencing the sights of Saga on her days off.

涩谷 美和／空乘人员。目前被派往佐贺县工作。也负责面向佐贺县年轻人的"弘道"项目"弘道馆 2"的策划。休息天喜欢巡游温泉等，在发现和体验佐贺魅力的过程中感受到乐趣。

Semboku, Akita
秋田县仙北

An extravagant lunch garnished with seasonal flowers

用四季各异的鲜花点缀奢华的午餐拼盘

I love the lunch served at Kimoto Garden Café and Delicatessen in the city of Semboku, Akita Prefecture. The food is delicious and also a feast for the eyes, made with many locally grown fresh vegetables and wild plants, and garnished with flowers from the adjacent rose garden. Along with the aroma and texture of the ingredients, this lunch is truly a delight for all the senses. I recommend the restaurant's boxed lunches and side dishes, too. They also offer catering and delivery services.

我特别喜欢坐落在秋田县仙北市的"Garden Cafe & Delicatessen kimoto"提供的午餐拼盘。各种菜肴大量使用当地的新鲜蔬菜和山间野菜，不仅味道可口，还特别漂亮，因为他们使用相邻的玫瑰园里面盛开的花朵来作为点缀。芳香、口感……给您的五官带来全方位的享受。外烩、礼品配送、盒饭和熟菜均值得推荐。

Tsukika Kudo ／ While working as a cabin attendant, in April 2022, she began a side business in her hometown in Akita Prefecture promoting local attractions for Akita Television. She enjoys walking her dog and visiting hot springs in her spare time.

工藤 月花／作为空乘人员服务于航班的同时，自 2022 年4月起在当地秋田县兼职。被派往"秋田电视台"，负责宣传秋田的魅力。爱好是跟心爱的狗狗散步以及寻访各处的温泉。

ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER ™

www.anaskyweb.com

must deal with under pressure and time constraints.

When a flight is delayed or canceled, we need to adjust the schedule of flights departing from the destination airport. We demonstrate teamwork and professionalism in the winter months by handling these varying conditions while minimizing the delay to passengers and providing them with clear information.

Serving as professionals with a team spirit, our staff work to make sure flights are on schedule while maintaining the highest standards of safety and reliability so that passengers can reach their destinations smoothly and on time. As stated in the ANA Group Safety Principles, “Safety is our promise to the public and is the foundation of our business.” Everyone at ANA will continue to uphold this public mission to exceed the expectations of our passengers.

2020年1月左右，当时还只是一种未知病原体的“新型冠状病毒 ”在短时间内迅速蔓延。中国武汉在一夜之间突然实施全城封锁，应日本政府的要求，全日空从1月底到2月期间出动了5趟包机前往中国武汉。最后顺利地帮助滞留在湖北省并希望回国的所有日本国民及其家人共828人全部回到日本。

一眨眼3年过去了。目前还无法预测新冠疫情何时将完全结束，我们感到“与新冠共存 ”的意识已经成为日常生活的一部分。尽管对航空业不利的形势还在持续，但正是在这种情况下，我们也学到了宝贵的东西。

在武汉包机的运作过程中，我们的许多员工克服了自身有可能感染病毒的担忧，心怀强烈的使命感——作为日本的航空公司，要尽快让日本国民及其家人回到日本，奋不顾身地投入到工作中去。在城市全面封锁并实施交通管制的情况下，当地员工不顾家人的担心和反对，毅然前往武汉天河国际机场出勤；机组成员毅然登上相关航班提供服务；相关员工与中日两国政府方面紧密协调，以获取航班的飞行许可；还有员工为筹备机场和机舱内感染预防措施而殚精竭虑等，我感到，正是因为每一个人都全力以赴地履行了自身职责，为了完成共同的任务，作为“全日空团队 ”而团结合作，救援行动才得以顺利完成。（请阅读P.16《翼之流仪》的报道）。

不仅仅是武汉。全球各地的日本国民当时均面临着回国一票难求的情况，于是我们在印度尼西亚等国，通过出动临时航班和维持定期航班的措施，满足了全球各国乘客回国的需求。这件事让我们再次强烈地认识到航空公司作为交通基础设施存在的意义及其社会使命。

在围绕“被社会需要的企业 ”进行思考和学习的过程中，我还有了另一个领悟。那就是“旅行 ”的重要性。

在新冠疫情的影响下，因外出受到限制等而导致的精神压力造成了抑郁症和自杀的增加，人们对心理健康的意识有所提升。在此之前，人们往往把旅行视作度过“业余时间 ”的一种方式。业余时间正如其字面所示，是指工作之余的空闲时间，因此旅行被定位成一种“假如时间允许，可适当享受的活动 ”。然而现在，造访远离日常生活的地方、与当地人互动、享受当地食物、同时邂逅意想不到的新知识，人们又再次认识到这些体验有多么宝贵。越来越多的人感到，要保持心理健康并让人生更为丰富，就有必要“更为积极地创造旅行的机会 ”。换句话说，我们进入了一个新时代——旅行对人们的日常生活而言，已经具备了新的职能。

自去年10月以来，当我看到机场熙熙攘攘的旅客都面带笑容时，我感到“大家的心灵充满了活力 ”，这让我切身感受到旅行是多么有益，我认为，今后一方面支持广大乘客的出行，同时传达旅行的重要性，这在与新冠共存的时代将成为我们对社会应尽的责任。

全日空目前每天运营约850次航班。毫无疑问，我们最首要的任务是每天持续安全、舒适地运行每一次航班。尤其是冬季的运行特别容易受到风雪的影响，需要比平时更加集中注意力，对细节一丝不苟。目的地的天气状况会有什么样的变化？机身上是否积雪或结冰有可能影响飞行安全？乘客是否感到舒适？这些都是一场场跟时间和耐心的赛跑。

如果一个航班发生延误或取消，那么下一个降落地点之后的航班班次均需要作出调整。在各个机场确保乘客无需等待，提供清晰明了的指南等，冬季的航班运营是对团队合作的考验，也是作为专业人员发挥本领的关键时刻。

为了保证每一位顾客都能顺利抵达目的地，并如期赶赴下一项日程，全日空将继续以“专业表现 ”和“团队精神 ”传递安心与安全运营的接力棒，今后我们将继续牢记“安全运行是经营的基础、也是对社会的责任 ”，继续履行对社会的使命，回报社会大众对我们的期望。

Snow removal from a plane in process
机身除雪作业的情景

President & CEO, ANA
全日空航空公司代表取缔役社长
Shinichi Inoue
井上慎一

Our Mission as a National Carrier

作为公共交通机构的使命

Photo：Kishin Shinoyama
撮影：篠山纪信

Around January 2020, a new strain of coronavirus, its origin unknown at the time, began spreading quickly in Wuhan, China. After the city went into sudden lockdown one night, ANA received a request from the Japanese government for five chartered flights to Wuhan from the end of January to February. As a result, all Japanese nationals and their family members – a total of 828 people – living in the province of Hubei who wished to return to Japan were able to do so.

Three years have passed since then. Without a final end to infections in sight, people around the world have learned to live with COVID-19. The airline industry has continued to deal with unfavorable conditions, but we have also learned so much from the challenges faced during this time.

Naturally, many ANA employees were worried about becoming infected during those chartered flights to Wuhan. Nevertheless, as representatives of a national carrier, they felt a strong sense of duty to bring the evacuees back to Japan as quickly as possible. Despite the objections of their concerned family members amid restrictions on travel during the lockdown, many employees played essential roles in this successful initiative, including the staff stationed at Wuhan Tianhe International Airport, the aircrew on the flights, the personnel coordinating with Japanese and Chinese authorities to obtain flight permits, and the employees who prepared infection prevention measures for airports and airplanes. I believe ANA was able to successfully bring the evacuees back thanks to these employees, who worked diligently to accomplish their mission as a team. (See "Wings Style: A New Ambitious Story" on page 16.)

These efforts were not limited to Wuhan. When people around the world experienced difficulties returning home, ANA maintained regular operations and even offered additional flights, such as flights from Indonesia to meet demand from people wishing to return home from many different countries.This reaffirmed our sense of purpose and public mission to provide essential transportation services as an airline company.

After reflecting on how our services are essential to society, I found a new appreciation for the profound importance of travel. Restrictions on movement during the pandemic led to stress-induced depression and increased suicide globally, resulting in greater awareness of mental health issues. Travel has often been seen as a leisure activity, implying that people travel when they have free time; an activity to be enjoyed only when time permits.

Yet today, I believe people have a renewed appreciation for visiting new places, interacting with local communities, experiencing unique cuisine and discovering new ideas. To maintain their mental health and enrich their lives, a growing number of people want to create new opportunities for travel, and the idea is taking many new forms today.

I truly appreciated the power of travel when I saw airports crowded with smiling passengers after restrictions were lifted in Japan last October. Everyone seemed so full of life and energy. In the post-pandemic transition, I believe we have a public duty to promote the importance of travel while helping keep people on the move.

Today, ANA operates about 850 flights daily. Our greatest responsibility is ensuring the safety and comfort of every one of these flights. In winter, especially, when flights may be affected by snow and wind, we must pay even closer attention than usual to the smallest details. How are weather conditions changing at the destination? Will snow and ice on a plane affect the flight's safety? Are the passengers comfortable? These are just a few of the questions we

TSUBASA GLOBAL WINGS

2 2023 February

CONTENTS

004 Welcome Aboard

007 009 Amazing "Local Premium" Finds by ANA employees!
员工的发现！各地精品推介

010 Exploring 47 Japanese Folk Monsters
Tantan Kororin (Persimmon Tree Spirits):Miyagi
日本47妖怪散步
柿树精（坦坦可洛林）：宫城县

018 Kabuki Actor Onoe Kikunosuke's Favorite Delicacies
Apple Pie (Aomori) and Yodare-dori (Tokyo)
歌舞伎演员尾上菊之助
苹果派：青森县／口水鸡：东京都

016 Wings Style A New Ambitious Story
Wuhan: Behind the Scenes of an Emergency Coronavirus Operation
翼之流仪　不折不挠的新故事
武汉"新冠疫情紧急任务"的舞台背后

020 Examining Traditional Craftsmanship
Wickerwork from Izushi, Toyooka:Hyogo
探访手工作业
丰冈杞柳编工艺"柳条包"：兵库县

024 Information
最新消息

026 ANA Monthly "Welcome Aboard" Calendar
本月的全日空挂历

Cover photo: Miyagi Prefecture (Hidetoshi Hara)
Photo: Toyooka, Hyogo Prefecture (Tomo Ishiwatari)

Publisher: All Nippon Airways Co., Ltd. Editorial: Kobunsha Co., Ltd.
Managing editor: Koji Tanabe Editor: Shinji Komatsu,Katsushi Nimura Supervisor: Manue Yamashita
Editors: Nakano Sakurako, Misaki Yamashita, Takeshi Nakamoto, Yukari Kato, Miki Kojima, Hiroko Hattori, Shun Morisaka, Lisa Fujisawa, Masahiko Furukawa
Designers: Junichiro Matsuzawa, Naomi Ishikawa (Kamegai Design Office), Shigeru Yamaoka, Masakazu Yamamoto, Jiro Nozaki Ayahiko Kondo (Studio Give)
Editorial assistance: Kenji Kawamoto, Yuko Tokoro (Castnet Co., Ltd.)
Translation: Bravoworks Inc. Modis Design Inc. Printing: Kyodo Printing Marketing Solutions Co., Ltd.
Editorial inquiries:Kobunsha Co., Ltd. / TEL: 03-5395-8150
Advertising inquiries:ANA X Inc., Daily Life Business Department / E-mail: ml_notice_anamedia@ana-x.co.jp

Copyright © All Nippon Airways/Kobunsha 2022
Unauthorized reproduction or reprinting of the photos and articles in publication is prohibited.

All prices that appear in this publication are tax inclusive.

Every flight tells a story

Joy, love, adventure. The moments when we connect are often the most special, especially at festive times of the year. As the world's largest airline alliance, we come together to connect you with your loved ones, no matter how long the journey. So you'll always be close, even when you're thousands of miles apart.

Share your travel moments with us using airport codes, and tag #MyStarAlliance.

staralliance.com

STAR ALLIANCE
TOGETHER. BETTER. CONNECTED.

25 YEARS

TSUBASA GLOBAL WINGS

ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER

2 The Inflight Magazine of ANA Group February 2023 No.644

with you 70 years

Wings Style
Wuhan: Behind the Scenes of an Emergency Coronavirus Operation

Exploring 47 Japanese Folk Monsters
Tantan Kororin (Persimmon Tree Spirits):Miyagi

Examining Traditional Craftsmanship
Wickerwork from Izushi, Toyooka:Hyogo

翼之流仪
武汉“新冠疫情紧急任务”的舞台背后

日本47妖怪散步　柿树精(坦坦可洛林):宫城县

探访手工作业
丰冈杞柳编工艺“柳条包”:兵库县

翼の王国
日本語版は
こちら

Take me home!